
第8期朝霞市障害福祉計画等策定に係る アンケート・ヒアリング調査結果報告書

令和8年3月

朝霞市 福祉部 障害福祉課

目 次

I. 調査の概要.....	1
1 調査の概要.....	3
II. 障害者本人調査結果.....	5
1 回答者について.....	7
2 障害の状況について.....	10
3 あなたの介助について.....	15
4 日中活動や就労について.....	19
5 就労について.....	23
6 生活全般・社会参加について.....	27
7 障害福祉サービス等の利用について.....	33
8 権利擁護について.....	43
9 災害時の避難等について.....	47
10 朝霞市のまちづくりについて.....	50
III. 障害児及び保護者調査結果.....	68
【本人票】.....	70
1 あなたご自身のことについて.....	70
2 あなたの障害の状況について.....	71
3 あなたの介助について.....	76
4 日中活動について.....	77
5 生活全般・社会参加について.....	78
6 障害福祉サービス等の利用について.....	83
7 権利擁護について.....	85
8 災害時の避難等について.....	88
9 朝霞市のまちづくりについて.....	90
【保護者票】.....	92
1 相談について.....	92
2 お子さんの日中活動・教育について.....	94
3 お子さんの将来について.....	101
IV. 事業所調査結果.....	108
1 事業所の概要について.....	110
2 障害福祉サービス等の提供について.....	112
3 事業所の運営について.....	113

4 虐待防止の取り組みについて	119
5 障害のある人・障害のある児童への支援について	121
6 災害時の対応について	123
V. 団体調査結果.....	126
1 団体の概要について	128
2 団体の活動について	129
3 地域活動について	133
4 障害のある人・障害のある児童への支援について	134
VI. ヒアリング査結果.....	136

I. 調査の概要

1 調査の概要

(1) 目 的

第8期朝霞市障害福祉計画・第4期朝霞市障害児福祉計画策定にあたり、障害のある方などの実情やニーズ、ご意見等を把握するためのアンケート調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和7年11月18日（火）～ 令和7年12月19日（金）

(3) 調査対象者

障害者調査	市内在住で18歳以上の障害のある方に調査表とWeb回答の案内を郵送。
障害児及び保護者調査	市内在住で18歳未満の障害のある方及び保護者の方で無作為に抽出して調査表とWeb回答の案内を郵送。
障害福祉サービス事業所調査	市内の障害福祉サービス事業所にWeb調査郵送。
障害者団体調査	市内の障害者団体に郵送。
障害者ヒアリング調査	障害福祉サービス等を利用している方。

※「障害者調査」、「障害児及び保護者調査」、「障害福祉サービス事業所調査」はWeb調査も実施しました。

(4) 配布数及び回収数

	配布数		回収数	回収率
障害者調査	5,388 件	郵送	1,601 件	29.7%
		Web	845 件	15.7%
		計	2,446 件	45.4%
保護者調査	1,119 件	郵送	125 件	11.2%
		Web	271 件	24.2%
		計	396 件	35.4%
事業所調査	106 件	Web	50 件	47.2%
団体調査	12 件	郵送	8 件	66.7%
ヒアリング			30 件	

(5) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（％）で示しています。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
- ・比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が100％にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（％）で示しています。したがって、合計値が100％にならない場合もあります。
- ・本報告書では、回答合計の表記を単一（○は一つ）回答は「合計」、複数（○はいくつでも）回答は「回答者数」としています。非該当処理が含まれる設問は「回答者数」と表記しています。また、割合を設定している項目名について、単一回答は「構成比」、複数回答は「比率」と表記しています。

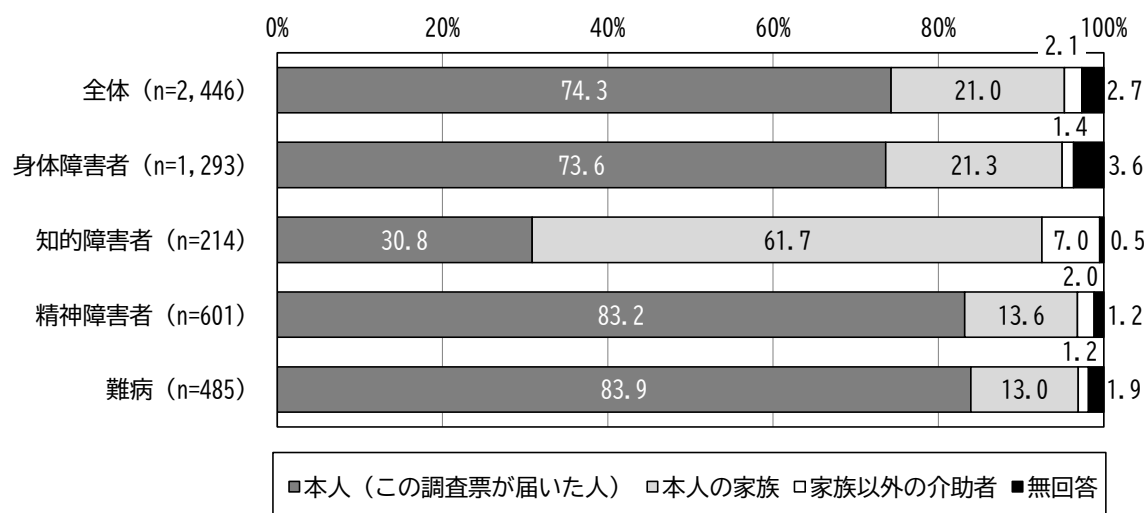
II. 障害者本人調査結果

1 回答者について

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つ)

回答者については、「本人（この調査票が届いた人）」が74.3%と最も多く、次いで、「本人の家族」が21.0%、「家族以外の介助者」が2.1%となっています。

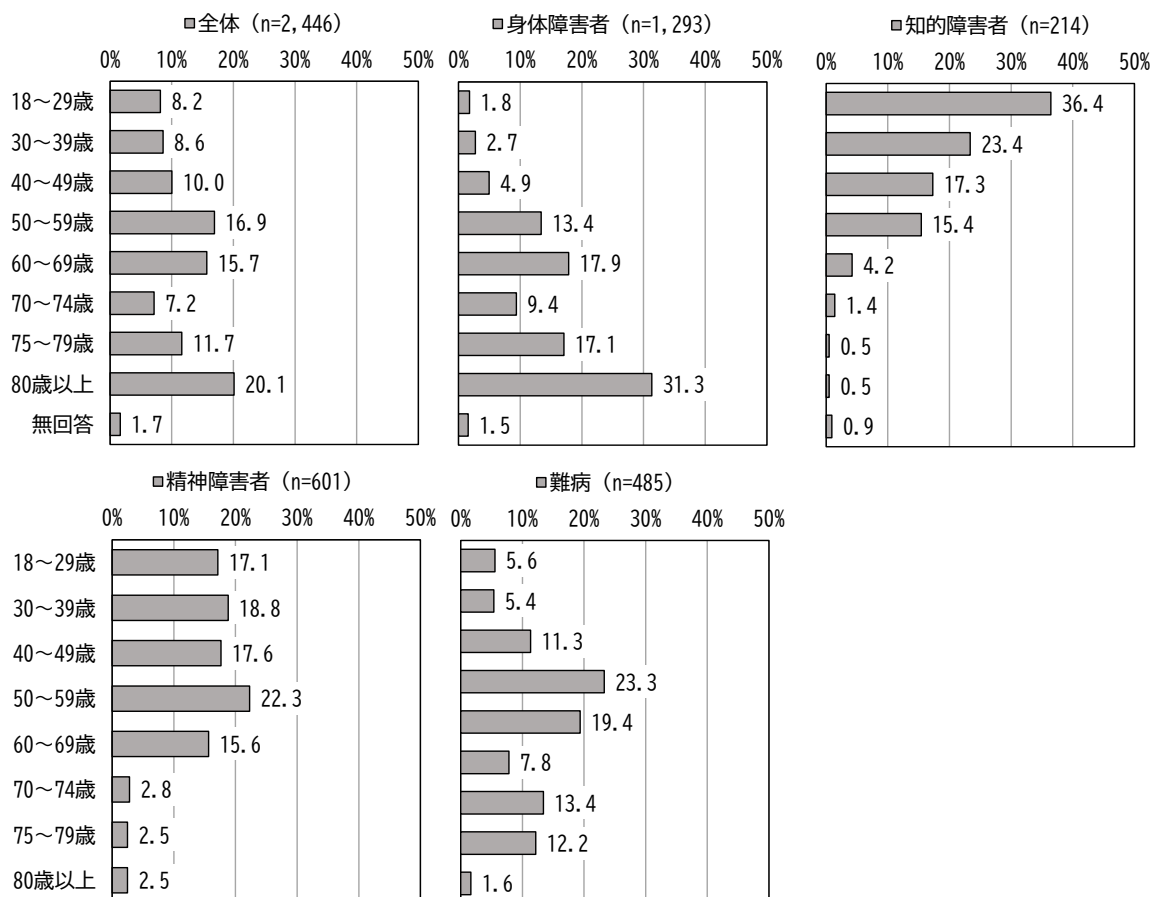
障害者別にみると、知的障害者では「本人の家族」が6割となっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(令和7年11月1日現在)

年齢については、「80歳以上」が20.1%と最も多く、次いで、「50～59歳」が16.9%、「60～69歳」が15.7%となっています。

障害種別の割合を見ると、身体障害者では「80歳以上」、知的障害者では「18～29歳」、精神障害者、難病では「50～59歳」の割合が最も多くなっています。



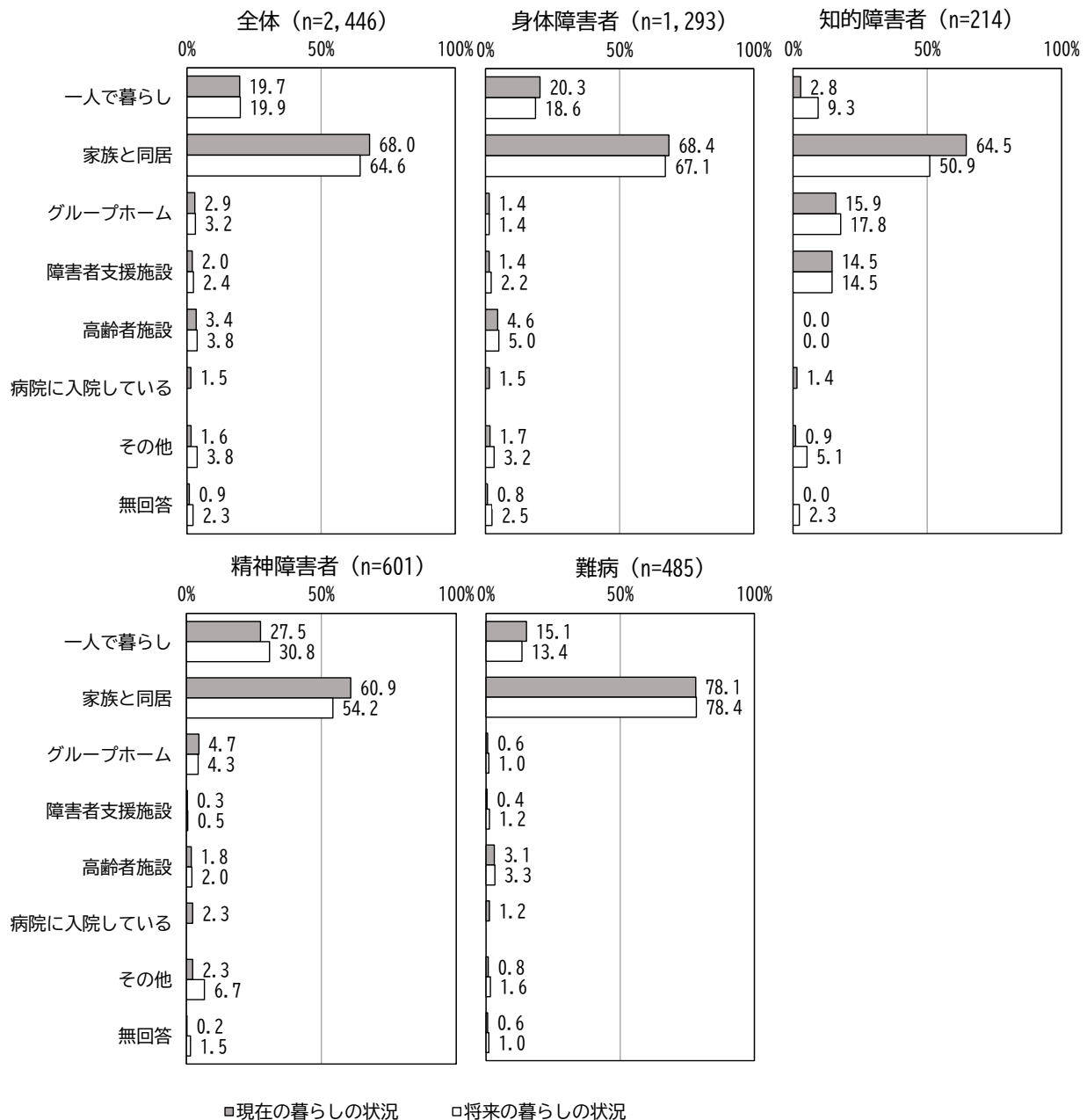
Ⅱ. 障害者本人調査結果

問3 あなたは、現在、どのように暮らしていますか。(○は1つ)

問4 あなたは、今後3年以内に、どのように暮らしたいですか。(○は1つ)

現在の暮らしと将来の暮らしについては、現在と将来ともに「家族と同居」が最も多く、次いで、「一人で暮らし」、「高齢者施設」となっています。

障害種別では、現在と将来ともにすべての障害で「家族と同居」の割合が最も多くなっています。また、「家族と同居」では知的障害者において、現在と将来で13.6ポイント減っており、精神障害者でも6.7ポイント減っております。

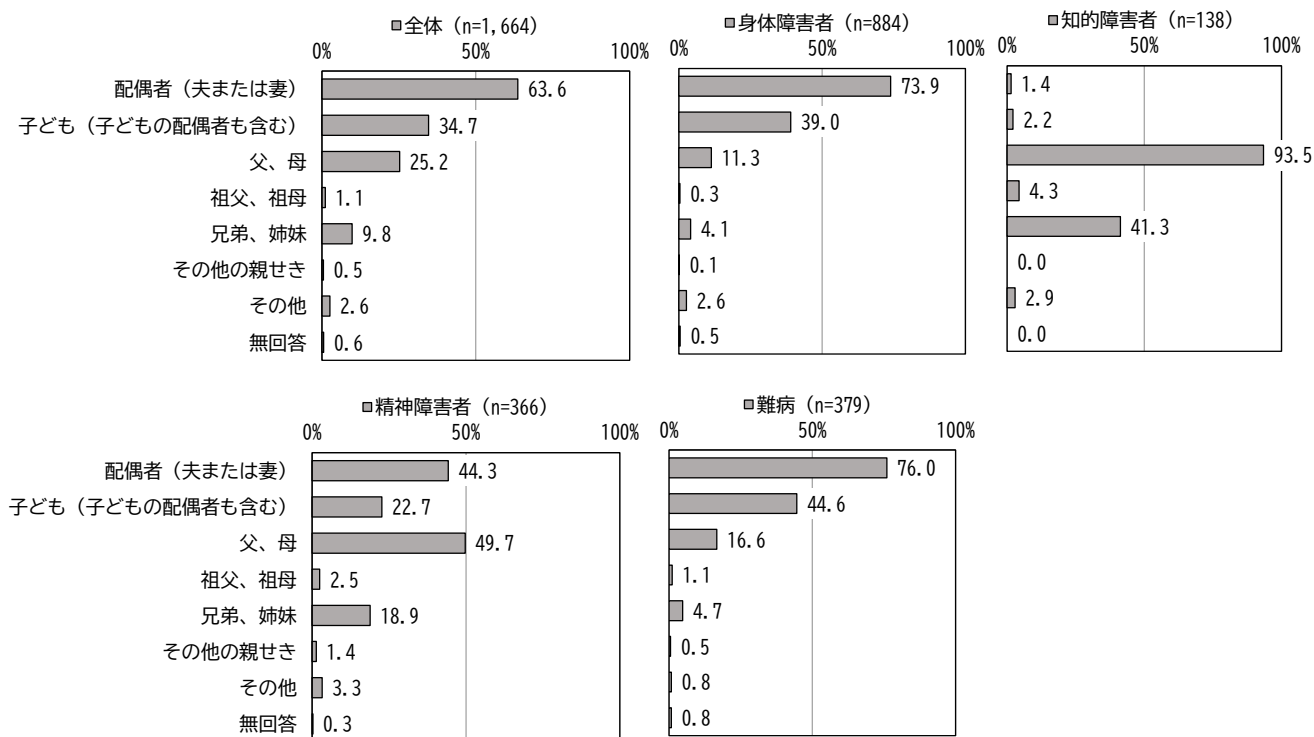


問3で「家族と暮らしている」を選択した方のみ回答

問3-1 一緒に暮らしている人は、どなたですか。(〇はいくつでも)

同居者については、「配偶者（夫または妻）」が63.6%と最も多く、次いで、「子ども（子どもの配偶者も含む）」が34.7%、「父、母」が25.2%となっています。

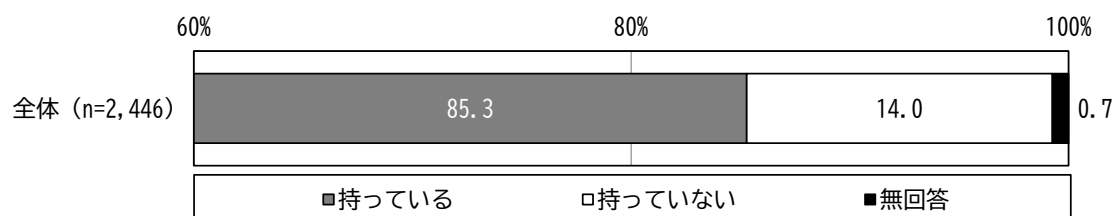
障害種別の割合を見ると、身体障害者、難病では「配偶者（夫または妻）」、知的障害者、精神障害者では「父、母」の割合が最も多くなっています。



2 障害の状況について

問5 あなたは、障害者手帳を持っていますか。(○は1つ)

障害者手帳の有無については、「持っている」が 85.3%に対し、「持っていない」が 14.0%となっています。

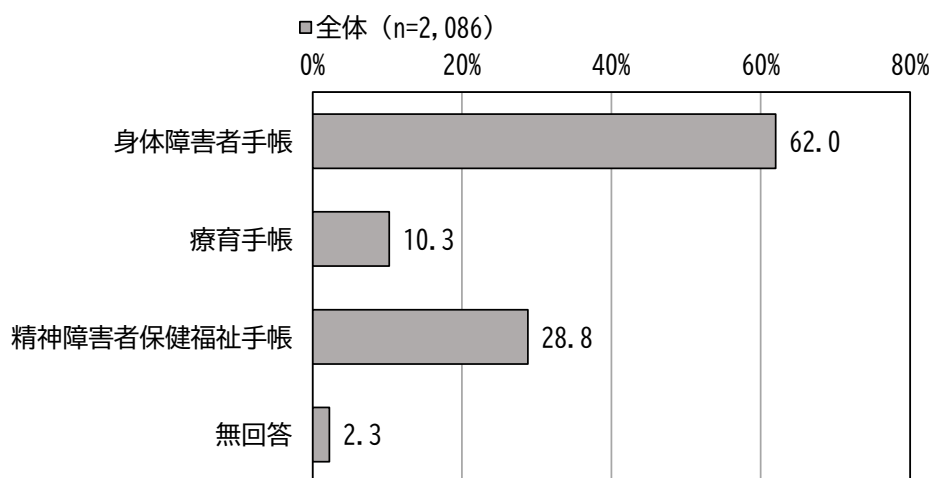


問5で手帳を「持っている」を選択した方のみ回答

問5-1 あなたがお持ちの障害者手帳の種類と障害の程度をお答えください。(あてはまる障害者手帳と障害の程度に○を付けてください。)

○障害者手帳の種類

障害者手帳の種類については、「身体障害者手帳」が 62.0%と最も多く、次いで、「精神障害者保健福祉手帳」が 28.8%、「療育手帳」が 10.3%となっています。

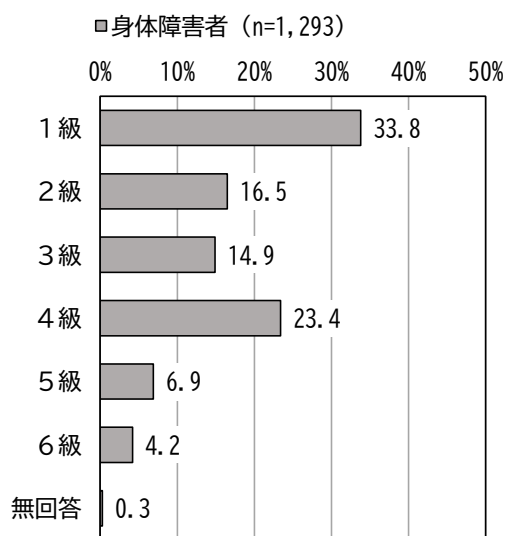


項目	度数	比率
身体障害者手帳	1,293	62.0%
療育手帳	214	10.3%
精神障害者保健福祉手帳	601	28.8%
無回答	47	2.3%
回答者数	2,086	
非該当	360	
合計	2,446	

問5-1で「身体障害者手帳」を選択した方のみ回答

○身体障害者手帳所持者の等級内訳

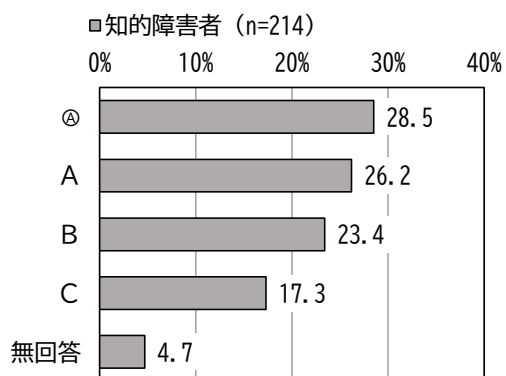
身体障害者手帳の等級については、「1級」が33.8%と最も多く、次いで、「4級」が23.4%、「2級」が16.5%となっています。



問5-1で「療育手帳」を選択した方のみ回答

○療育手帳所持者の等級内訳

療育手帳の等級については、「㉠」が28.5%と最も多く、次いで、「A」が26.2%、「B」が23.4%となっています。

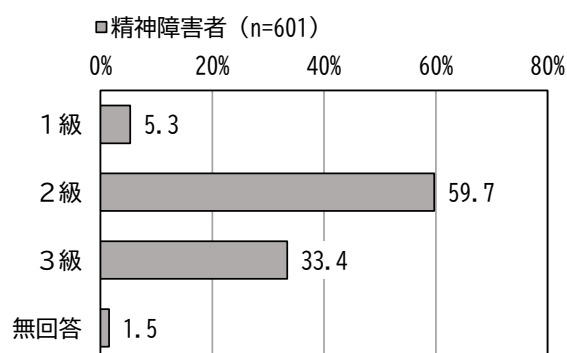


Ⅱ. 障害者本人調査結果

問5-1で「精神障害者保健福祉手帳」を選択した方のみ回答

○精神障害者保健福祉手帳所持者の等級内訳

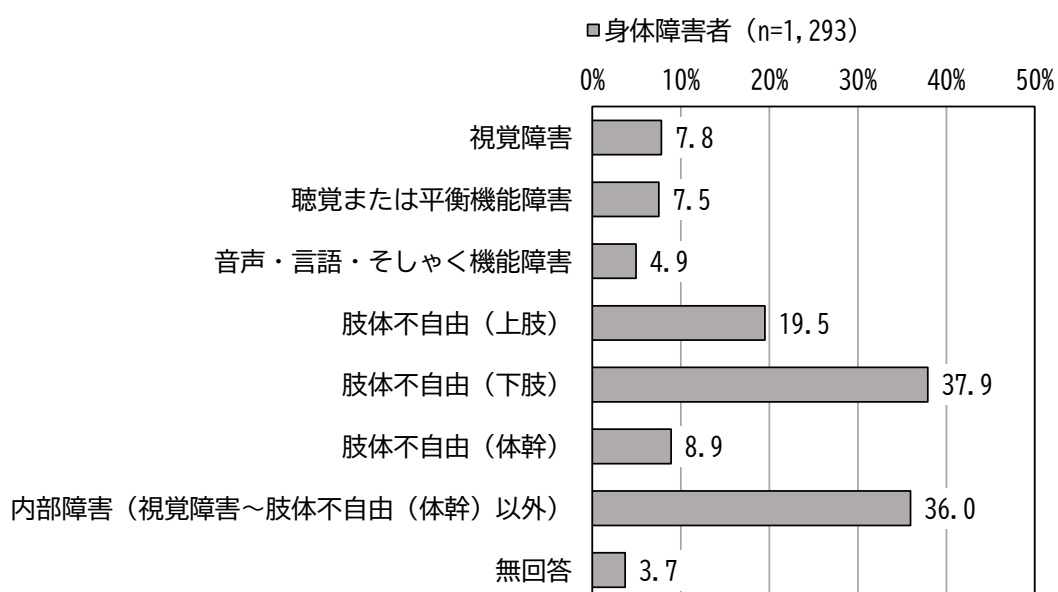
精神障害者保健福祉手帳の等級については、「2級」が59.7%と最も多く、次いで、「3級」が33.4%、「1級」が5.3%となっています。



問5-1で「身体障害者手帳」を選択した方のみ回答

問5-2 障害の種別をお答えください。(○はいくつでも)

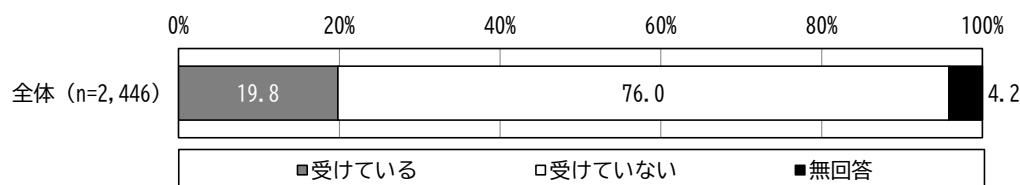
身体障害者の障害の種別については、「肢体不自由（下肢）」が37.9%と最も多く、次いで、内部障害（「視覚障害」～「肢体不自由（体幹）」以外）が36.0%、「肢体不自由（上肢）」が19.5%となっています。



問6 あなたは、難病（指定難病）※の認定を受けていますか。（○は1つ）

難病（指定難病）の認定については、「受けている」が 19.8%に対し、「受けていない」が 76.0%となっています。

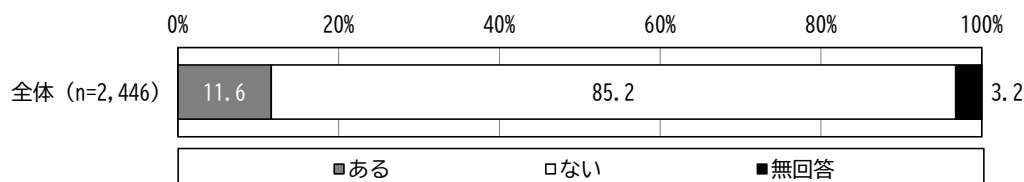
※難病（指定難病）とは、筋委縮性側索硬化症（ALS）やパーキンソン病などの治療法が確立していない疾病その他の特殊な疾病をいいます。



問7 あなたは、発達障害※であると診断をされたことがありますか。（○は1つ）

発達障害と診断をされたことがあるかについては、「ある」が 11.6%に対し、「ない」が 85.2%となっています。

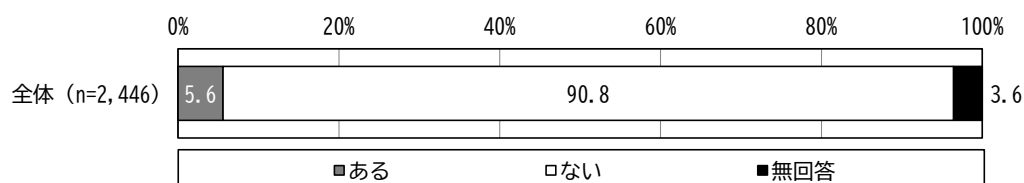
※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。



問8 あなたは、高次脳機能障害※であると診断をされたことがありますか。（○は1つ）

高次脳機能障害と診断をされたことがあるかについては、「ある」が 5.6%に対し、「ない」が 90.8%となっています。

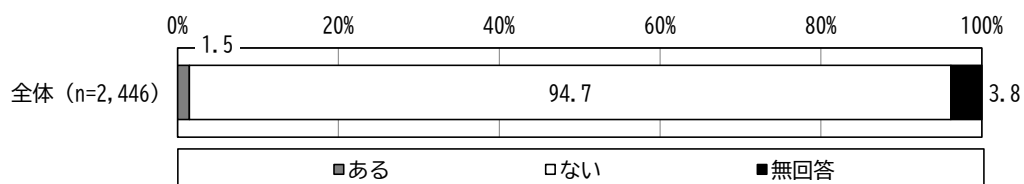
※高次脳機能障害とは、交通事故や脳血管疾患などの病気で脳に損傷を受けた後遺症として、記憶力や注意力の低下などの症状が現れ、日常生活や社会生活において、支障をきたす障害で、外見からは分かりにくく、自覚できない場合もあるため、「見えない障害」とも言われています。



問9 あなたは、遷延性意識障害※の状態にありますか。（○は1つ）

遷延性意識障害の状態にあるかについては、「ある」が 1.5%に対し、「ない」が 94.7%となっています。

※遷延性意識障害とは、交通事故や脳血管疾患等により、脳に損傷を受けた後、自らの意思と能力では、食事・排泄・会話等ができない状態が3か月以上続き、生活全般に介助を必要とする重複生活行動障害です。



Ⅱ. 障害者本人調査結果

問 10 あなたが現在の障害の状態になったのはいつごろですか。(○は1つ)

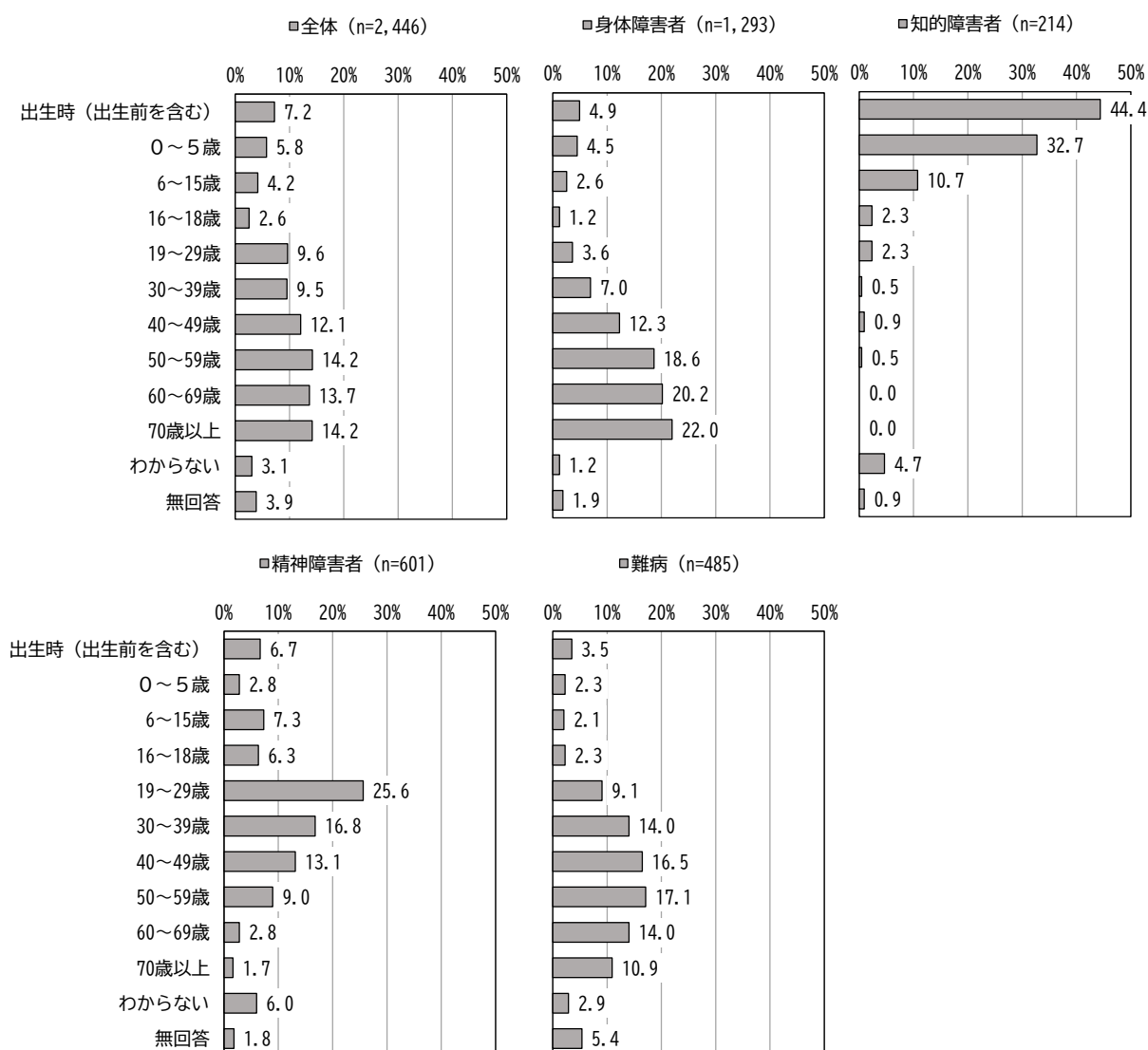
障害の状態になった時期については、「50～59 歳」、「70 歳以上」が 14.2%とともに最も多く、次いで「60～69 歳」が 13.7%となっています。

身体障害者では、「70 歳以上」が 22.0%と最も多く、次いで「60～69 歳」が 20.2%、「50～59 歳」が 18.6%となっています。

知的障害者では、「出生時(出生前を含む)」が 44.4%と最も多く、次いで「0～5 歳」が 32.7%、「6～15 歳」が 10.7%となっています。

精神障害者では、「19～29 歳」が 25.6%と最も多く、次いで「30～39 歳」が 16.8%、「40～49 歳」が 13.1%となっています。

難病では、「50～59 歳」が 17.1%と最も多く、次いで「40～49 歳」が 16.5%、「30～39 歳」、「60～69 歳」がともに 14.0%となっています。

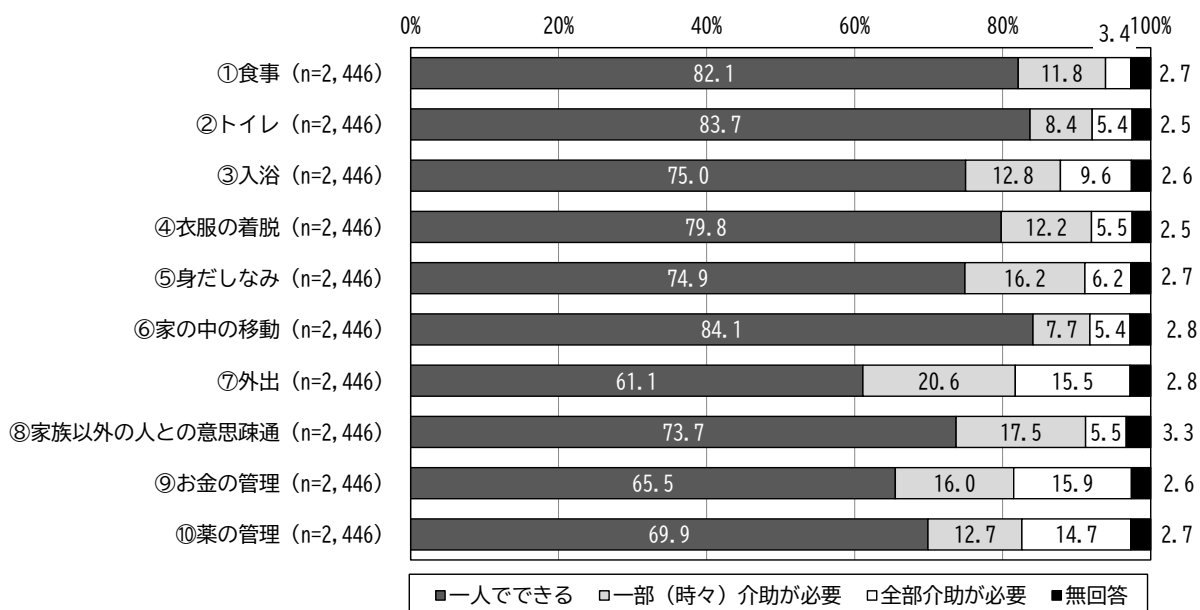


3 あなたの介助について

問 11 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩についてそれぞれ〇は1つ)

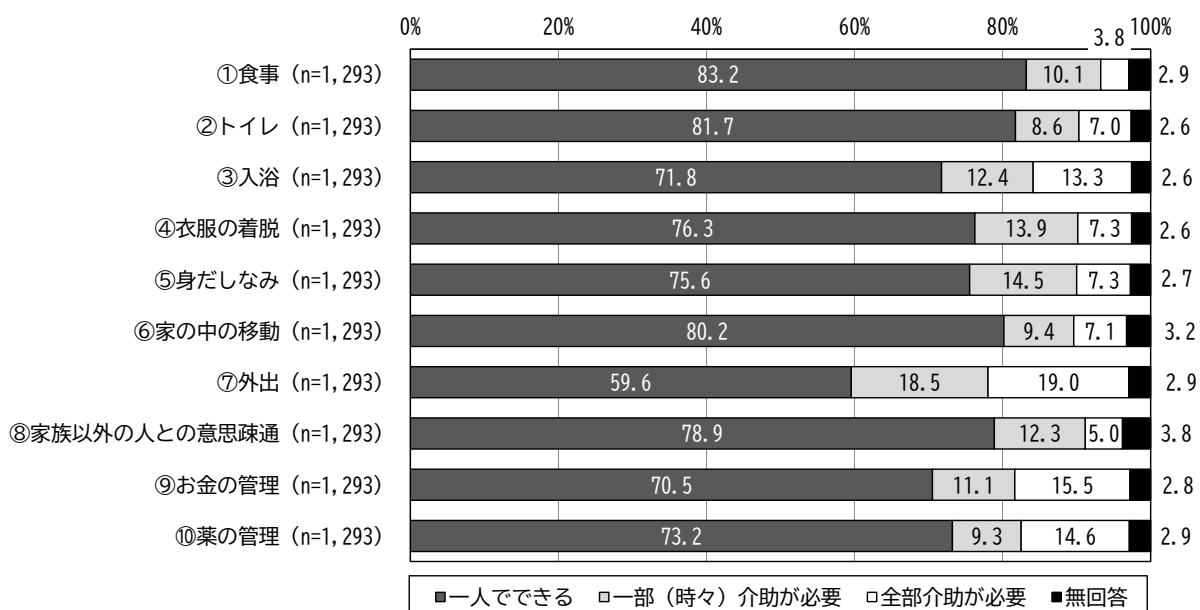
【全体】

日常生活について「一部介助が必要」と「全部介助が必要」を合わせた『介助が必要』では、「⑦外出」が36.1%と最も多く、次いで「⑨お金の管理」が31.9%、「⑩薬の管理」が27.4%となっています。



【身体障害者】

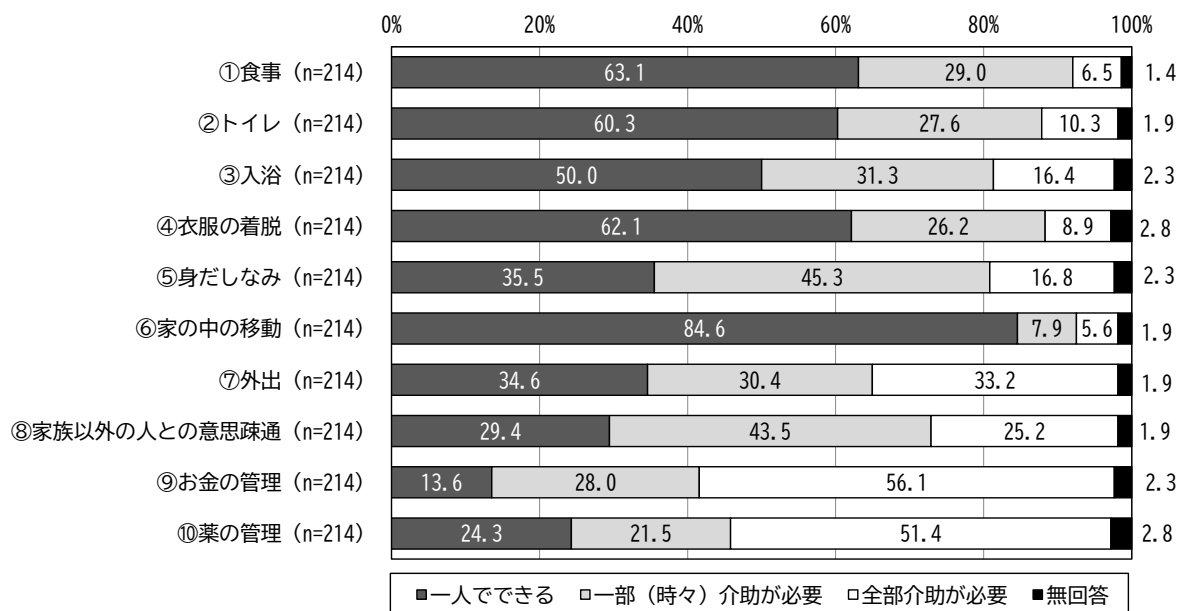
身体障害者の『介助が必要』では、「⑦外出」が37.5%と最も多く、次いで「⑨お金の管理」が26.6%、「③入浴」が25.7%となっています。



Ⅱ．障害者本人調査結果

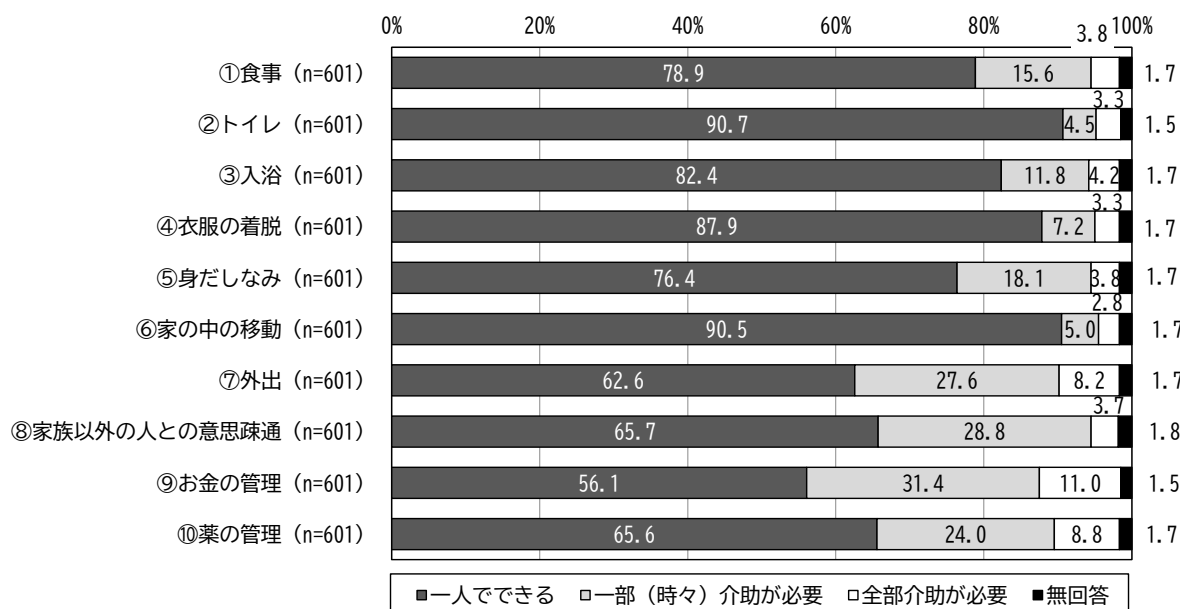
【知的障害者】

知的障害者の『介助が必要』では、「⑨お金の管理」が84.1%と最も多く、次いで「⑩薬の管理」が72.9%、「⑧家族以外の人との意思疎通」が68.7%となっています。



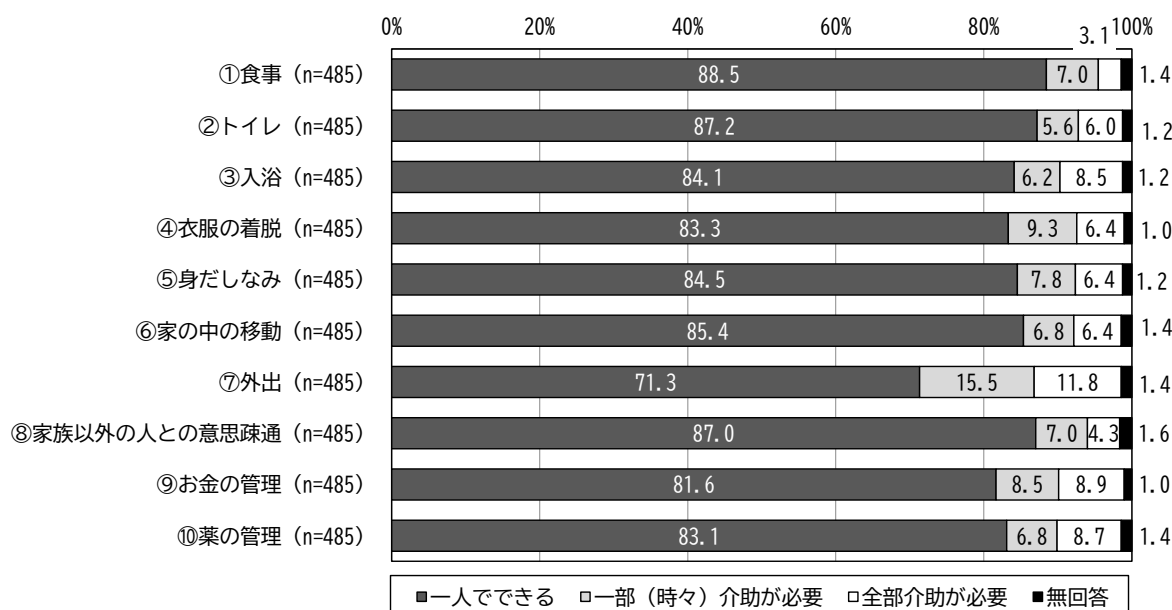
【精神障害者】

精神障害者の『介助が必要』では、「⑨お金の管理」が42.4%と最も多く、次いで「⑦外出」が35.8%、「⑩薬の管理」が32.8%となっています。



【難病】

精神障害者の『介助が必要』では、「⑦外出」が27.3%と最も多く、次いで「⑨お金の管理」が17.4%、「④衣服の着脱」が15.7%となっています。

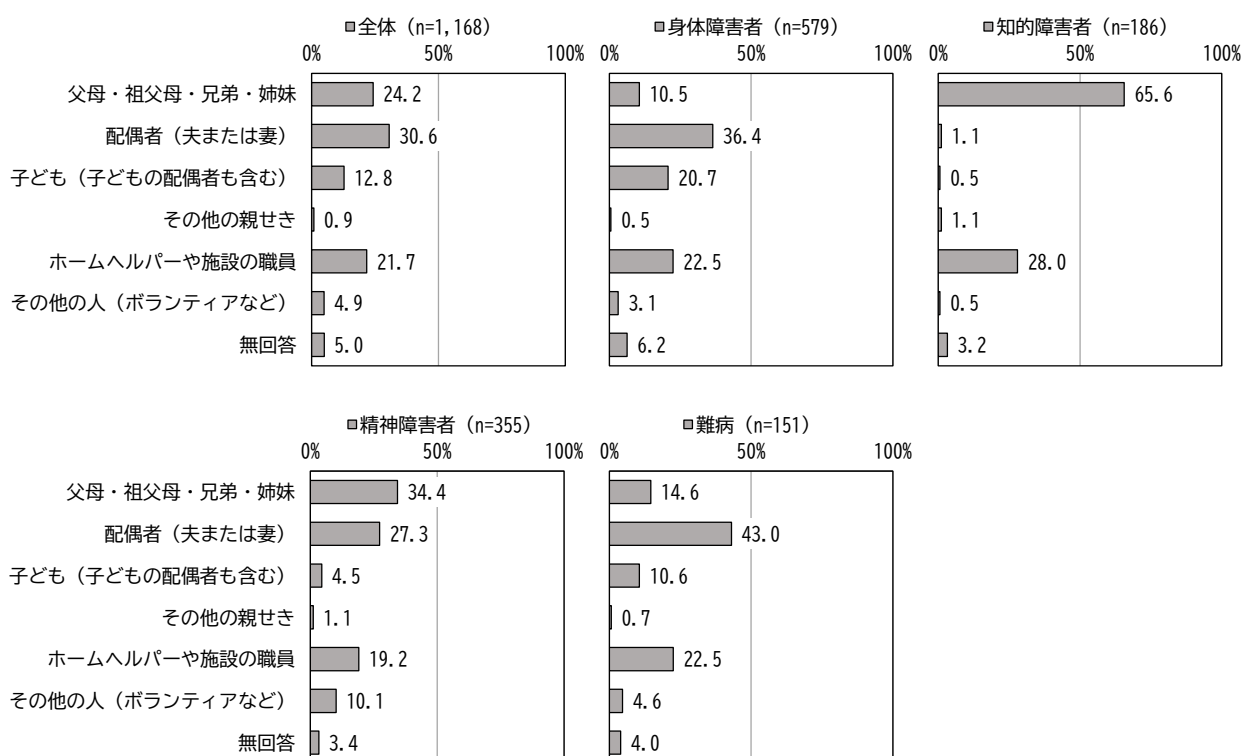


問11で「一部（時々）介助が必要」または「全部介助が必要」を選択した項目がある方のみ回答

問11-1 あなたを介助してくれる方は主にどなたですか。（○は1つ）

主な介助者については、「配偶者（夫または妻）」が30.6%と最も多く、次いで、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が24.2%、「ホームヘルパーや施設の職員」が21.7%となっています。

障害種別にみると、身体障害者、難病では「配偶者（夫または妻）」、知的障害者、精神障害者では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」の割合が多くなっています。



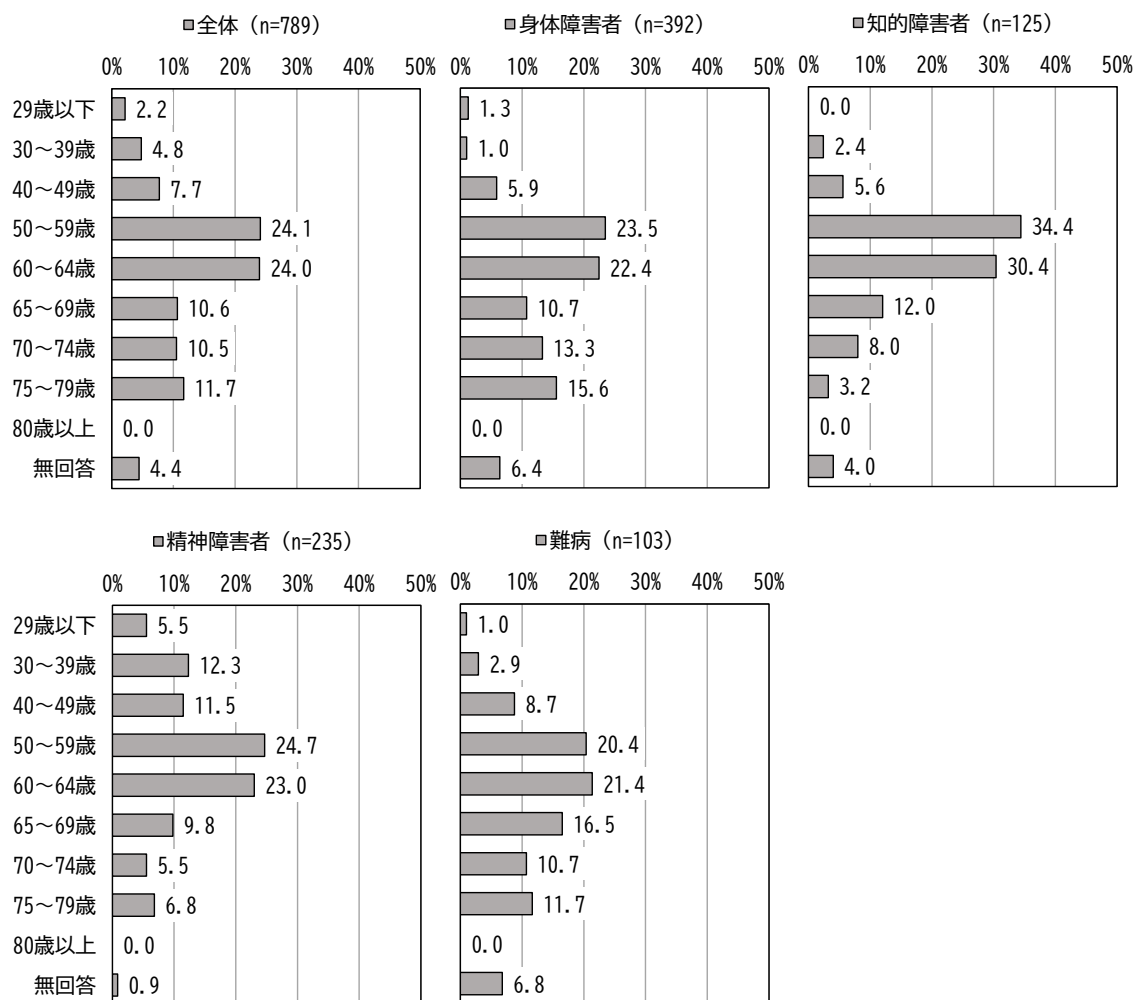
Ⅱ. 障害者本人調査結果

問 11-1 で「父母・祖父母・兄弟・姉妹」、「配偶者（夫または妻）」、「子ども（子どもの配偶者も含む）」のいずれかを選択した方のみ回答

問 11-2 年齢 主にあなたを介助してくれる方の年齢をお答えください。（令和 7 年 11 月 1 日現在）

主な介助者の年齢については、「50～59 歳」が 24.1%と最も多く、次いで、「60～64 歳」が 24.0%、「75～79 歳」が 11.7%となっています。

障害種別にみると、すべての項目で「50～64 歳」の割合が多くなっています。

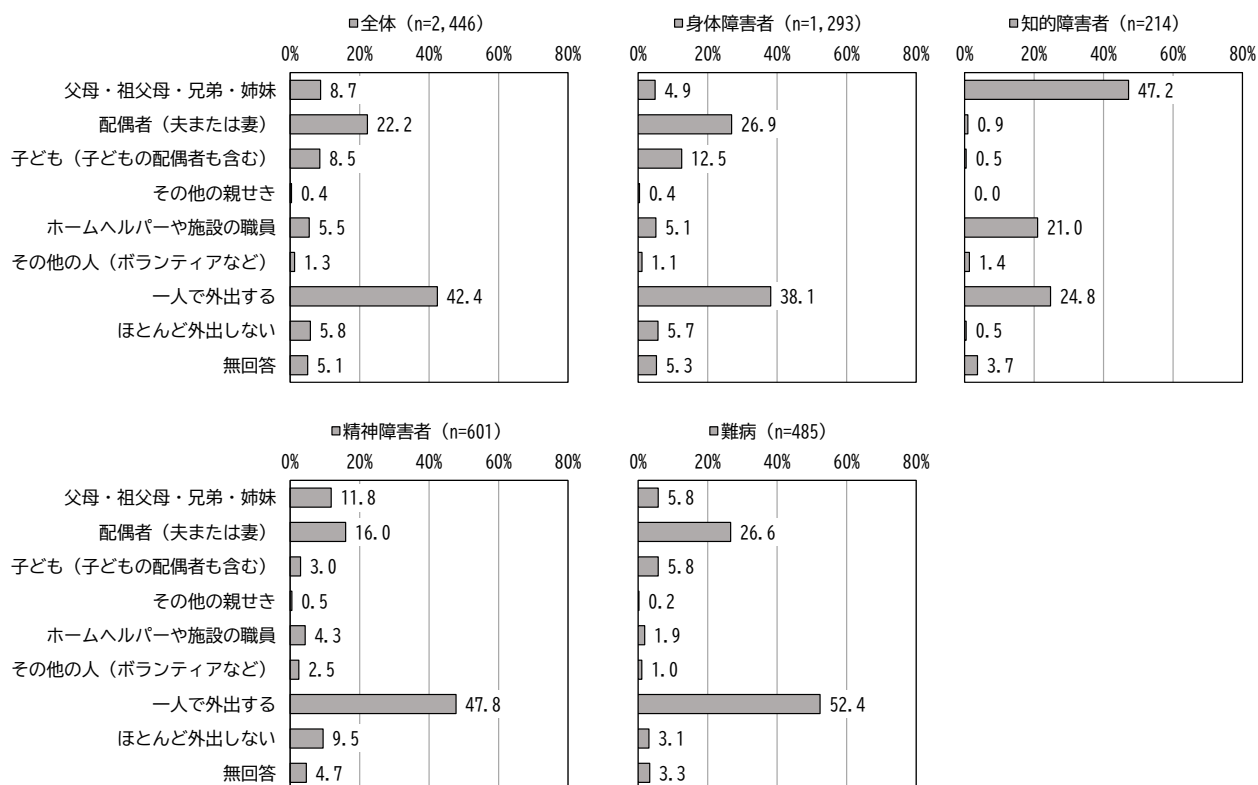


4 日中活動や就労について

問 12 あなたが、外出する際の主な同伴者はどなたですか。(○は1つ)

外出する際の主な同伴者については、「一人で外出する」が42.4%と最も多く、次いで、「配偶者（夫または妻）」が22.2%、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が8.7%となっています。

障害種別にみると、知的障害者では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」、それ以外の項目では「一人で外出する」が最も多くなっています。

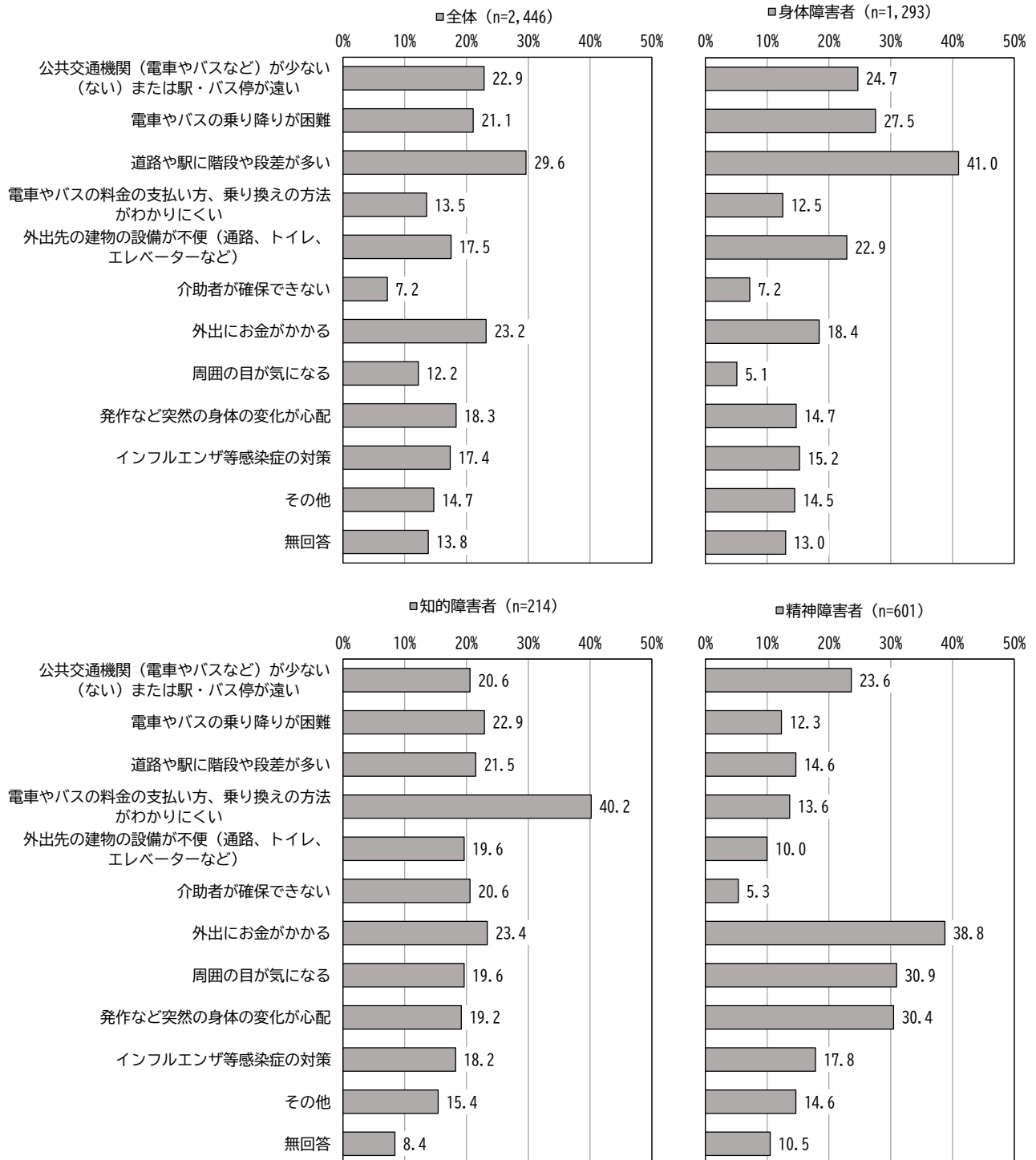


Ⅱ．障害者本人調査結果

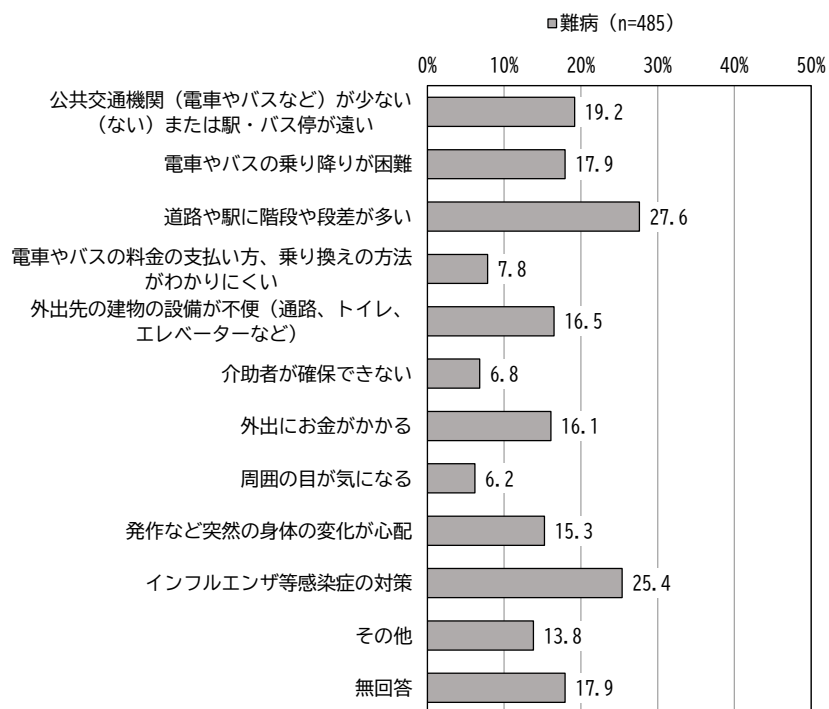
問 13 あなたが外出する際、困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の困ることについては、「道路や駅に階段や段差が多い」が 29.6%と最も多く、次いで、「外出にお金がかかる」が 23.2%、「公共交通機関（電車やバスなど）が少ない（ない）または駅・バス停が遠い」が 22.9%となっています。

障害種別にみると、身体障害者、難病では「道路や駅に階段や段差が多い」、知的障害者では「電車やバスの料金の支払い方、乗り換えの方法がわかりにくい」、精神障害者では「外出にお金がかかる」の割合が最も多くなっています。



Ⅱ．障害者本人調査結果

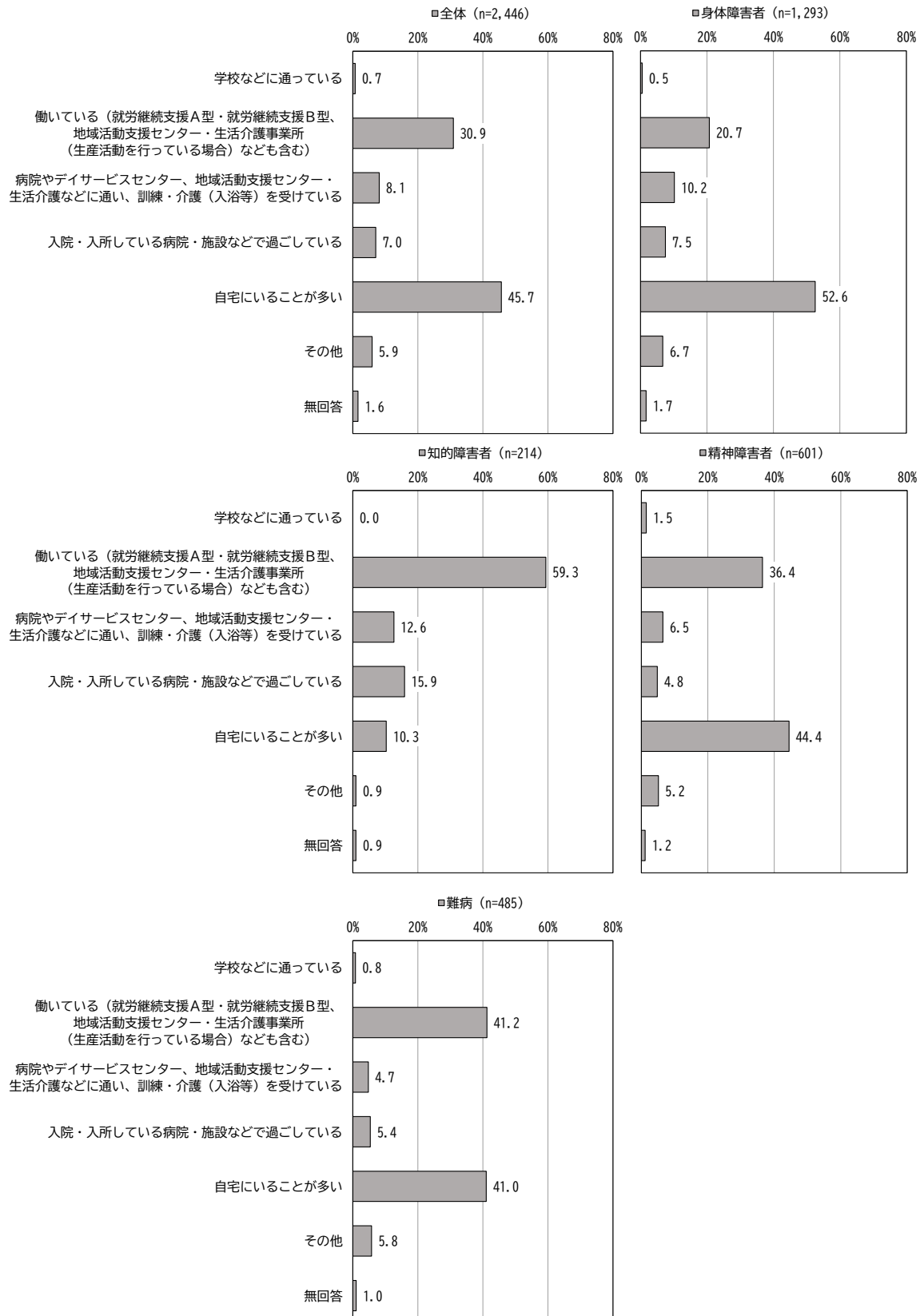


Ⅱ．障害者本人調査結果

問 14 あなたは、日中、主にどのように過ごしていますか。(〇は1つ)

日中の過ごし方については、「自宅にすることが多い」が45.7%と最も多く、次いで、「働いている」が30.9%、「病院やデイサービスセンター、地域活動支援センター・生活介護などに通い、訓練・介護（入浴等）を受けている」が8.1%となっています。

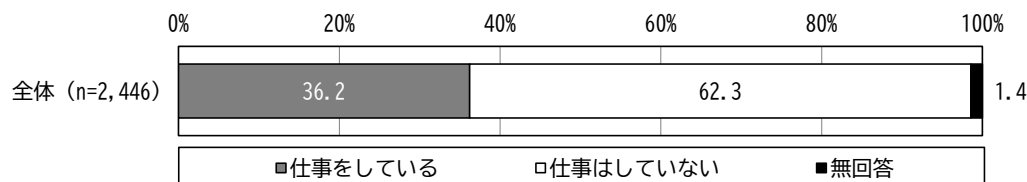
障害種別にみると、身体障害者、精神障害者では「自宅にすることが多い」、知的障害者、難病では「働いている」の割合が最も多くなっています。



5 就労について

問 15 あなたは、現在仕事（福祉的就労を含む）をしていますか。（○は1つ）

現在仕事をしているかについては、「仕事をしている」が 36.2%に対し、「仕事はしていない」が 62.3%となっています。

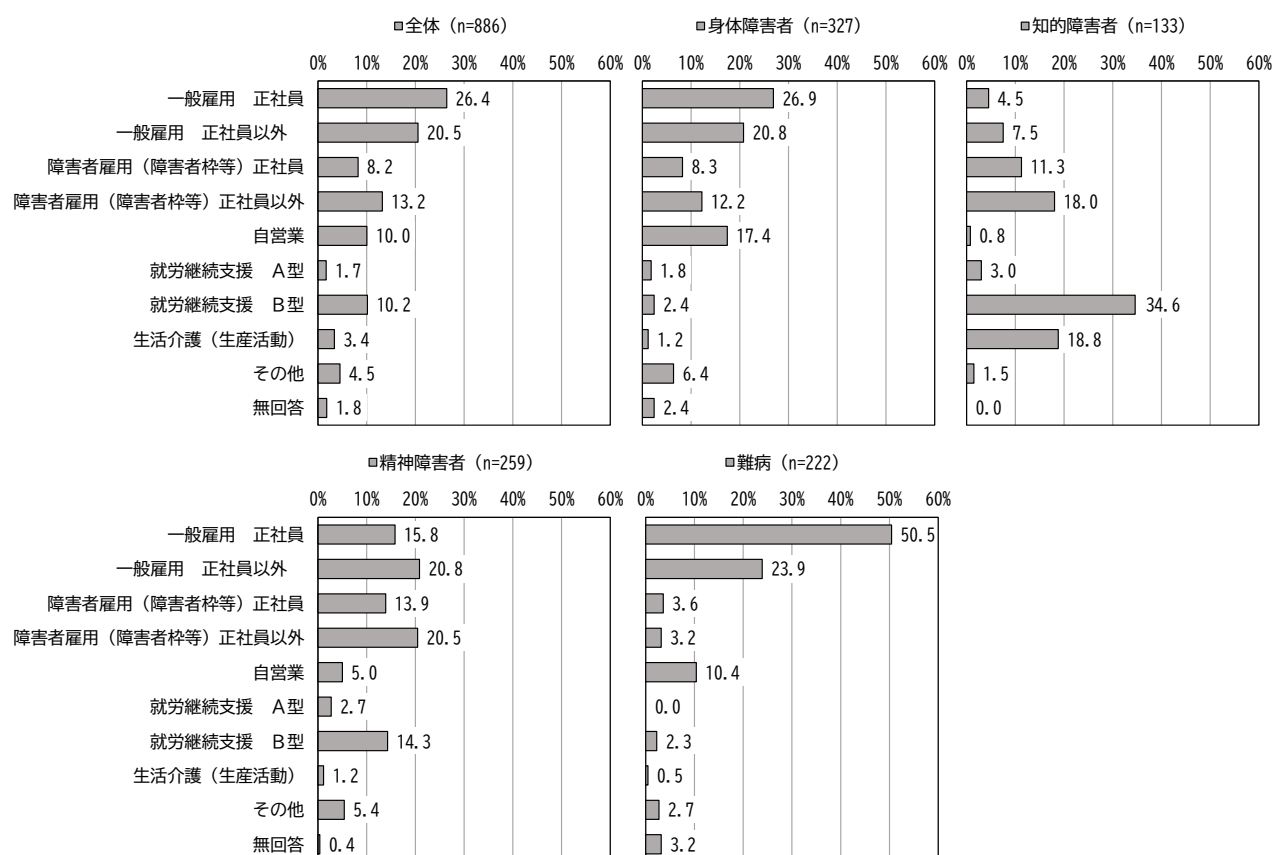


問 15 で「仕事をしている」を選択した方のみ回答

問 15-1 仕事の形態は次のどれですか。（○は1つ）

仕事の形態については、「一般雇用 正社員」が 26.4%と最も多く、次いで、「一般雇用 正社員以外」が 20.5%、「障害者雇用（障害者枠等）正社員以外」が 13.2%となっています。

障害種別の割合を見ると、身体障害者、難病では「一般雇用 正社員」、知的障害者では「就労継続支援 B 型」、精神障害者では「一般雇用 正社員以外」の割合が最も多くなっています。



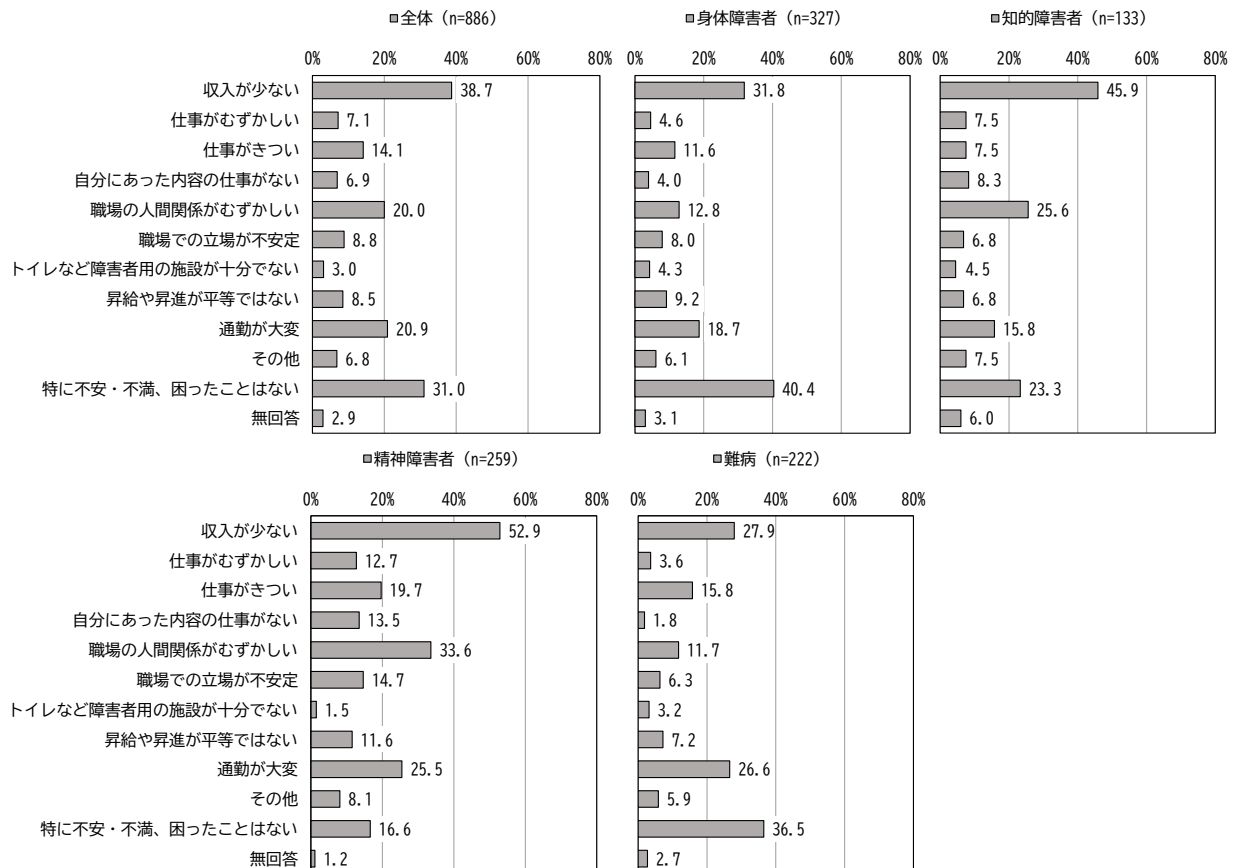
Ⅱ．障害者本人調査結果

問 15 で「仕事をしている」を選択した方のみ回答

問 15－2 仕事をするうえで不安・不満に思ったことがありますか。(〇はいくつでも)

仕事をするうえで不安・不満に思ったことについては、「収入が少ない」が 38.7%と最も多く、次いで、「特に不安・不満、困ったことはない」が 31.0%、「通勤が大変」が 20.9%となっています。

障害種別の割合を見ると、身体障害者、難病では「特に不安・不満、困ったことはない」、知的障害者、精神障害者では「収入が少ない」の割合が最も多くなっています。

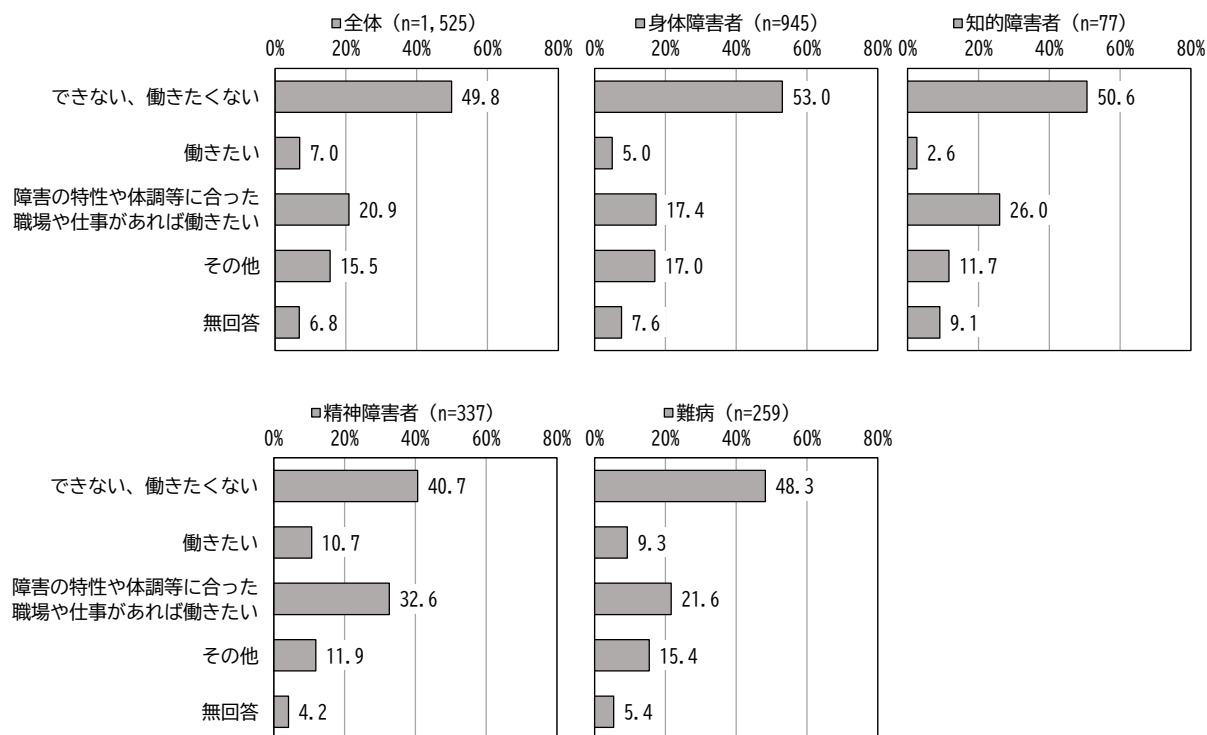


問 15 で「仕事はしていない」を選択した方のみ回答

問 15-3 仕事をすることに対する考えを教えてください。(○は1つ)

仕事をすることに対する考えについては、「できない、働きたくない」が 49.8%と最も多く、次いで、「障害の特性や体調等に合った職場や仕事があれば働きたい」が 20.9%となっています。

障害種別の割合を見ると、すべての障害で「できない、働きたくない」の割合が最も多くなっています。

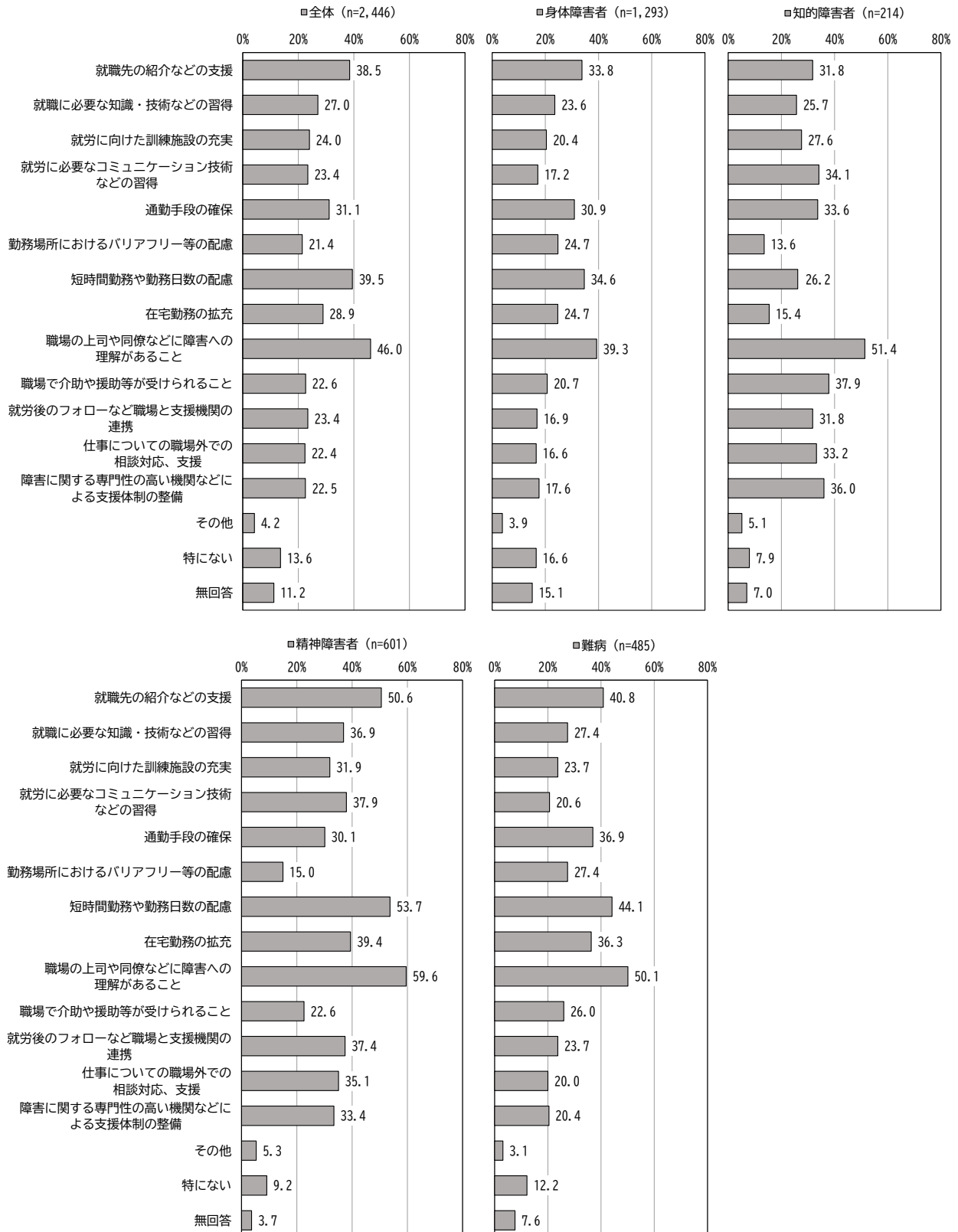


Ⅱ. 障害者本人調査結果

問 16 あなたは、障害のある人が仕事をするために、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

障害のある人が仕事をするために必要な支援については、「職場の上司や同僚などに障害への理解があること」が46.0%と最も多く、次いで、「短時間勤務や勤務日数の配慮」が39.5%、「就職先の紹介などの支援」が38.5%となっています。

障害種別の割合を見ると、すべての障害で「職場の上司や同僚などに障害への理解があること」の割合が最も多くなっています。

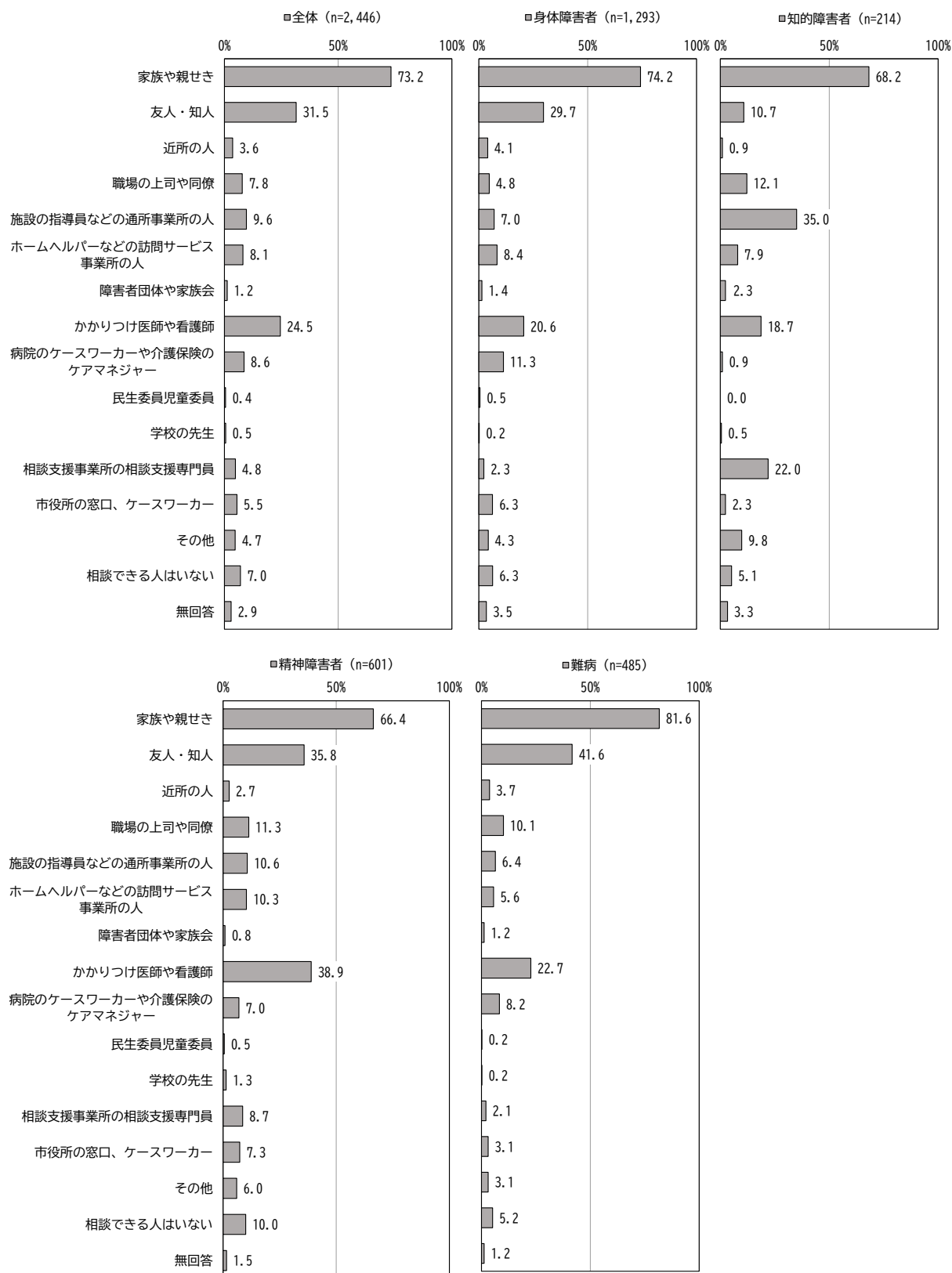


6 生活全般・社会参加について

問 17 あなたは、普段、悩みごとや困ったことがあるとき、どなたに相談していますか。(〇はいくつでも)

悩みごとや困ったことの相談先については、「家族や親せき」が73.2%と最も多く、次いで、「友人・知人」が31.5%、「かかりつけ医師や看護師」が24.5%となっています。

障害種別にみると、すべての障害で「家族や親せき」の割合が最も多くなっています。

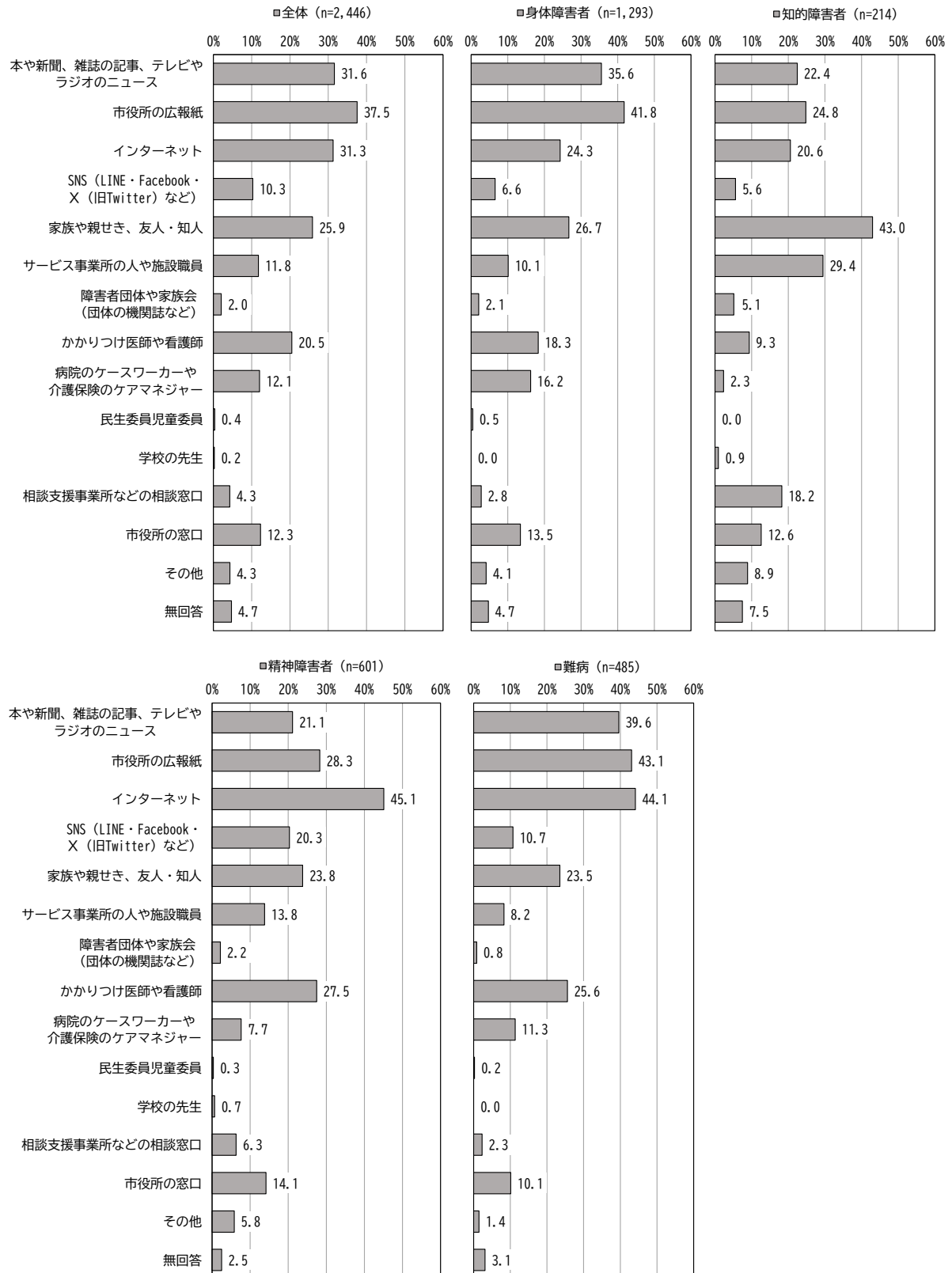


Ⅱ. 障害者本人調査結果

問 18 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報をどこから知ることが多いですか。(〇は
いくつでも)

障害のことや福祉サービスなどに関する情報の入手手段については、「市役所の広報紙」が37.5%と最も多く、次いで、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が31.6%、「インターネット」が31.3%となっています。

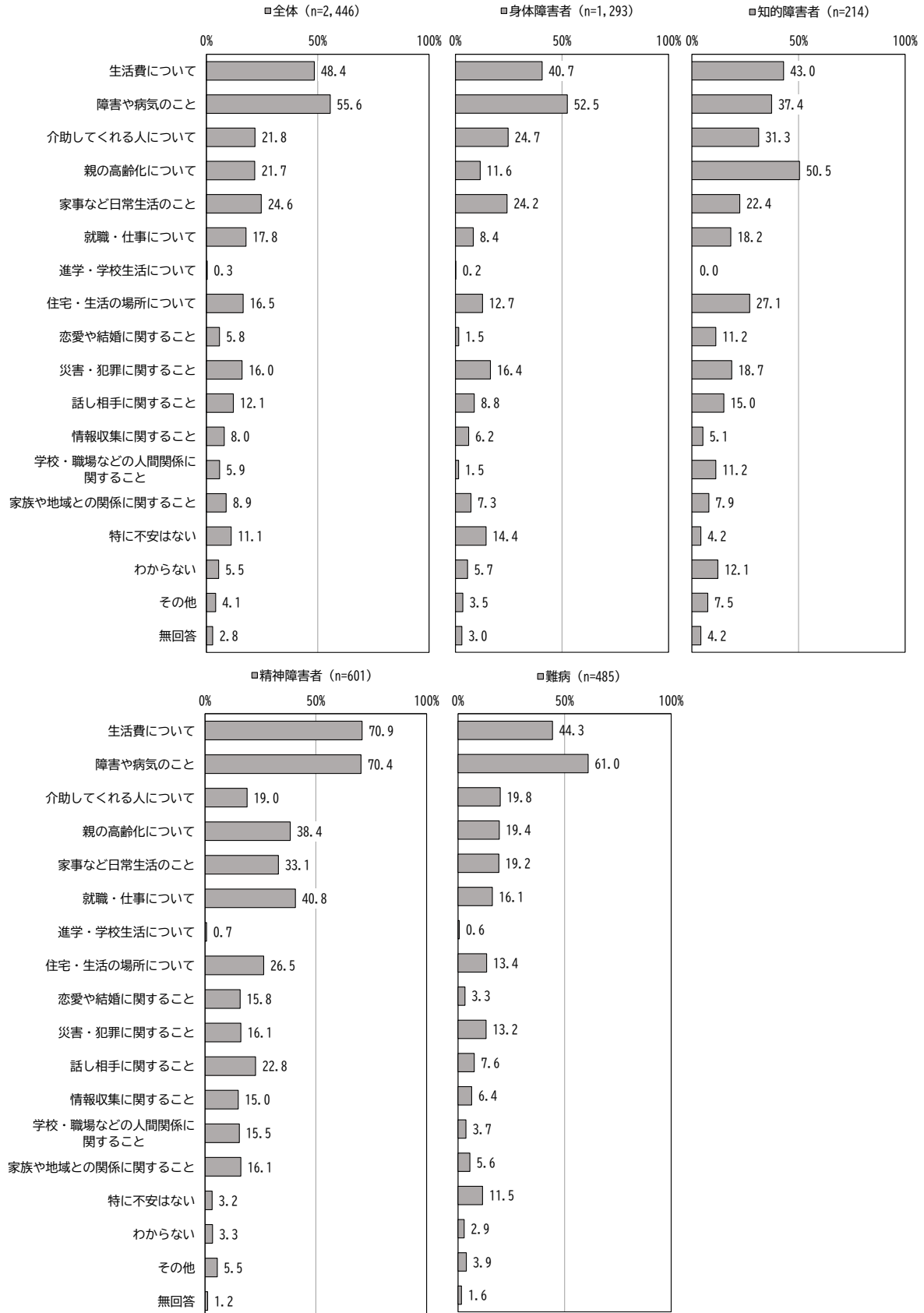
障害種別にみると、身体障害者では「市役所の広報紙」、知的障害者では「家族や親せき、友人・知人」、精神障害者、難病では「インターネット」の割合が最も多くなっています。



問 19 あなたは、現在や今後の生活で不安に思っていることはありますか。(〇はいくつでも)

現在や今後の生活で不安に思っていることについては、「障害や病気のこと」が 55.6%と最も多く、次いで、「生活費について」が 48.4%、「家事など日常生活のこと」が 24.6%となっています。

障害種別にみると、身体障害者、難病では「障害や病気のこと」、知的障害者では「親の高齢化について」、精神障害者では「生活費について」の割合が最も多くなっています。



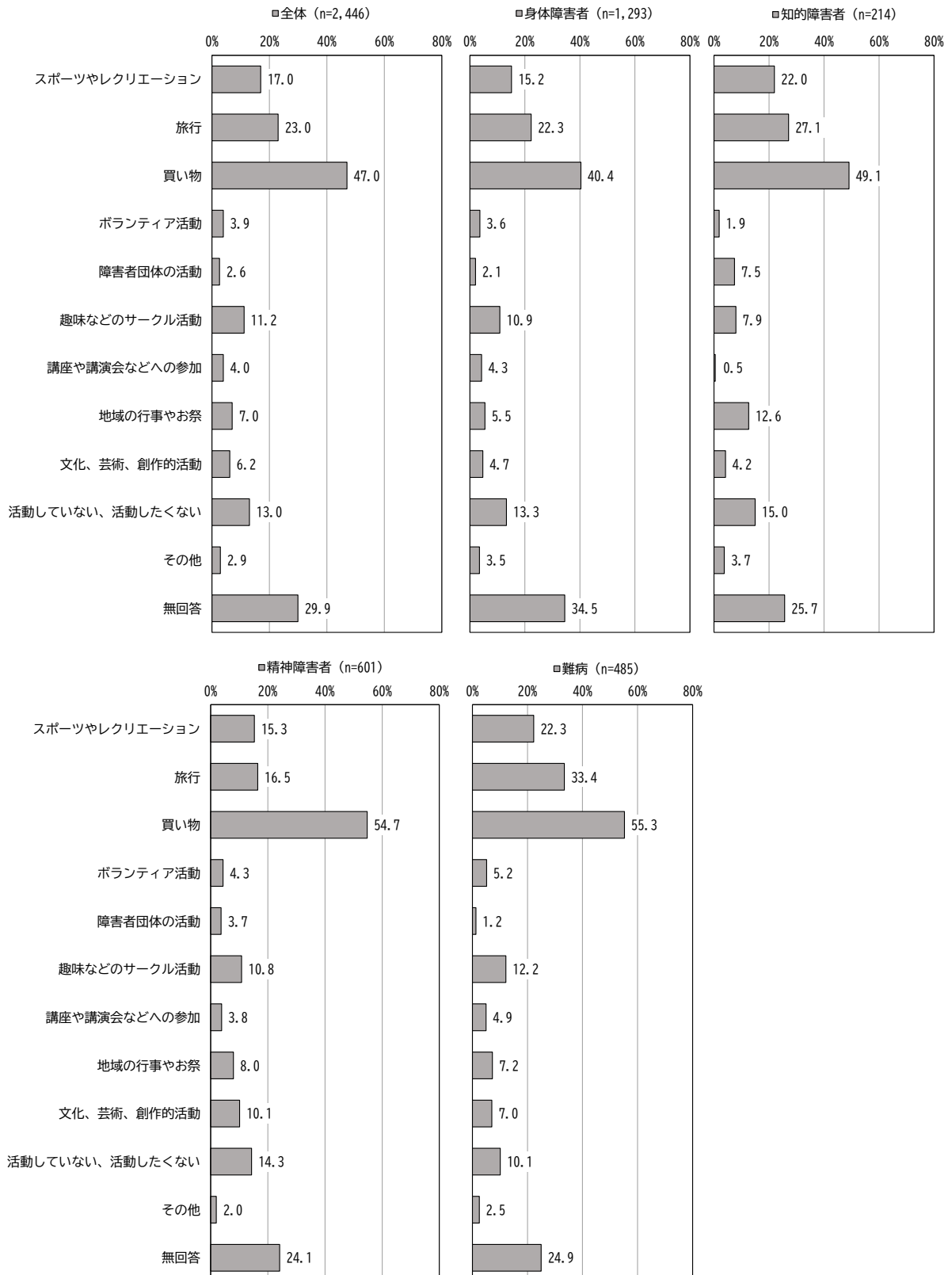
Ⅱ. 障害者本人調査結果

問 20 あなたの現在行っている活動、また、今後したい活動は何ですか。（それぞれ〇はいくつでも）

○現在行っている活動について

現在行っている活動については、「買い物」が47.0%と最も多く、次いで、「旅行」が23.0%、「スポーツやレクリエーション」が17.0%となっています。

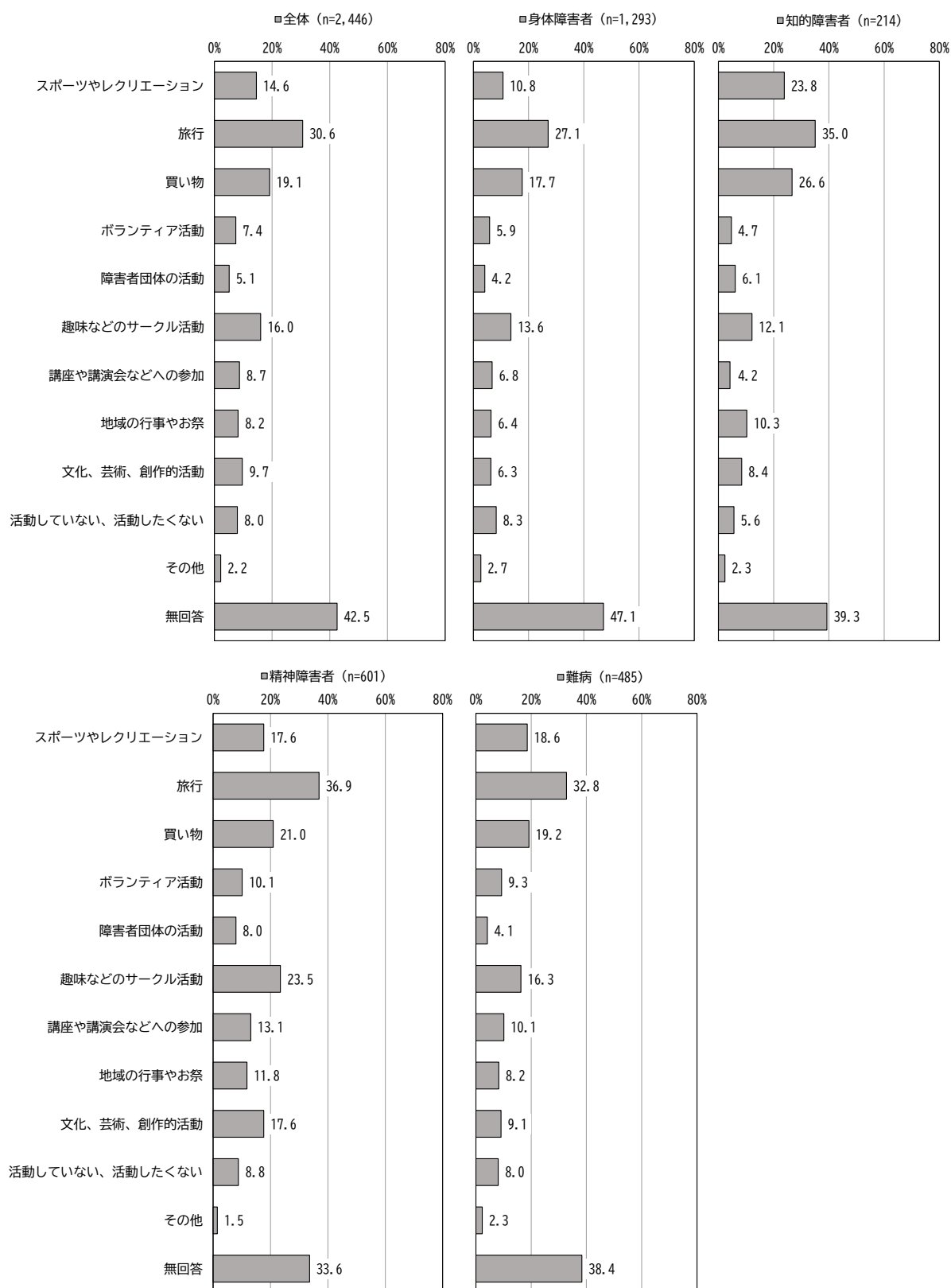
障害種別にみると、すべての障害で「買い物」の割合が最も多くなっています。



○今後活動したいことについて

今後したい活動については、「旅行」が30.6%と最も多く、次いで、「買い物」が19.1%、「趣味などのサークル活動」が16.0%となっています。

障害種別にみると、すべての障害で「旅行」の割合が最も多くなっています。



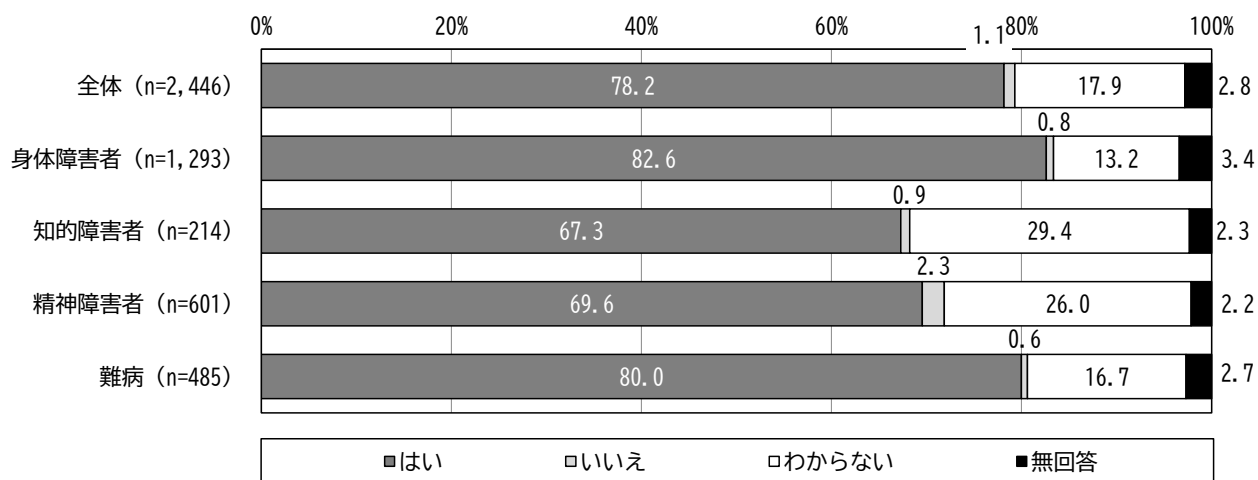
Ⅱ. 障害者本人調査結果

問 21 あなたは、今後も朝霞市に暮らし続けたいですか。(○は1つ)

今後も朝霞市に暮らし続けたいかについては、「はい」が78.2%に対し、「いいえ」が1.1%となっています。

また「わからない」が17.9%、となっています。

障害種別にみると、すべての障害で「はい」の割合が最も多く、身体障害者、難病では8割、知的障害者、精神障害者は6割となっています。



7 障害福祉サービス等の利用について

問 22 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。(項目ごとに「現在利用しており、今後も利用したい」～「現在利用しておらず、今後も利用しない」のうち、1つに○を付けてください)

○全体 n=2,446

障害福祉サービスの利用について、障害福祉サービスでは利用状況、利用意向ともに「①居宅介護（ホームヘルプ）」が最も多く、利用状況では 8.1%、利用意向では 17.1%となっています。次いで、利用意向では「⑨計画相談支援」が 7.1%、「⑧生活介護」が 7.0%となっています。利用意向では、「⑧生活介護」が 15.8%、「⑨計画相談支援」が 14.4%となっています。

地域生活支援事業の利用について、利用状況では、「㉔日常生活用具給付事業」が 5.6%と最も多く、次いで「㉒相談支援事業（一般的な相談）」が 4.6%、「㉑移動支援事業」が 4.1%となっています。利用意向では、「㉒相談支援事業（一般的な相談）」が 16.9%と最も多く、次いで「㉑移動支援事業」が 12.7%、「㉔日常生活用具給付事業」が 12.5%となっています。

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の現在の利用状況

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用しているが、今後は利用しない」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	①居宅介護（ホームヘルプ）	8.1	1	㉔日常生活用具給付事業	5.6
2	⑨計画相談支援	7.1	2	㉒相談支援事業（一般的な相談）	4.6
3	⑧生活介護	7.0	3	㉑移動支援事業	4.1
4	⑫自立訓練（機能訓練）	5.7	4	㉓地域活動支援センター事業	2.7
5	⑪施設入所支援	4.6	5	㉚成年後見制度利用支援事業	1.5

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の今後の利用意向

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用していないが、3年以内には利用したい」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	①居宅介護（ホームヘルプ）	17.1	1	㉒相談支援事業（一般的な相談）	16.9
2	⑧生活介護	15.8	2	㉑移動支援事業	12.7
3	⑨計画相談支援	14.4	3	㉔日常生活用具給付事業	12.5
4	⑤自立生活援助	12.9	4	㉓地域活動支援センター事業	9.3
5	④短期入所（ショートステイ）	12.6	5	㉙日中一時支援事業	8.2

Ⅱ．障害者本人調査結果

○全体 現在の利用状況及び今後の利用意向

n = 2,446

項目（構成比）	現在利用しており、今後も利用したい	現在利用しているが、今後は利用しない	現在利用していないが、3年以内には利用したい	現在利用しておらず、今後も利用しない	無回答	合計
障害福祉サービス						
①居宅介護（ホームヘルプ）	7.7%	0.4%	9.4%	57.2%	25.4%	100.0%
②重度訪問介護	1.7%	0.3%	5.4%	62.9%	29.6%	100.0%
③重度障害者等包括支援	2.5%	0.3%	6.3%	61.2%	29.7%	100.0%
④短期入所（ショートステイ）	3.4%	0.2%	9.2%	59.2%	28.1%	100.0%
⑤自立生活援助	3.6%	0.3%	9.3%	57.6%	29.1%	100.0%
⑥同行援護	2.4%	0.3%	7.6%	59.9%	29.7%	100.0%
⑦行動援護	2.3%	0.2%	8.3%	59.1%	30.0%	100.0%
⑧生活介護	6.8%	0.2%	9.0%	56.7%	27.4%	100.0%
⑨療養介護	2.2%	0.2%	6.3%	60.7%	30.5%	100.0%
⑩共同生活援助（グループホーム）	3.4%	0.4%	5.4%	61.4%	29.4%	100.0%
⑪施設入所支援	4.2%	0.4%	7.0%	59.9%	28.6%	100.0%
⑫自立訓練（機能訓練）	5.0%	0.7%	7.2%	57.9%	29.2%	100.0%
⑬自立訓練（生活訓練）	2.9%	0.4%	7.1%	59.2%	30.3%	100.0%
⑭就労選択支援	1.4%	0.3%	7.4%	60.1%	30.7%	100.0%
⑮就労移行支援	2.5%	0.7%	6.8%	59.6%	30.5%	100.0%
⑯就労継続支援（A型）	1.1%	0.5%	5.5%	62.6%	30.3%	100.0%
⑰就労継続支援（B型）	3.8%	0.5%	4.7%	61.3%	29.6%	100.0%
⑱就労定着支援	2.5%	0.4%	6.5%	59.9%	30.7%	100.0%
⑲計画相談支援	6.7%	0.4%	7.7%	55.8%	29.4%	100.0%
⑳地域移行支援・地域定着支援	1.3%	0.6%	5.2%	62.1%	30.9%	100.0%
地域生活支援事業						
㉑障害者理解促進研修・啓発事業	0.7%	0.3%	5.8%	62.5%	30.7%	100.0%
㉒相談支援事業（一般的な相談）	4.0%	0.6%	12.9%	53.6%	28.9%	100.0%
㉓成年後見制度利用支援事業	1.1%	0.4%	6.4%	62.3%	29.8%	100.0%
㉔手話通訳者等派遣事業	0.7%	0.2%	1.4%	67.1%	30.6%	100.0%
㉕要約筆記者派遣事業	0.4%	0.2%	1.8%	66.6%	30.9%	100.0%
㉖日常生活用具給付事業	5.3%	0.3%	7.2%	58.0%	29.2%	100.0%
㉗移動支援事業	3.6%	0.5%	9.1%	57.3%	29.5%	100.0%
㉘地域活動支援センター事業	2.4%	0.3%	6.9%	60.4%	30.0%	100.0%
㉙日中一時支援事業	1.1%	0.3%	7.1%	61.1%	30.4%	100.0%

○身体障害者 n=1,293

障害福祉サービスの利用について、障害福祉サービスでは利用状況、利用意向ともに「①居宅介護（ホームヘルプ）」が最も多く、利用状況では 9.8%、利用意向では 21.2%となっています。次いで利用状況では、「⑫自立訓練（機能訓練）」が 7.4%、「⑧生活介護」が 6.8%となっています。利用意向では、「⑧生活介護」が 17.4%、「⑫自立訓練（機能訓練）」が 14.7%となっています。

地域生活支援事業の利用について、利用状況、利用意向ともに「㉔日常生活用具給付事業」が最も多く、利用状況では 8.9%、利用意向では 18.0%となっています。次いで利用状況では、「㉗移動支援事業」が 4.3%、「㉒相談支援事業（一般的な相談）」が 3.2%となっています。利用意向では、「㉒相談支援事業（一般的な相談）」が 15.1%、「㉗移動支援事業」が 14.7%となっています。

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の現在の利用状況

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用しているが、今後は利用しない」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	①居宅介護（ホームヘルプ）	9.8	1	㉔日常生活用具給付事業	8.9
2	⑫自立訓練（機能訓練）	7.4	2	㉗移動支援事業	4.3
3	⑧生活介護	6.8	3	㉒相談支援事業（一般的な相談）	3.2
4	⑪施設入所支援	4.4	4	㉘地域活動支援センター事業	2.6
5	④短期入所（ショートステイ）	4.0	5	㉕手話通訳者等派遣事業	1.3

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の今後の利用意向

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用していないが、3年以内には利用したい」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	①居宅介護（ホームヘルプ）	21.2	1	㉔日常生活用具給付事業	18.0
2	⑧生活介護	17.4	2	㉒相談支援事業（一般的な相談）	15.1
3	⑫自立訓練（機能訓練）	14.7	3	㉗移動支援事業	14.7
4	④短期入所（ショートステイ）	14.4	4	㉘地域活動支援センター事業	9.9
5	⑤自立生活援助	13.0	5	㉙日中一時支援事業	9.0

Ⅱ．障害者本人調査結果

○身体障害者 現在の利用状況及び今後の利用意向

n = 1,293

項目（構成比）	現在利用しており、今後も利用したい	現在利用しているが、今後は利用しない	現在利用していないが、3年以内には利用したい	現在利用しておらず、今後とも利用しない	無回答	合計
障害福祉サービス						
①居宅介護（ホームヘルプ）	9.3%	0.5%	11.9%	49.1%	29.2%	100.0%
②重度訪問介護	2.3%	0.4%	6.8%	55.8%	34.6%	100.0%
③重度障害者等包括支援	3.2%	0.4%	7.7%	54.1%	34.6%	100.0%
④短期入所（ショートステイ）	3.8%	0.2%	10.6%	52.4%	33.0%	100.0%
⑤自立生活援助	2.9%	0.3%	10.1%	52.5%	34.2%	100.0%
⑥同行援護	2.9%	0.5%	9.0%	53.0%	34.6%	100.0%
⑦行動援護	2.1%	0.3%	8.7%	53.6%	35.3%	100.0%
⑧生活介護	6.6%	0.2%	10.8%	50.2%	32.3%	100.0%
⑨療養介護	3.2%	0.2%	7.4%	53.5%	35.7%	100.0%
⑩共同生活援助（グループホーム）	2.2%	0.2%	4.4%	57.6%	35.5%	100.0%
⑪施設入所支援	4.1%	0.3%	7.9%	54.3%	33.4%	100.0%
⑫自立訓練（機能訓練）	6.7%	0.7%	8.0%	50.7%	33.9%	100.0%
⑬自立訓練（生活訓練）	3.2%	0.5%	7.2%	53.8%	35.3%	100.0%
⑭就労選択支援	1.0%	0.2%	5.0%	57.5%	36.3%	100.0%
⑮就労移行支援	0.8%	0.3%	4.2%	58.2%	36.5%	100.0%
⑯就労継続支援（A型）	0.9%	0.4%	3.6%	59.7%	35.5%	100.0%
⑰就労継続支援（B型）	0.8%	0.3%	3.1%	59.6%	36.3%	100.0%
⑱就労定着支援	0.9%	0.3%	4.0%	58.5%	36.3%	100.0%
⑲計画相談支援	3.4%	0.4%	6.0%	54.6%	35.7%	100.0%
⑳地域移行支援・地域定着支援	1.1%	0.5%	4.2%	58.1%	36.1%	100.0%
地域生活支援事業						
㉑障害者理解促進研修・啓発事業	0.4%	0.4%	5.3%	58.0%	36.0%	100.0%
㉒相談支援事業（一般的な相談）	2.7%	0.5%	12.4%	50.4%	34.0%	100.0%
㉓成年後見制度利用支援事業	0.6%	0.4%	5.5%	57.8%	35.7%	100.0%
㉔手話通訳者等派遣事業	1.1%	0.2%	1.8%	61.0%	36.0%	100.0%
㉕要約筆記者派遣事業	0.4%	0.3%	2.2%	60.7%	36.4%	100.0%
㉖日常生活用具給付事業	8.6%	0.3%	9.4%	48.2%	33.5%	100.0%
㉗移動支援事業	3.6%	0.7%	11.1%	50.1%	34.4%	100.0%
㉘地域活動支援センター事業	2.2%	0.4%	7.7%	54.3%	35.5%	100.0%
㉙日中一時支援事業	0.9%	0.4%	8.1%	55.0%	35.6%	100.0%

○知的障害者 n=214

障害福祉サービスの利用について、障害福祉サービスでは利用状況、利用意向ともに、「①⑨計画相談支援」が最も多く、利用状況では 37.9%、利用意向では 45.4%となっています。次いで利用状況では、「⑧生活介護」が 30.8%、「①⑦就労継続支援（Ｂ型）」が 22.0%となっています。利用意向では、「⑧生活介護」が 37.8%、「④短期入所（ショートステイ）」が 29.9%となっています。

地域生活支援事業の利用について、利用状況、利用意向ともに「②②相談支援事業（一般的な相談）」が最も多く、利用状況では 15.9%、利用意向では 30.0%となっています。次いで利用状況では、「②⑦移動支援事業」が 15.4%、「②⑩日常生活用具給付事業」、「②⑧地域活動支援センター事業」、「②⑨日中一時支援事業」がそれぞれ 4.2%となっています。利用意向では、「②⑦移動支援事業」が 27.6%、「②③成年後見制度利用支援事業」が 23.9%となっています。

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の現在の利用状況

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用しているが、今後は利用しない」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	①⑨計画相談支援	37.9	1	②②相談支援事業（一般的な相談）	15.9
2	⑧生活介護	30.8	2	②⑦移動支援事業	15.4
3	①⑦就労継続支援（Ｂ型）	22.0	3	②⑩日常生活用具給付事業	4.2
4	①①施設入所支援	17.3	3	②⑧地域活動支援センター事業	4.2
5	①⑩共同生活援助（グループホーム）	15.9	3	②⑨日中一時支援事業	4.2

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の今後の利用意向

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用していないが、３年以内には利用したい」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	①⑨計画相談支援	45.4	1	②②相談支援事業（一般的な相談）	30.0
2	⑧生活介護	37.8	2	②⑦移動支援事業	27.6
3	④短期入所（ショートステイ）	29.9	3	②③成年後見制度利用支援事業	23.9
4	①⑩共同生活援助（グループホーム）	29.5	4	②⑨日中一時支援事業	16.3
5	①①施設入所支援	28.1	5	②⑧地域活動支援センター事業	14.9

Ⅱ．障害者本人調査結果

○知的障害者 現在の利用状況及び今後の利用意向

n = 214

項目（構成比）	現在利用しており、今後も利用したい	現在利用しているが、今後は利用しない	現在利用していないが、3年以内には利用したい	現在利用しておらず、今後とも利用しない	無回答	合計
障害福祉サービス						
①居宅介護（ホームヘルプ）	7.5%	0.0%	6.1%	56.5%	29.9%	100.0%
②重度訪問介護	0.9%	0.5%	5.6%	58.4%	34.6%	100.0%
③重度障害者等包括支援	3.3%	0.5%	6.5%	55.6%	34.1%	100.0%
④短期入所（ショートステイ）	10.3%	0.0%	19.6%	42.5%	27.6%	100.0%
⑤自立生活援助	4.2%	0.0%	8.9%	52.8%	34.1%	100.0%
⑥同行援護	6.1%	0.0%	9.8%	52.3%	31.8%	100.0%
⑦行動援護	7.5%	0.0%	14.5%	44.9%	33.2%	100.0%
⑧生活介護	30.8%	0.0%	7.0%	37.9%	24.3%	100.0%
⑨療養介護	2.3%	0.5%	2.8%	57.9%	36.4%	100.0%
⑩共同生活援助（グループホーム）	14.5%	1.4%	15.0%	40.2%	29.0%	100.0%
⑪施設入所支援	16.4%	0.9%	11.7%	43.5%	27.6%	100.0%
⑫自立訓練（機能訓練）	6.1%	0.0%	3.7%	55.6%	34.6%	100.0%
⑬自立訓練（生活訓練）	6.5%	0.0%	7.5%	51.4%	34.6%	100.0%
⑭就労選択支援	2.3%	0.9%	8.4%	53.7%	34.6%	100.0%
⑮就労移行支援	5.6%	0.9%	7.0%	52.8%	33.6%	100.0%
⑯就労継続支援（A型）	1.9%	0.5%	5.1%	55.6%	36.9%	100.0%
⑰就労継続支援（B型）	21.5%	0.5%	4.2%	43.5%	30.4%	100.0%
⑱就労定着支援	5.1%	0.5%	4.7%	53.3%	36.4%	100.0%
⑲計画相談支援	37.9%	0.0%	7.5%	28.5%	26.2%	100.0%
⑳地域移行支援・地域定着支援	2.8%	0.0%	8.4%	52.3%	36.4%	100.0%
地域生活支援事業						
㉑障害者理解促進研修・啓発事業	1.9%	0.0%	6.1%	55.6%	36.4%	100.0%
㉒相談支援事業（一般的な相談）	13.6%	2.3%	16.4%	35.0%	32.7%	100.0%
㉓成年後見制度利用支援事業	3.3%	0.0%	20.6%	44.9%	31.3%	100.0%
㉔手話通訳者等派遣事業	0.5%	0.0%	0.5%	64.0%	35.0%	100.0%
㉕要約筆記者派遣事業	0.9%	0.0%	1.9%	62.6%	34.6%	100.0%
㉖日常生活用具給付事業	4.2%	0.0%	6.5%	56.1%	33.2%	100.0%
㉗移動支援事業	14.5%	0.9%	13.1%	40.7%	30.8%	100.0%
㉘地域活動支援センター事業	4.2%	0.0%	10.7%	50.9%	34.1%	100.0%
㉙日中一時支援事業	4.2%	0.0%	12.1%	50.5%	33.2%	100.0%

○精神障害者 n=601

障害福祉サービスの利用について、障害福祉サービスでは利用状況では、「⑨計画相談支援」が10.0%と最も多く、次いで、「⑮就労移行支援」が8.0%、「⑱就労定着支援」が7.9%となっています。利用意向では、「⑱就労定着支援」が22.5%と最も多く、次いで、「⑮就労移行支援」、「⑨計画相談支援」がともに21.9%となっています。

地域生活支援事業の利用について、利用状況、利用意向ともに「⑫相談支援事業（一般的な相談）」が最も多く、利用状況では6.6%、利用意向では23.3%となっています。次いで利用状況では、「⑳地域活動支援センター事業」が3.1%、「㉑移動支援事業」が2.8%となっています。利用意向では、「㉒障害者理解促進研修・啓発事業」が9.7%、「㉓成年後見制度利用支援事業」、「㉑移動支援事業」がともに9.0%となっています。

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の現在の利用状況

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用しているが、今後は利用しない」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	⑨計画相談支援	10.0	1	⑫相談支援事業（一般的な相談）	6.6
2	⑮就労移行支援	8.0	2	⑳地域活動支援センター事業	3.1
3	⑱就労定着支援	7.9	3	㉑移動支援事業	2.8
4	⑰就労継続支援（B型）	7.5	4	㉓成年後見制度利用支援事業	2.5
5	⑤自立生活援助	7.3	5	㉒日常生活用具給付事業	2.1

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の今後の利用意向

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用していないが、3年以内には利用したい」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	⑱就労定着支援	22.5	1	⑫相談支援事業（一般的な相談）	23.3
2	⑮就労移行支援	21.9	2	㉒障害者理解促進研修・啓発事業	9.7
2	⑨計画相談支援	21.9	3	㉓成年後見制度利用支援事業	9.0
4	⑰就労継続支援（B型）	17.6	3	㉑移動支援事業	9.0
5	⑤自立生活援助	17.4	5	㉒地域活動支援センター事業	8.3

Ⅱ．障害者本人調査結果

○精神障害者 現在の利用状況及び今後の利用意向

n = 601

項目（構成比）	現在利用しており、今後も利用したい	現在利用しているが、今後は利用しない	現在利用していないが、3年以内には利用したい	現在利用しておらず、今後とも利用しない	無回答	合計
障害福祉サービス						
①居宅介護（ホームヘルプ）	5.8%	0.3%	7.3%	67.9%	18.6%	100.0%
②重度訪問介護	0.5%	0.3%	3.8%	74.4%	21.0%	100.0%
③重度障害者等包括支援	1.8%	0.3%	5.0%	71.9%	21.0%	100.0%
④短期入所（ショートステイ）	1.2%	0.3%	5.3%	73.0%	20.1%	100.0%
⑤自立生活援助	6.8%	0.5%	10.6%	62.6%	19.5%	100.0%
⑥同行援護	1.8%	0.2%	6.0%	71.0%	21.0%	100.0%
⑦行動援護	2.7%	0.2%	7.8%	68.6%	20.8%	100.0%
⑧生活介護	4.5%	0.2%	7.2%	68.1%	20.1%	100.0%
⑨療養介護	1.3%	0.2%	5.5%	71.2%	21.8%	100.0%
⑩共同生活援助（グループホーム）	4.5%	0.5%	5.5%	70.9%	18.6%	100.0%
⑪施設入所支援	2.0%	0.3%	5.3%	71.7%	20.6%	100.0%
⑫自立訓練（機能訓練）	2.8%	0.3%	7.8%	68.4%	20.6%	100.0%
⑬自立訓練（生活訓練）	3.0%	0.3%	8.3%	67.6%	20.8%	100.0%
⑭就労選択支援	2.3%	0.3%	14.8%	61.9%	20.6%	100.0%
⑮就労移行支援	6.8%	1.2%	15.1%	58.1%	18.8%	100.0%
⑯就労継続支援（A型）	1.8%	0.8%	13.0%	64.6%	19.8%	100.0%
⑰就労継続支援（B型）	6.5%	1.0%	11.1%	63.7%	17.6%	100.0%
⑱就労定着支援	7.2%	0.7%	15.3%	56.9%	20.0%	100.0%
⑲計画相談支援	8.8%	1.2%	13.1%	57.6%	19.3%	100.0%
⑳地域移行支援・地域定着支援	2.3%	0.8%	8.0%	67.6%	21.3%	100.0%
地域生活支援事業						
㉑障害者理解促進研修・啓発事業	1.0%	0.3%	8.7%	69.1%	21.0%	100.0%
㉒相談支援事業（一般的な相談）	6.3%	0.3%	17.0%	57.4%	19.0%	100.0%
㉓成年後見制度利用支援事業	2.2%	0.3%	6.8%	70.5%	20.1%	100.0%
㉔手話通訳者等派遣事業	0.3%	0.2%	0.7%	77.7%	21.1%	100.0%
㉕要約筆記者派遣事業	0.3%	0.2%	1.5%	76.5%	21.5%	100.0%
㉖日常生活用具給付事業	1.8%	0.3%	5.0%	71.9%	21.0%	100.0%
㉗移動支援事業	2.5%	0.3%	6.5%	70.2%	20.5%	100.0%
㉘地域活動支援センター事業	2.8%	0.3%	5.5%	71.0%	20.3%	100.0%
㉙日中一時支援事業	1.3%	0.2%	5.0%	71.9%	21.6%	100.0%

○難病 n=485

障害福祉サービスの利用について、障害福祉サービスでは利用状況利用意向ともに、「①居宅介護（ホームヘルプ）」が最も多く、利用状況では 7.0%、利用意向では 16.1%となっています。次いで利用状況では、「⑫自立訓練（機能訓練）」が 5.3%、「⑧生活介護」が 3.7%となっています。利用意向では、「⑧生活介護」が 12.6%、「⑫自立訓練（機能訓練）」が 12.1%となっています。

地域生活支援事業の利用について利用状況では、「㉔日常生活用具給付事業」が 4.3%と最も多く、次いで、「㉗移動支援事業」が 2.3%、「㉘地域活動支援センター事業」が 1.8%となっています。利用意向では、「㉚相談支援事業（一般的な相談）」が 11.7%と最も多く、次いで、「㉔日常生活用具給付事業」が 10.1%、「㉗移動支援事業」が 9.9%となっています。

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の現在の利用状況

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用しているが、今後は利用しない」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	①居宅介護（ホームヘルプ）	7.0	1	㉔日常生活用具給付事業	4.3
2	⑫自立訓練（機能訓練）	5.3	2	㉗移動支援事業	2.3
3	⑧生活介護	3.7	3	㉘地域活動支援センター事業	1.8
4	⑯計画相談支援	3.3	4	㉚相談支援事業（一般的な相談）	1.6
5	④短期入所（ショートステイ）	2.9	5	㉙日中一時支援事業	0.6

○障害福祉サービス・地域生活支援事業の今後の利用意向

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用していないが、3年以内には利用したい」割合）

障害福祉サービスの利用状況			地域生活支援事業の利用状況		
No.	項目	%	No.	項目	%
1	①居宅介護（ホームヘルプ）	16.1	1	㉚相談支援事業（一般的な相談）	11.7
2	⑧生活介護	12.6	2	㉔日常生活用具給付事業	10.1
3	⑫自立訓練（機能訓練）	12.1	3	㉗移動支援事業	9.9
4	④短期入所（ショートステイ）	10.1	4	㉘地域活動支援センター事業	9.0
5	⑯計画相談支援	9.7	5	㉙日中一時支援事業	7.2

Ⅱ．障害者本人調査結果

○難病 現在の利用状況及び今後の利用意向

n = 485

項目（構成比）	現在利用しており、今後も利用したい	現在利用しているが、今後は利用しない	現在利用していないが、3年以内には利用したい	現在利用しておらず、今後とも利用しない	無回答	合計
障害福祉サービス						
①居宅介護（ホームヘルプ）	7.0%	0.0%	9.1%	67.0%	16.9%	100.0%
②重度訪問介護	2.1%	0.2%	4.3%	73.0%	20.4%	100.0%
③重度障害者等包括支援	1.6%	0.4%	4.7%	72.2%	21.0%	100.0%
④短期入所（ショートステイ）	2.5%	0.4%	7.6%	70.1%	19.4%	100.0%
⑤自立生活援助	1.2%	0.0%	6.2%	70.9%	21.6%	100.0%
⑥同行援護	1.6%	0.4%	6.6%	69.3%	22.1%	100.0%
⑦行動援護	1.0%	0.0%	7.6%	69.5%	21.9%	100.0%
⑧生活介護	3.7%	0.0%	8.9%	67.8%	19.6%	100.0%
⑨療養介護	1.4%	0.0%	6.4%	70.3%	21.9%	100.0%
⑩共同生活援助（グループホーム）	1.0%	0.2%	4.1%	72.4%	22.3%	100.0%
⑪施設入所支援	2.3%	0.2%	5.4%	70.5%	21.6%	100.0%
⑫自立訓練（機能訓練）	4.3%	1.0%	7.8%	66.0%	20.8%	100.0%
⑬自立訓練（生活訓練）	1.0%	0.8%	6.8%	68.9%	22.5%	100.0%
⑭就労選択支援	0.6%	0.2%	4.9%	71.8%	22.5%	100.0%
⑮就労移行支援	0.8%	0.4%	3.1%	72.8%	22.9%	100.0%
⑯就労継続支援（A型）	0.2%	0.6%	2.5%	75.1%	21.6%	100.0%
⑰就労継続支援（B型）	0.8%	0.4%	2.9%	74.4%	21.4%	100.0%
⑱就労定着支援	1.2%	0.2%	3.9%	73.2%	21.4%	100.0%
⑲計画相談支援	3.3%	0.0%	6.4%	69.7%	20.6%	100.0%
⑳地域移行支援・地域定着支援	0.2%	0.2%	3.7%	73.2%	22.7%	100.0%
地域生活支援事業						
㉑障害者理解促進研修・啓発事業	0.2%	0.0%	5.2%	72.4%	22.3%	100.0%
㉒相談支援事業（一般的な相談）	1.6%	0.0%	10.1%	66.6%	21.6%	100.0%
㉓成年後見制度利用支援事業	0.2%	0.0%	2.7%	75.5%	21.6%	100.0%
㉔手話通訳者等派遣事業	0.0%	0.2%	1.2%	77.1%	21.4%	100.0%
㉕要約筆記者派遣事業	0.2%	0.2%	2.3%	76.3%	21.0%	100.0%
㉖日常生活用具給付事業	4.3%	0.0%	5.8%	68.5%	21.4%	100.0%
㉗移動支援事業	2.1%	0.2%	7.8%	68.7%	21.2%	100.0%
㉘地域活動支援センター事業	1.4%	0.4%	7.6%	69.1%	21.4%	100.0%
㉙日中一時支援事業	0.4%	0.2%	6.8%	70.1%	22.5%	100.0%

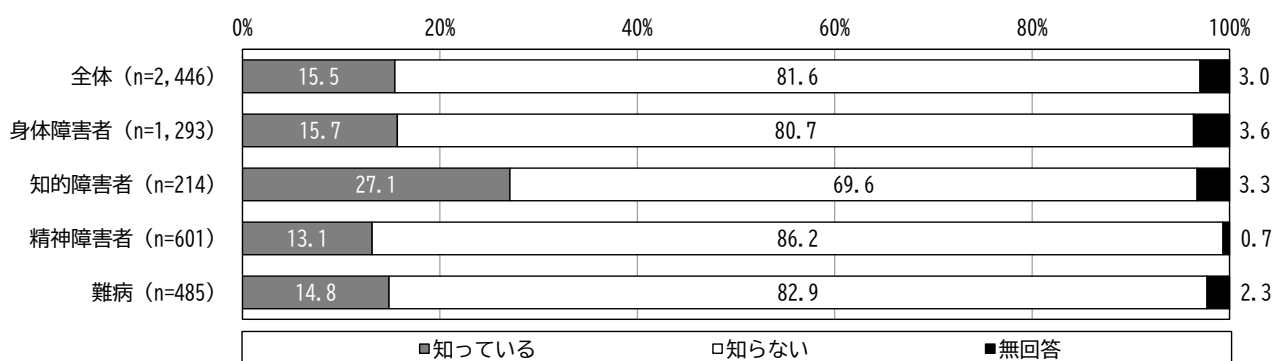
8 権利擁護について

問 23 あなたは、「障害者虐待防止センター※」をご存じですか。(○は1つ)

「障害者虐待防止センター」の認知度については、「知っている」が15.5%に対し、「知らない」が81.6%となっています。

障害種別にみると、「はい」が知的障害者で27.1%と他障害と比べて高くなっています。

※朝霞市では、障害福祉課内に障害者虐待防止センターを設置し、障害のある人への虐待についての相談、通報等を受けており、関係機関との連携により解決に努めています。

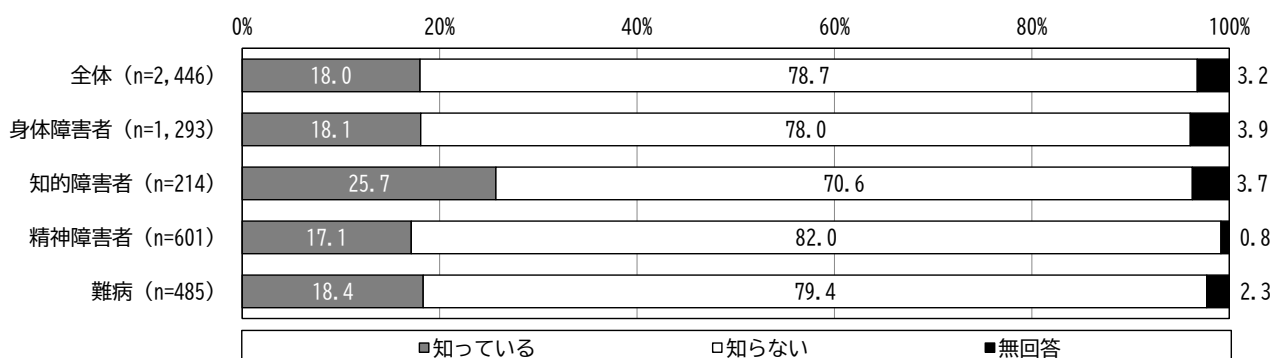


問 24 あなたは、「障害者差別解消法※」をご存じですか。(○は1つ)

「障害者差別解消法」の認知度については、「知っている」が18.0%に対し、「知らない」が78.7%となっています。

障害種別にみると、「知っている」が知的障害者で25.7%と他障害と比べて高くなっています。

※障害者差別解消法は、国や市区町村などの行政機関や、会社やお店などの民間事業者における「障害を理由とする差別」を解消するために制定された法律です。障害のあるなしにかかわらず、すべての人がお互いの人格と個性を尊重し合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しています。

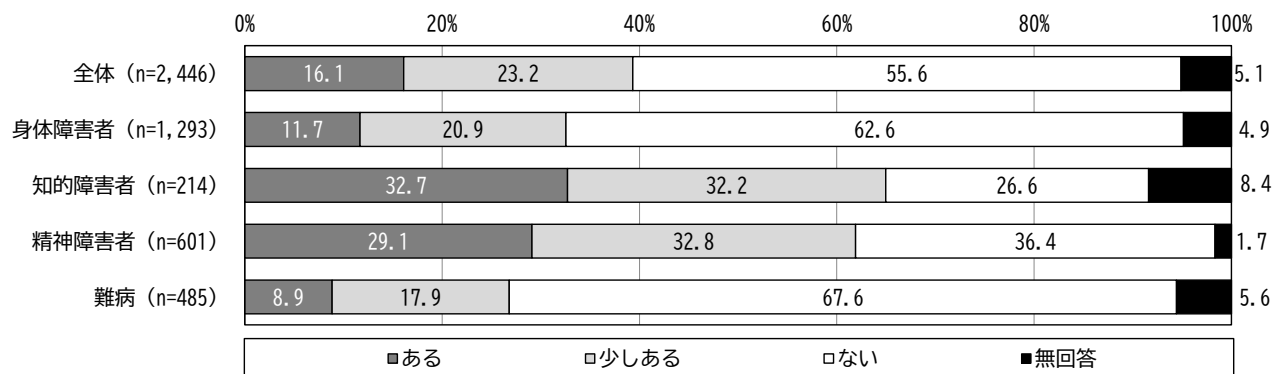


Ⅱ. 障害者本人調査結果

問 25 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つ）

障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがあるかについては、「ある(16.1%)」、「少しある(23.2%)」を合わせた『ある（計）』が 39.3%に対し、「ない」が 55.6%となっています。

障害種別にみると、『ある（計）』が知的障害者と精神障害者で6割を超えています。

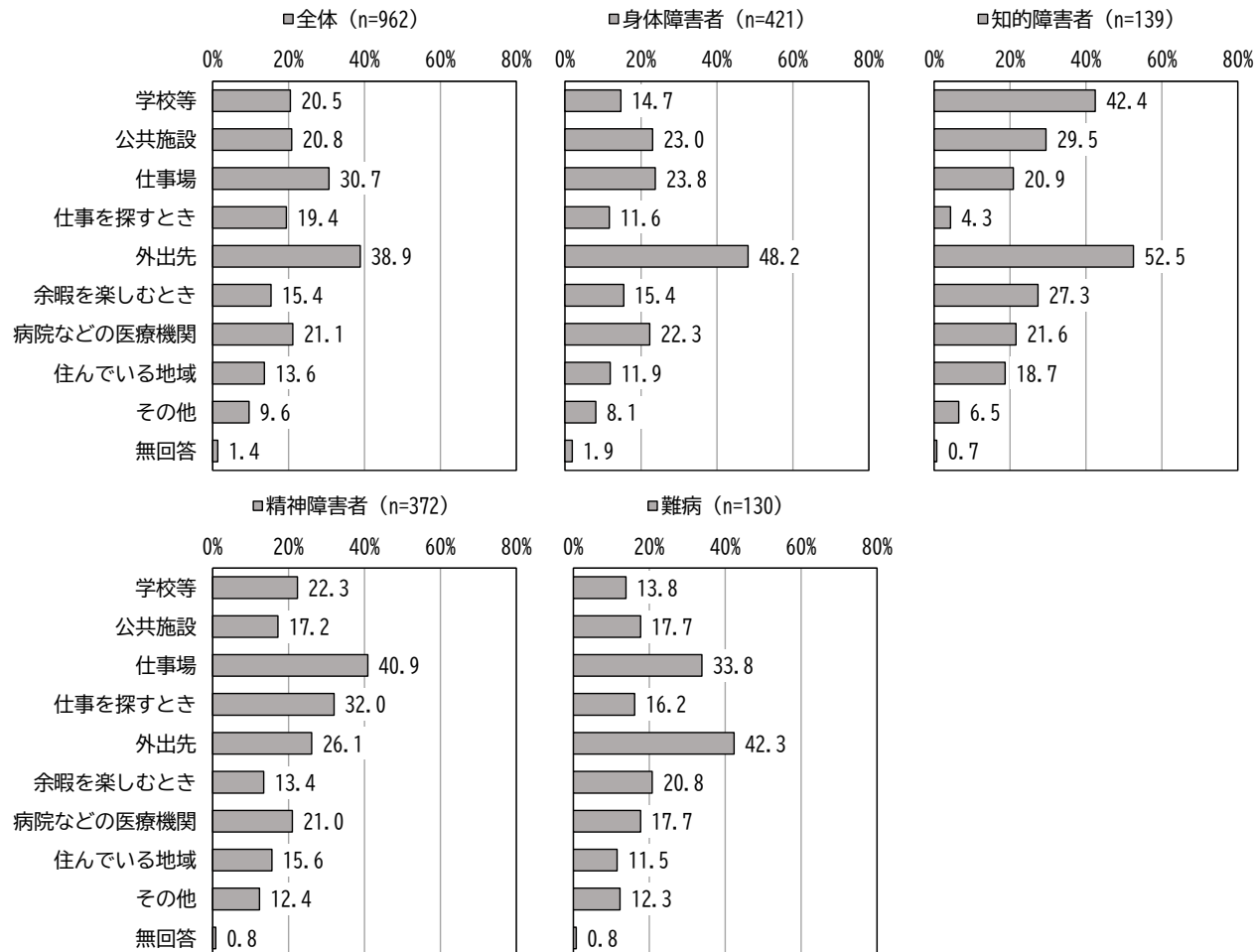


問 25 で障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことが「ある」、「少しある」のいずれかを選択した方のみ回答

問 25-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（○はいくつでも）

場所で差別や嫌な思いをした場所については、「外出先」が 38.9%と最も多く、次いで、「仕事場」が 30.7%、「病院などの医療機関」が 21.1%となっています。

障害種別の割合を見ると、身体障害者、知的障害者、難病では「外出先」、精神障害者では「仕事場」の割合が最も多くなっています。

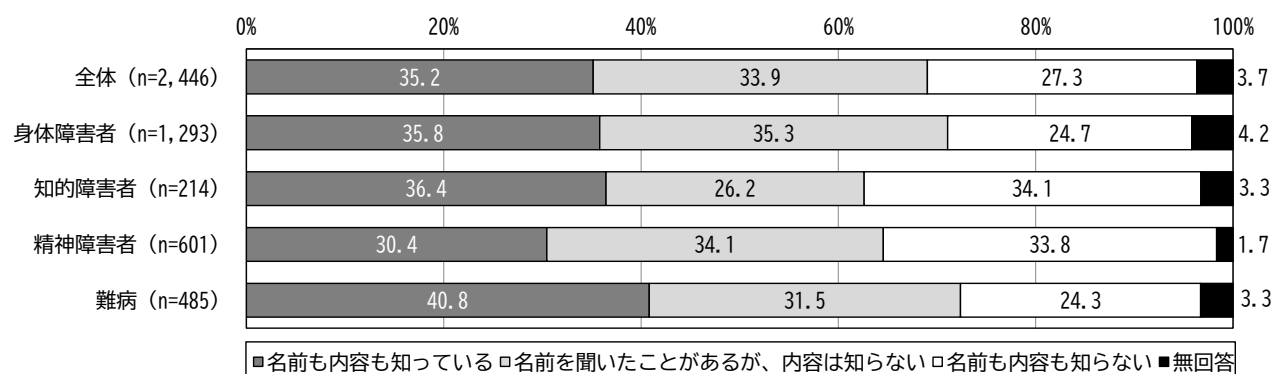


問 26 あなたは、「成年後見制度※」をご存じですか。(○は1つ)

「成年後見制度」の認知度については、「名前も内容も知っている」が 35.2%と最も多く、次いで、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 33.9%、「名前も内容も知らない」が 27.3%となっています。

障害種別にみると、すべての障害で「名前も内容も知っている」が3割を超えています。

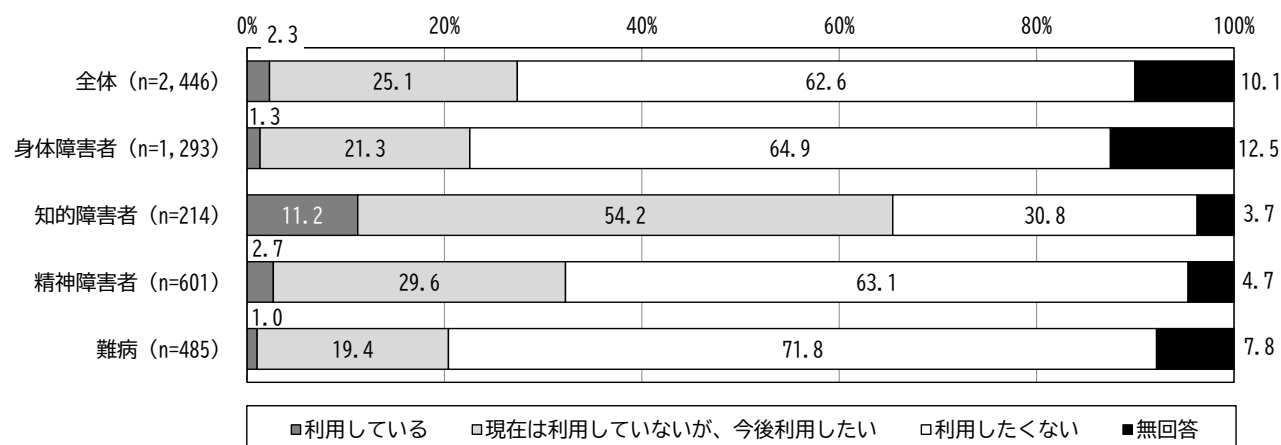
※成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方々を保護し、生活や財産管理などについて支援するための制度です。



問 27 「成年後見制度」の利用について (○は1つ)

「成年後見制度」の利用については、「利用したくない」が 62.6%と最も多く、次いで、「現在は利用していないが、今後利用したい」が 25.1%、「利用している」が 2.3%となっています。

障害種別にみると、知的障害者で「利用している」、「現在は利用していないが、今後利用したい」の割合が他障害よりも高く、利用意向が高くなっています。



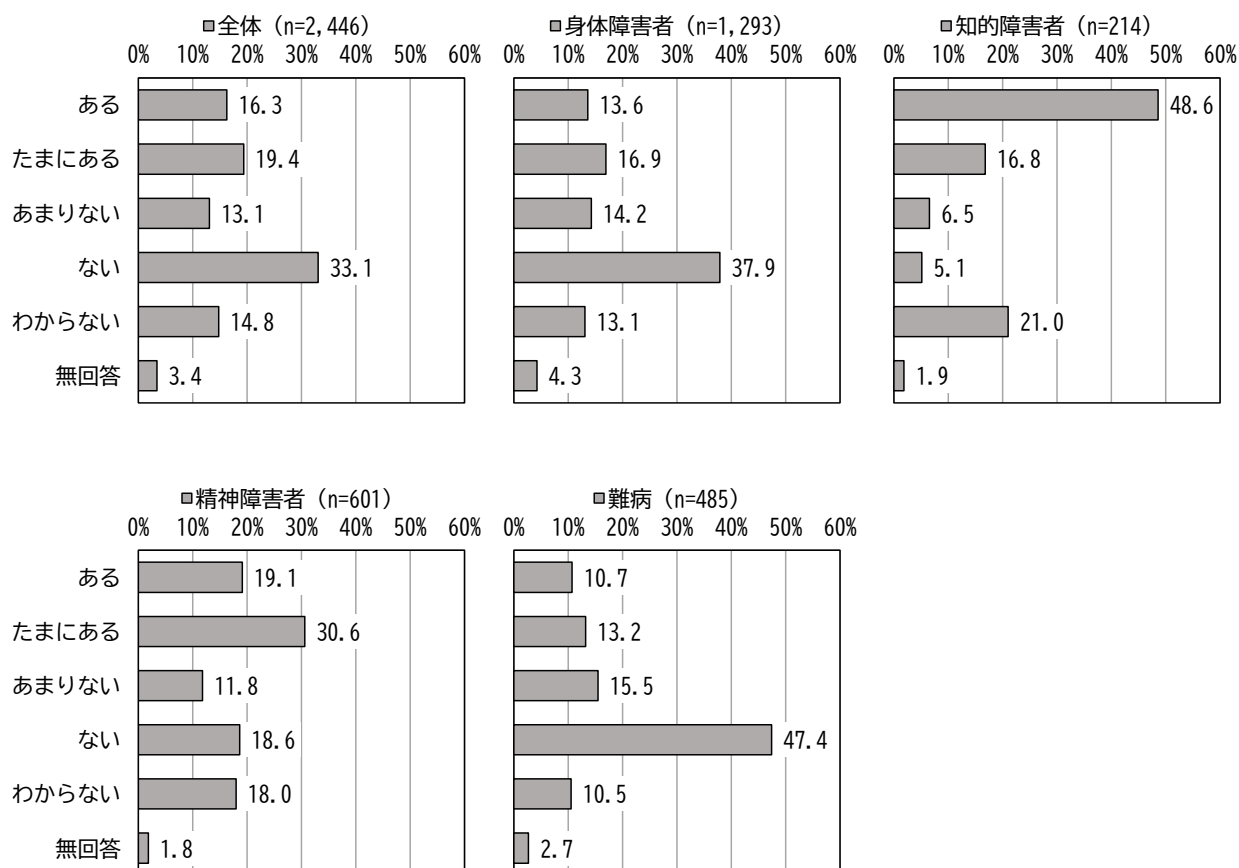
Ⅱ. 障害者本人調査結果

問 28 あなたは、自らの意思が反映された生活を送ることができるように、物事を決めるための手伝いが必要だと感じることはありますか。(○は1つ)

自らの意思が反映された生活を送ることができるように、物事を決めるための手伝いが必要だと感じることはあるかについては、「ある(16.3%)」、「たまにある(19.4%)」を合わせた『ある(計)』が35.7%に対し、「あまりない(13.1%)」、「ない(33.1%)」を合わせた『ない(計)』が46.2%となっています。

また「わからない」が14.8%となっています。

障害種別にみると、『ある(計)』が身体障害者では30.5%、知的障害者では65.4%、精神障害者では49.7%、難病では23.9%となっています。



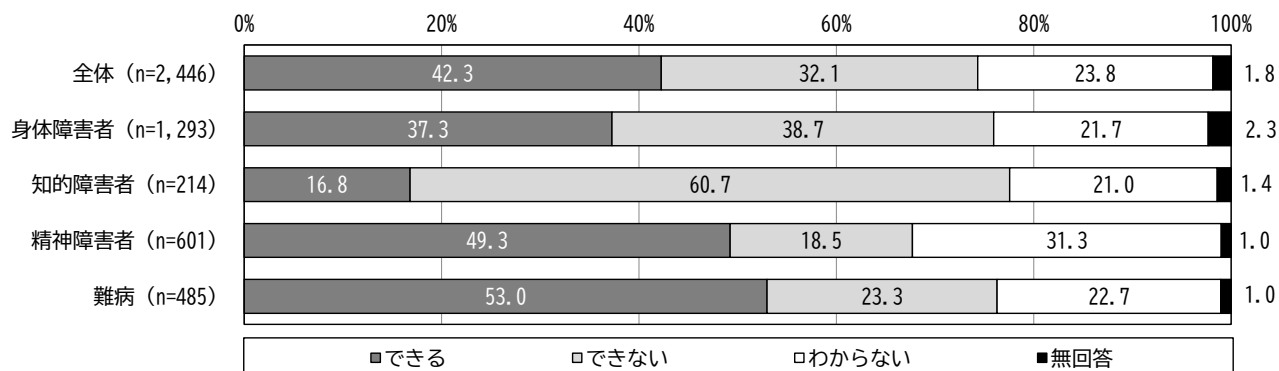
9 災害時の避難等について

問 29 あなたは、地震や水害等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つ)

地震や水害等の災害時に一人で避難できるかについては、「できる」が42.3%に対し、「できない」が32.1%となっています。

また「わからない」が23.8%となっています。

障害種別にみると、「できない」が身体障害者では38.7%、知的障害者では60.7%、精神障害者では18.5%、難病では23.3%となっています。

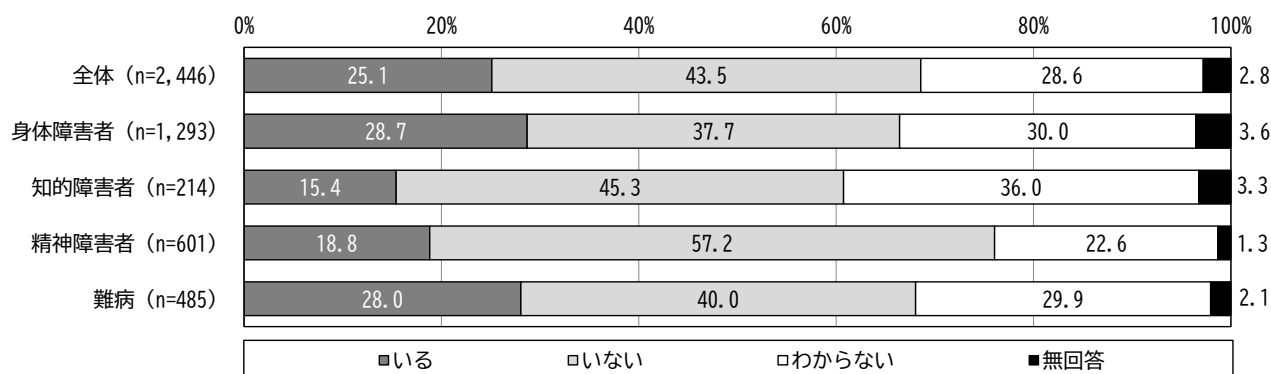


問 30 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つ)

家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所に助けてくれる人がいるかについては、「いる」が25.1%に対し、「いない」が43.5%となっています。

また「わからない」が28.6%、となっています。

障害種別にみると、「いない」が身体障害者では37.7%、知的障害者では45.3%、精神障害者では57.2%、難病では40.0%となっています。

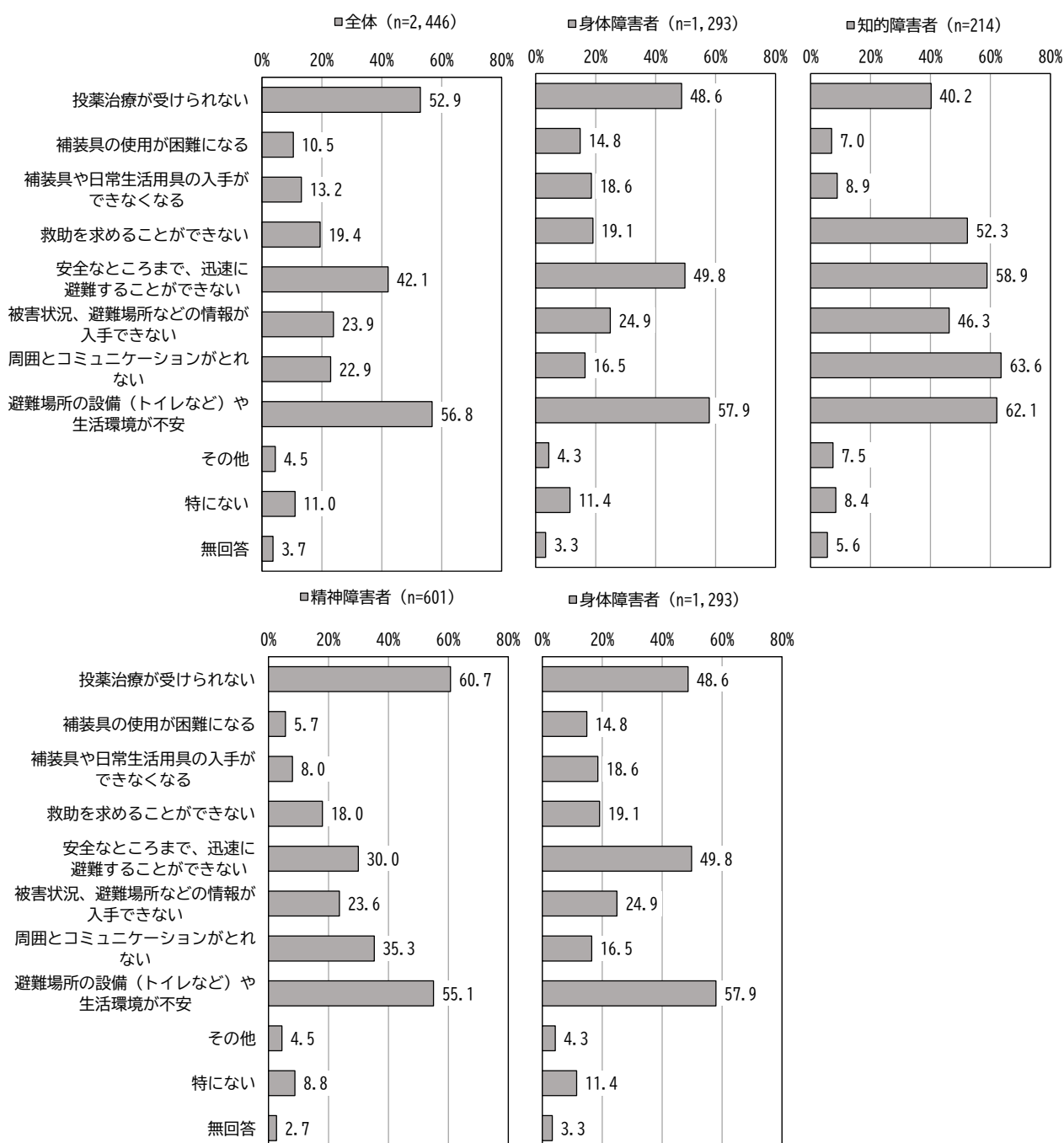


Ⅱ. 障害者本人調査結果

問 31 地震や水害等の災害時に困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

地震や水害等の災害時に困ることについては、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が 56.8%と最も多く、次いで、「投薬治療が受けられない」が 52.9%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が 42.1%となっています。

障害種別にみると、身体障害者では「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」、知的障害者では「周囲とコミュニケーションがとれない」、精神障害者、難病では「投薬治療が受けられない」の割合が最も多くなっています。

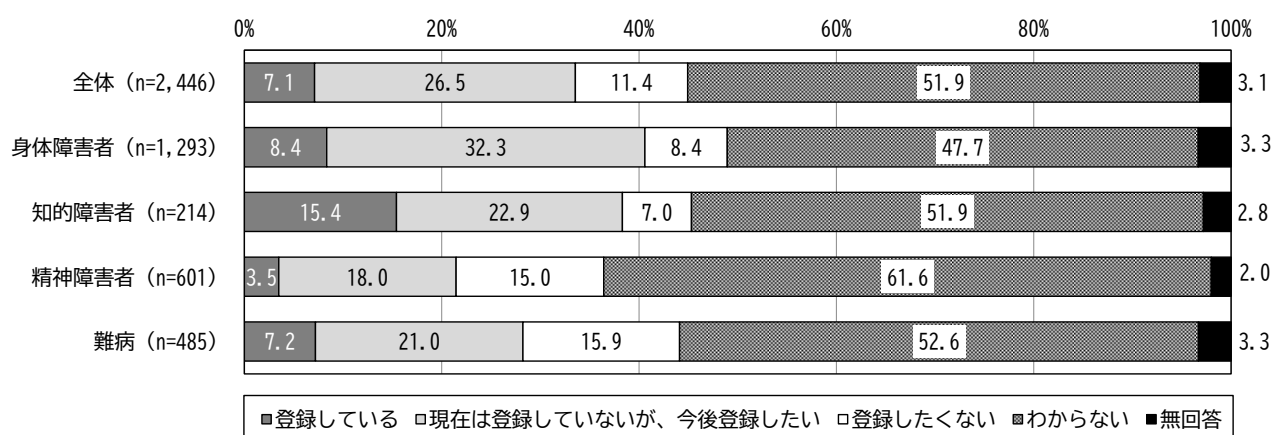


問 32 市が実施する避難行動要支援者台帳※登録制度について（○は1つ）

市が実施する避難行動要支援者台帳登録制度については、「わからない」が51.9%と最も多く、次いで、「現在は登録していないが、今後登録したい」が26.5%、「登録したくない」が11.4%となっています。

障害種別にみると、「現在は登録していないが、今後登録したい」では身体障害者の割合が他の障害と比べて高く、対して「登録したくない」では難病の割合が高くなっています。

※避難行動要支援者台帳とは、災害時に避難をする際、在宅で支援を必要とする方（避難行動要支援者）のうち、登録を届出された方のみが記載されるもので、避難支援や安否確認のため、避難支援者に提供し活用されるものです。



Ⅱ. 障害者本人調査結果

10 朝霞市のまちづくりについて

問 33 障害のある人の住みやすいまちづくりについて、①から⑭のそれぞれについて、「満足度」と「今後の重要性」の両方にお答えください。（それぞれ〇は1つ）

○満足度「満足」

No	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病
1	【1位】 ③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実(7.8)	【1位】 ③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実(7.1)	【1位】 ②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備(7.9)	【1位】 ③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実(11.3)	【1位】 ③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実(6.4)
2	【2位】 ①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実(5.9)	【2位】 ①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実(5.8)	【2位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(7.5)	【2位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(10.0)	【2位】 ②生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる(4.5)
3	【3位】 ②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備(5.6)	【3位】 ②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備(5.0)	【3位】 ⑧働く場の確保(7.0)	【3位】 ⑦障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実(8.7)	【3位】 ⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備(4.1)
4	【4位】 ⑦障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実(5.5)	【4位】 ⑦障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実(4.8)	【4位】 ③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実(6.5)	【4位】 ①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実(8.3)	【3位】 ⑥福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化(4.1)
5	【5位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(5.4)	【5位】 ③障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる(4.5)	【5位】 ⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備(6.1)	【5位】 ③障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる(8.0)	【5位】 ①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実(3.9)

※括弧内の数字は構成比（％）

○満足度「不満」

No	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病
1	【1位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(24.2)	【1位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(25.7)	【1位】 ④重度の障害のある人のための入所施設の整備(39.3)	【1位】 ⑧働く場の確保(28.5)	【1位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(27.8)
2	【2位】 ⑫障害のある人のための住まいの確保・供給(20.0)	【2位】 ⑫障害のある人のための住まいの確保・供給(18.1)	【2位】 ⑫障害のある人のための住まいの確保・供給(35.0)	【2位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(23.0)	【2位】 ⑫障害のある人のための住まいの確保・供給(17.9)
3	【3位】 ⑧働く場の確保(17.5)	【3位】 ⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施(17.0)	【3位】 ⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成(33.2)	【3位】 ⑫障害のある人のための住まいの確保・供給(22.6)	【3位】 ⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施(17.3)
4	【4位】 ⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施(17.0)	【4位】 ④重度の障害のある人のための入所施設の整備(13.7)	【4位】 ⑤グループホームなど地域での生活の場の整備(32.2)	【4位】 ⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実(21.5)	【4位】 ⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成(15.7)
5	【5位】 ⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実(16.3)	【5位】 ⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実(13.5)	【5位】 ⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実(29.0)	【5位】 ⑦障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実(20.1)	【5位】 ⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実(15.3)

※括弧内の数字は構成比（％）

○今後の重要性「重要」

No	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病
1	【1位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(61.2)	【1位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(61.7)	【1位】 ⑧働く場の確保(67.8)	【1位】 ⑧働く場の確保(66.2)	【1位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(64.1)
2	【2位】 ③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実(57.0)	【2位】 ③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実(56.8)	【2位】 ⑫障害のある人のための住まいの確保・供給(66.4)	【2位】 ⑫障害のある人のための住まいの確保・供給(62.7)	【2位】 ③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実(59.4)
3	【3位】 ①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実(55.8)	【3位】 ⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施(54.5)	【3位】 ④重度の障害のある人のための入所施設の整備(65.4)	【3位】 ①障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備(62.6)	【3位】 ①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実(58.1)
4	【4位】 ⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施(55.2)	【4位】 ④重度の障害のある人のための入所施設の整備(54.0)	【3位】 ⑤グループホームなど地域での生活の場の整備(65.4)	【4位】 ①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実(61.6)	【4位】 ⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施(56.9)
5	【5位】 ⑫障害のある人のための住まいの確保・供給(54.4)	【5位】 ①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実(52.8)	【5位】 ①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実(65.0)	【5位】 ⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実(59.9)	【5位】 ④重度の障害のある人のための入所施設の整備(55.5)

※括弧内の数字は構成比(%)

Ⅱ. 障害者本人調査結果

○全体 満足度 n=2,446

項目（構成比）	満足	普通	不満	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	5.9%	69.5%	10.8%	13.7%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	5.6%	66.5%	12.4%	15.4%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	7.8%	66.6%	10.8%	14.8%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	4.1%	64.4%	14.3%	17.1%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	4.0%	67.4%	10.9%	17.7%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	5.1%	65.8%	11.9%	17.2%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	4.2%	67.0%	11.0%	17.8%	100.0%
⑧働く場の確保	3.9%	59.9%	17.5%	18.7%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	4.0%	64.4%	13.5%	18.2%	100.0%
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	3.5%	66.6%	12.3%	17.7%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	5.4%	54.5%	24.2%	15.8%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	3.3%	58.1%	20.0%	18.6%	100.0%
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	3.0%	61.3%	17.0%	18.6%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	3.8%	62.0%	16.3%	17.9%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	3.8%	61.9%	15.3%	19.0%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	4.8%	60.4%	15.0%	19.7%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	5.5%	61.0%	15.0%	18.5%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	2.5%	66.1%	11.0%	20.4%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	3.2%	66.3%	11.3%	19.2%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	3.1%	66.5%	9.3%	21.1%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	3.7%	62.8%	14.1%	19.3%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	4.3%	63.7%	12.8%	19.2%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	5.1%	63.7%	12.3%	18.9%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	3.6%	64.2%	12.1%	20.1%	100.0%

○全体 今後の重要性 n = 2, 446

項目（構成比）	重要	どちらでもない	重要ではない	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	55.8%	26.6%	1.4%	16.2%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	50.6%	30.7%	1.8%	16.9%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	57.0%	25.5%	1.2%	16.3%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	54.3%	28.0%	1.5%	16.2%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	47.3%	33.7%	1.8%	17.3%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	52.1%	29.6%	1.5%	16.7%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	48.5%	32.7%	1.7%	17.1%	100.0%
⑧働く場の確保	53.0%	27.4%	2.1%	17.5%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	43.8%	36.2%	2.5%	17.6%	100.0%
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	36.6%	41.1%	3.8%	18.5%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	61.2%	21.3%	1.0%	16.6%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	54.4%	26.0%	1.3%	18.3%	100.0%
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	55.2%	25.5%	1.1%	18.2%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	54.4%	26.4%	1.3%	17.9%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	54.1%	26.6%	0.9%	18.4%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	44.0%	32.6%	3.7%	19.6%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	54.1%	26.7%	0.9%	18.4%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	39.6%	38.6%	2.5%	19.3%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	51.4%	29.6%	0.9%	18.1%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	45.6%	32.8%	1.4%	20.2%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	51.0%	28.9%	1.1%	19.0%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	48.4%	31.1%	1.5%	19.1%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	49.1%	31.0%	1.2%	18.7%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	41.9%	35.7%	2.7%	19.7%	100.0%

Ⅱ. 障害者本人調査結果

○身体障害者 満足度 n = 1,293

項目（構成比）	満足	普通	不満	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	5.8%	69.4%	8.4%	16.4%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	5.0%	65.1%	10.8%	19.0%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	7.1%	65.0%	9.8%	18.0%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	3.9%	61.3%	13.7%	21.1%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	3.2%	66.2%	8.8%	21.7%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	4.4%	63.7%	10.6%	21.3%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	3.6%	66.3%	8.0%	22.2%	100.0%
⑧働く場の確保	2.8%	60.3%	13.0%	23.9%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	2.9%	63.3%	10.9%	22.8%	100.0%
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	2.6%	67.1%	8.7%	21.6%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	3.7%	51.9%	25.7%	18.7%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	2.3%	57.3%	18.1%	22.3%	100.0%
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	2.0%	58.5%	17.0%	22.5%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	2.9%	61.5%	13.5%	22.1%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	3.2%	61.1%	12.4%	23.4%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	4.1%	58.9%	13.1%	24.0%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	4.8%	60.0%	12.4%	22.8%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	1.9%	63.6%	9.4%	25.1%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	2.6%	65.7%	8.1%	23.6%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	1.9%	63.7%	8.2%	26.2%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	2.9%	62.1%	11.5%	23.5%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	3.6%	61.9%	10.9%	23.6%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	4.5%	61.7%	10.5%	23.3%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	2.6%	61.3%	11.4%	24.7%	100.0%

○身体障害者 今後の重要性 n=1,293

項目（構成比）	重要	どちらでもない	重要ではない	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	52.8%	26.1%	0.9%	20.2%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	48.9%	29.1%	1.6%	20.4%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	56.8%	22.7%	0.9%	19.7%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	54.0%	25.4%	1.2%	19.4%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	45.1%	32.4%	1.5%	21.0%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	51.5%	27.2%	1.3%	20.0%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	44.5%	33.3%	1.5%	20.6%	100.0%
⑧働く場の確保	47.4%	29.4%	2.1%	21.1%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	41.5%	34.6%	2.1%	21.7%	100.0%
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	35.8%	38.5%	3.2%	22.4%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	61.7%	17.7%	1.0%	19.6%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	50.8%	25.6%	1.5%	22.1%	100.0%
⑬災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	54.5%	22.5%	0.9%	22.0%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	51.7%	25.4%	1.2%	21.7%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	52.3%	24.2%	1.2%	22.4%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	42.0%	30.8%	3.6%	23.6%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	52.4%	24.5%	1.0%	22.0%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	38.7%	35.8%	1.8%	23.7%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	49.0%	28.2%	0.9%	22.0%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	43.9%	30.4%	1.2%	24.5%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	48.7%	27.9%	1.0%	22.4%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	46.3%	29.4%	1.2%	23.0%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	47.3%	29.0%	1.2%	22.5%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	39.8%	33.7%	2.6%	23.9%	100.0%

Ⅱ．障害者本人調査結果

○知的障害者 満足度 n=214

項目（構成比）	満足	普通	不満	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	3.3%	65.4%	18.7%	12.6%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	7.9%	56.1%	22.4%	13.6%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	6.5%	63.1%	17.3%	13.1%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	5.6%	44.4%	39.3%	10.7%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	4.7%	48.6%	32.2%	14.5%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	5.1%	59.3%	20.6%	15.0%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	5.6%	59.8%	20.1%	14.5%	100.0%
⑧働く場の確保	7.0%	50.5%	28.0%	14.5%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	6.1%	51.9%	26.6%	15.4%	100.0%
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	5.6%	57.5%	22.4%	14.5%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	7.5%	53.3%	24.8%	14.5%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	5.6%	43.0%	35.0%	16.4%	100.0%
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	5.1%	54.2%	25.7%	15.0%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	5.6%	49.5%	29.0%	15.9%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	4.2%	47.2%	33.2%	15.4%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	4.2%	57.9%	21.5%	16.4%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	4.2%	58.9%	22.9%	14.0%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	2.8%	63.1%	17.3%	16.8%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	4.2%	60.7%	19.2%	15.9%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	4.7%	65.9%	13.1%	16.4%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	5.1%	53.7%	24.8%	16.4%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	3.3%	63.1%	18.2%	15.4%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	4.7%	60.7%	18.7%	15.9%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	4.7%	65.0%	14.0%	16.4%	100.0%

○知的障害者 今後の重要性 n=214

項目（構成比）	重要	どちらでもない	重要ではない	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	65.0%	18.7%	1.9%	14.5%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	55.6%	24.8%	2.8%	16.8%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	58.9%	23.4%	1.9%	15.9%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	65.4%	19.2%	2.3%	13.1%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	65.4%	17.8%	1.4%	15.4%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	56.1%	26.2%	1.9%	15.9%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	59.3%	21.5%	2.3%	16.8%	100.0%
⑧働く場の確保	67.8%	14.0%	1.9%	16.4%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	53.7%	27.6%	2.3%	16.4%	100.0%
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	48.1%	33.2%	2.8%	15.9%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	64.0%	20.6%	1.4%	14.0%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	66.4%	15.4%	1.4%	16.8%	100.0%
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	64.0%	19.6%	1.9%	14.5%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	64.0%	20.1%	0.9%	15.0%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	63.6%	19.2%	0.9%	16.4%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	44.4%	33.2%	5.1%	17.3%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	61.2%	21.0%	0.9%	16.8%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	44.9%	34.1%	4.2%	16.8%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	63.1%	20.1%	1.4%	15.4%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	54.7%	25.7%	2.8%	16.8%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	61.7%	20.1%	1.4%	16.8%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	52.3%	27.1%	3.3%	17.3%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	52.3%	28.5%	1.9%	17.3%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	47.7%	31.3%	4.2%	16.8%	100.0%

Ⅱ．障害者本人調査結果

○精神障害者 満足度 n = 601

項目（構成比）	満足	普通	不満	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	8.3%	68.6%	17.0%	6.2%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	7.5%	71.0%	15.0%	6.5%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	11.3%	69.7%	12.1%	6.8%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	5.3%	74.0%	11.8%	8.8%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	6.7%	73.5%	12.0%	7.8%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	7.5%	70.7%	13.6%	8.2%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	6.3%	68.6%	17.1%	8.0%	100.0%
⑧働く場の確保	6.3%	57.2%	28.5%	8.0%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	7.2%	67.1%	17.3%	8.5%	100.0%
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	5.8%	67.1%	18.8%	8.3%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	10.0%	59.6%	23.0%	7.5%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	5.8%	61.9%	22.6%	9.7%	100.0%
⑬災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	5.5%	67.2%	18.0%	9.3%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	6.2%	65.1%	21.5%	7.3%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	5.7%	67.6%	18.1%	8.7%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	7.7%	63.7%	19.3%	9.3%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	8.7%	63.1%	20.1%	8.2%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	4.0%	72.9%	13.6%	9.5%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	5.2%	69.2%	17.3%	8.3%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	5.0%	73.4%	11.1%	10.5%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	6.2%	66.1%	19.1%	8.7%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	6.7%	67.7%	17.0%	8.7%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	8.0%	67.7%	16.0%	8.3%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	6.2%	69.7%	14.8%	9.3%	100.0%

○精神障害者 今後の重要性 n = 601

項目（構成比）	重要	どちらでもない	重要ではない	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	61.6%	28.8%	2.3%	7.3%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	54.6%	34.3%	2.7%	8.5%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	58.7%	31.8%	1.7%	7.8%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	54.2%	34.6%	2.7%	8.5%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	50.1%	38.3%	2.8%	8.8%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	56.9%	33.3%	1.7%	8.2%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	58.2%	30.9%	1.8%	9.0%	100.0%
⑧働く場の確保	66.2%	22.8%	2.0%	9.0%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	48.6%	39.8%	3.3%	8.3%	100.0%
⑩障害のある人とない人が交流する場の充実	40.3%	45.1%	5.5%	9.2%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	62.6%	27.5%	1.2%	8.8%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	62.7%	26.6%	1.3%	9.3%	100.0%
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	56.9%	32.4%	1.3%	9.3%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	59.9%	29.5%	1.7%	9.0%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	59.4%	31.1%	0.8%	8.7%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	49.3%	36.8%	4.3%	9.7%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	58.4%	31.9%	1.0%	8.7%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	41.3%	45.6%	4.0%	9.2%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	57.9%	32.4%	1.2%	8.5%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	50.7%	37.3%	1.7%	10.3%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	58.4%	31.4%	1.2%	9.0%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	55.9%	33.4%	1.8%	8.8%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	55.4%	34.4%	1.3%	8.8%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	47.3%	39.9%	3.5%	9.3%	100.0%

Ⅱ. 障害者本人調査結果

○難病 満足度 n = 485

項目（構成比）	満足	普通	不満	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	3.9%	77.7%	7.6%	10.7%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	3.3%	75.1%	10.1%	11.5%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	6.4%	71.3%	10.9%	11.3%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	3.5%	71.5%	12.6%	12.4%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	3.1%	74.2%	9.7%	13.0%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	4.1%	70.9%	12.2%	12.8%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	3.5%	73.8%	9.7%	13.0%	100.0%
⑧働く場の確保	3.3%	70.5%	12.2%	14.0%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	2.7%	72.8%	11.3%	13.2%	100.0%
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	2.3%	74.4%	9.5%	13.8%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	3.7%	56.7%	27.8%	11.8%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	2.1%	64.9%	17.9%	15.1%	100.0%
⑬災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	2.5%	65.4%	17.3%	14.8%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	2.7%	67.8%	15.3%	14.2%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	2.5%	66.4%	15.7%	15.5%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	4.1%	65.4%	14.0%	16.5%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	3.7%	67.4%	13.8%	15.1%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	2.1%	70.7%	10.9%	16.3%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	2.3%	72.8%	9.1%	15.9%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	2.7%	71.3%	9.7%	16.3%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	3.3%	68.2%	13.4%	15.1%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	4.5%	67.6%	12.6%	15.3%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	3.5%	69.3%	11.8%	15.5%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	3.3%	69.3%	10.7%	16.7%	100.0%

○難病 今後の重要性 n = 485

項目（構成比）	重要	どちらでもない	重要ではない	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	58.1%	28.5%	0.8%	12.6%	100.0%
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	50.9%	35.7%	0.6%	12.8%	100.0%
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	59.4%	27.6%	0.4%	12.6%	100.0%
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	55.5%	31.5%	0.6%	12.4%	100.0%
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	48.5%	38.6%	1.0%	12.0%	100.0%
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	53.4%	32.6%	1.0%	13.0%	100.0%
⑦障害のある人のための教育の充実	49.9%	36.9%	1.0%	12.2%	100.0%
⑧働く場の確保	54.2%	31.8%	1.4%	12.6%	100.0%
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	45.6%	39.6%	2.5%	12.4%	100.0%
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	36.3%	45.4%	3.9%	14.4%	100.0%
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	64.1%	21.9%	0.4%	13.6%	100.0%
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	53.4%	30.7%	0.6%	15.3%	100.0%
⑬災害時における避難誘導體制の確立と訓練の実施	56.9%	27.2%	0.6%	15.3%	100.0%
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	52.8%	30.3%	1.2%	15.7%	100.0%
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	52.4%	31.3%	0.2%	16.1%	100.0%
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	45.2%	35.1%	2.9%	16.9%	100.0%
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	54.2%	29.5%	0.0%	16.3%	100.0%
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	40.6%	41.0%	2.1%	16.3%	100.0%
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	49.9%	34.2%	0.2%	15.7%	100.0%
⑳保育所等での障害児療育の推進	44.5%	38.1%	1.2%	16.1%	100.0%
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	49.3%	33.2%	0.4%	17.1%	100.0%
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	47.8%	35.5%	0.8%	15.9%	100.0%
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	49.7%	34.0%	0.6%	15.7%	100.0%
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	42.1%	39.6%	1.6%	16.7%	100.0%

Ⅱ. 障害者本人調査結果

質問は以上となります。最後に、障害福祉サービスやご自分の生活上のこと、その他朝霞市の障害福祉施策全般について、何かご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

アンケート調査の最後に、自由記述欄を設け、481 名の方より 681 件の貴重なご意見をいただきました。

結果報告書では、同様の意見を整理し、17 項目に分類しました。

No	分類名	該当件数
1	アンケートについて	72
2	道路、施設のバリアフリー、交通機関の充実について	79
3	経済的な内容について	45
4	市役所の手続き等に関するることについて	37
5	障害者施設の充実・設備・定員増などに関するることについて	40
6	障害福祉サービスについて	106
7	就労について	18
8	情報提供について	43
9	各種障害に関するることについて	35
10	障害者理解、交流について	48
11	今後の不安について	30
12	相談支援体制について	40
13	「親亡き後」や「老々介護」、病気・医療に関するることについて	41
14	災害時への対応等について	6
15	権利擁護について	12
16	教育、進路にについて	3
17	その他	26
合計		681

○自由記述の内容（抜粋）

【1 アンケートについて】

- アンケートの選択肢に違和感があります。
- このようなアンケートに本人が回答できません。ほぼ理解しておりません。
- 各サービス内容の一覧を別冊子にしてほしかった。（上肢が不自由で何回もめくるのが大変）いろいろな障害福祉サービスがある事を知りましたが、回答するには難しかった。今回のアンケート回答用紙の返送封筒は（手首）が不自由な者には非常に不便です。次回は返信用紙ができれば1枚で完了するようにしてほしいものです。宜しく。
- 難病ですが、障害ではありません。なんで障害のアンケートを回答させるのか意味分かりません。
- 質問が細かすぎる。答えるのが面倒になってしまう。

【2 道路、施設のバリアフリー、交通機関の充実について】

- 毎回のアンケートをさせていただいてこの欄に書かせて頂きます。又、利用されている方の不満も耳にしますが一度として取り上げていただいた様子はないのが循環バスの本数が少ないこと。すべての便に本数を多くしていただきたいと思います。段差の少ないバスに乗れる事が私達は便利に利用できるのですが少ないと満員の時は不便になります。バスの本数を多く増やして下さい。
- 市役所に行った時、車イスで乗降できるスペースの駐車場がない（スロープを出せない）。障害福祉課への通路が狭い（市役所内での）。
- 朝霞台駅の設備（バリアフリーなど）が酷すぎます。
- 視覚障害者です。朝霞市は視覚障害者への対応が悪くない方だと思います。しかし最近、タクシーを 19 時以降に手配しようとする、視覚障害者では使えないアプリを使わないとタクシーが呼べなくなっていました。これについて、視覚障害者が音声で使えるようにアプリを改訂するように働きかける、もしくは条例などに盛り込むことはできませんでしょうか。

【3 経済的な内容について】

- 障害者に対してもっと金銭的に援助をしていただければと切にお願い致したいと思っております。
- 障害者の税金を控除してほしい。東京都のように高齢者の交通費割引制度額を増加してほしい。（現在 2,000 円/年間）→朝霞市。補聴器を購入した際、保険 10%（市）5 万円、自己負担 90% 45 万円を支払いましたが、もう少し市（保険）の負担を増やしてほしい。保険の控除額が 10%から 30%に引き上げられて、毎月の医療費（薬代含む）が多額で生活が苦になった。せめて 20%にしてほしい。
- 障害者住宅が少ない。収入が少ないため、日常生活が困難。
- 前もって説明なしの福祉支援給付停止で困っています。

【4 市役所の手続き等に関する事について】

- 電動車椅子の援助金を申請したが、時間がかかりすぎる。もう少しスムーズにしてほしいです。
- 保育園で毎年診断書を出さなければいけない理由が理解できない。診断書 1 枚でどれぐらいかかるかご存じですか？調べてください。良くなることのない障害に無意味な金と時間が飛ぶのは勘弁してください。福祉課の人ならわかると思いたい。保育課など別の課と共有できないか、検討してもらえると幸いです。
- 保健所を通じての難病手続きが複雑な上、時間がかかり過ぎるのが問題である。県との連携の上改善を要する。特に、新規の認定の手続きが難しいし、時間がかかり過ぎて対象にならない期間が生じている。継続申請についても、ブランクが発生するので制度の見直しが必要である。
- マイナンバーで障害、介護、医療全てその人の情報がわかるようにして手続きが簡単になるよう希望します。

Ⅱ. 障害者本人調査結果

【5 障害者施設の充実・設備・定員増などに関することについて】

- ヘルパーさんが足りないと思い、なかなかサービスの利用をためらう。
- 今リハビリでわくわくドームを利用していますが、施設の老朽化が進んだ場合 施設が存続できるか心配です。
- 重度障害者のための入所施設を作ってほしいです。家族の病気などで急にショートステイ、日中一時ヘルパーさん確保が本当に大変だったので人手不足もあると思いますが、手助けしてほしいです。何も無い時はずっと家族が頑張っていますのでグループホームもできつつありますが、どうしても障害の特性上難しいホームもありますので今後の事を考えると悩みが多いです。なるべく近くで住まわせてあげたい気持ちがあります。

【6 障害福祉サービスについて】

- 私は障害者手帳を持つほどの障害があるわけではないので、手帳がある無しで受けられるサービスもだいぶ変わってきますし、朝霞市以外の市区町村でも一般的に手帳での判断が大きい感じがします。もう少し区分として指定難病登録証でも受けられるサービスが多いと助かるなど感じる人が多いです。
- 障害者の手当等充実してほしい。
- 障害者枠で就労していますが、なかなか思うような収入が得られないので、交通費が補助してもらえないと不満です。(公共交通)バスだけは半額になりますが、鉄道では今の程度では割合ありません。一番重要な事です。

【7 就労について】

- 精神障害者福祉手帳を貰ったばかりなので、まだまだ障害者が利用可能なサービスに何があるのかなど、理解できていないです。今はとにかく仕事探しに困っていて、約1年間まともな仕事に就けてなく、家族共々金銭や心に余裕がなくなってきているので、自分に合った仕事が早く見つかること、またそのような場が出来ることを祈るばかりです。
- 知的障害者なので頭を使った仕事が出来ません。(パソコン処理など)体で覚えて体を使った職場を増やしてほしいです。かといって重労働には耐えられないので、労働環境には配慮がほしいです。最近、お米生産が後継者不足との事なので、米や野菜などの生産に携わる仕事を障害のある方でも働けるような体制にいただけると新たな仕事が出来ていいと思います。働く場がないと生活が出来ません。軽作業で低賃金では生活出来ません。またB型事業所から頂ける工賃も有り難いが低すぎるので改善してほしいです。
- 個人だけでも仕事出来る場所及び自宅で出来る仕事の提供を考えていただきたい。

【8 情報提供について】

- まだ障害を負って間もないので、制度について何があるのか無いのか、便利なのか不便なのかよくわかりません。こうした障害初心者のオリエンテーションがあれば参加したい。
- 皆がスマホ等(インターネット)利用しているわけではない。
- メールでのアンケートや情報、公文書などを希望します。郵便ではわからないので、メールで頂いた方が文章を音声に変換して認識できるため。盲人用のサイトを作してほしい。

【9 各種障害に関することについて】

- 脳梗塞後遺症が生活に支障あります。できることだけはしている生活です。なので無理はしていません。歩行、言語がスムーズではありません。時間はかかっても炊事はできるので良かったと思います。ネットスーパー感謝です。すべてがゆっくりなら出来る生活です。困った時にはお世話になりたいですが、出来る限りは自分でと思っています。
- 外見では障害と解らないので、生活行動が遅くなり周囲の人に迷惑かけているのが気になる。

【10 障害者理解、交流について】

- 気軽に語り合える場所の充実の場所を作ってほしい。
- 健常者が障害者の本当のことを知る事は非常に難しいと思います。ではどうすればよいか？障害者の意見（本音）を聞く機会を多く持つことではないでしょうか？これも大変難しい事だと思います。普通生活上、障害者の事を考えて生きている人は殆どいないと思います。ですから行政が交流の時間を意識して作っていかないとなりません。ぜひ、気を長く持ってそういう機会を根気よく作ってほしいと思います。宜しくお願い致します。ぜひ障害者に理解のある朝霞市として、埼玉県、関東、日本全国へと広めてほしいと願います。長々とすみません。
- 自分からの意見が反映されず、あなたのためと言い援助者が援助者の考えを押しつけてくる事がある。本人の意思を尊重する援助ができるよう援助者の質の向上を図っていただきたい。
- 朝霞市内でヘルプマークを付けて危害を加える方を多く見かけるので、何とかしてほしい。同じ障害者同士でもいじめや差別も意外と多い。

【11 今後の不安について】

- 視力が弱く、障害者手帳4級を持っていますが、今までにそれを利用して恩恵を受けた事がないので、障害者と普段意識することはありません。むしろ高齢になり、認知症も進んでいるので、そちらの方が心配です。
- 私は双極性障害と介護保険の要支援で、ホームヘルパーさんに掃除していただき、訪問看護師さんのお世話になりながら生活しているものです。令和3年に亡くなった弟の生命保険と障害者年金で生活していますが、残金がいま少なくなり、来年には生活保護になると思います。
- 私は、主人が亡くなった時の事が心配です。今は元気ですが、住宅ローンや自分の病気、金銭面等がそういった時に支援がどのようになっているのかを知りたいです。一人では生活が出来ませんというか不安です。

【12 相談支援体制について】

- この間市役所へ行ったら「健康保険証を見せてください」と言われて困りました。どうか市役所に「マイナ保険証」（マイナンバーカードでできるやつ）を読み取る機械を置いてください。スマホを使うと通信料がかかってしまうのです。あと、日頃から障害者年金が止まってしまうのか、ということがとても心配です。今はお薬のおかげで安定していても、やはり根は不安定なので、見た目よりも障害があるんです。「もうこの人は大丈夫だ」みたいに見捨てないようにお願いします。全体的には朝霞市の取組に満足しております。私は朝霞市が好きです。これからも宜しくお願いします。
- 書類のやり取りをするのに訪問してほしい。

Ⅱ. 障害者本人調査結果

【13 「親亡き後」や「老々介護」、病気・医療に関することについて】

- 親亡き後、自分はどの様になるのか？どの様にしたら良いのか？が不安です。親がいる間にどの様な手続きが必要なのか、どの様にしておかなければいけないのかが心配です。
- 朝霞市の障害福祉課へお願いがあります。私の息子精神障害があり長い間入院しております。病院の対応やスタッフや医師の対策の悪さ等について相談しても、門前払いのように対応してくれません。病院の相談員に相談して下さいとの事です。しかし病院によっては相談員がいません。私は本当に困っています。何とか御検討をお願い致します。転院や退院等相談に乗って下さい。宜しくお願い致します。
- 母と二人で暮らしていますが、母の認知症が徐々に進行している状態です。父と弟は既に他界していて、他に家族はなく、近くに頼れる親類もいません。今までは母のサポートがあって生活してきましたが、これからは障害のある私が母の面倒を見る状況になってしまいました。ケアマネジャーに相談して、ヘルパーや母のリハビリを始めていますが、健常者の方が介護保険のサービスを利用しても介護は大変と聞きます。また、ニュースなどで老老介護の事件などが多く報じられている中、これからが大変不安です。
- 病院2ヶ所、45日分、2ヶ月分を診察が薬局含み3時間～4時間かかってしまい大変な思いをしています。その他異常を救急車まで必要ない場合がほとんどです。車の免許返納状態で苦痛です。時間短縮の検討を、進めて下さい。

【14 災害時への対応等について】

- 一人暮らしの孤独死で、近隣の方に出るだけ迷惑をかけないで済むように、生存確認のサービス（LINE等）をご検討いただくと助かります。
- 大災害があった時に、日常服用している薬がすぐ手元に届くか心配になる。避難場所設備の充実など気になる。
- 災害時の援助（避難場所）での電動ベッドや手すり付きのトイレ等の確保。災害時、一人では避難できないので、駆けつけサービス等の充実。障害者が犯罪被害にあわないようなシステム等の充実。また、防犯カメラ等の補助金の充実。朝霞市は町内会のみ補助金制度しかないの、個人への補助も行うべき。障害者への独自サービスが他市町村より劣っていると思うので、サービスを向上してください。障害者以外へのサービスも劣っていると思います。練馬区等を参考にしたいです。子育て世帯のサービスに偏っているように感じます。見守りカメラ等の支給をしてください。他市町村で出来ているサービスを朝霞市でも行ってほしいです。医療、デイケア等費用が高すぎるので市で補助してほしい。挙げればきりがないのでこの辺にしておきます。生活しやすい街にしてください。（障害者も健常者も）
- 今の所は自分でできます。車も運転して買い物等していますが、いずれはお世話をしていたいくようになると思います。この地区は、土地が低いため水害が多く、特に家の周りは排水溝がなく雨水が流れる所がありません。お金は掛かると思いますが、勝手に家だけではできない問題です。止水板を取付けたりしていただきましたが、家には親子で肢体不自由（下肢）がいるものですから、避難するような事が起きた時に心配です。年一回でしょうか。ケアマネさんが声掛けに来てくれます。ありがたいですね。なるべく迷惑をかけないように、地域の方々とお話し、催事がある所に友達と出かけるようにしています。⑬町内会での避難訓練は必要だと思います。やってほしいと思いますが、町内によって違いがありますか？

【15 権利擁護について】

- 障害をもった人に対する心づかいをもう少ししていただけたらと思います。バスの中、電車の中、優先席の意味を理解していただけたら有難いです。
- 障害者に対する朝霞市全体の取組として、お店等の駐車場の確保が難しい。年をとっているからと障害者用駐車場に停めたりしている。県や役所で交付している思いやりカードや障害者カードを持っている人しか止められない等の処置をしてほしい。
- 他の市町村との格差を是正する必要がある。
- 精神障害者は賃貸物件をほぼ借りられないので（オーナーに嫌がられる）県、市営住宅を申し込むしか住居を確保する手段がない。が、書類を短い期間で沢山そろえて役所周りをしなければならず、体力・精神的にかなり削られる。少しでも簡略化した方法（手続き）で住居を確保できるようにしてほしい（県営住宅の申し込みをして感じたこと）。また、障害者でも普通に借りられる物件（嫌がられずに入居できる物件）が増えるよう、民間のアパートやマンション、借家のオーナーの協力を求めている。保証会社を通さず、直接オーナーと契約を結べる物件が増えることを望む。障害者という点で差別されていることを強く感じている。

【16 教育、進路について】

- ①車いすでの移動を考えると、朝霞市は坂が多い上、道もほとんどがバリアフリーでないことは重要な問題で、早期に解決してほしいです。黒目川沿いの道の整備より歩道等の整備の方が優先順位は上だったのではないのでしょうか。朝霞台駅のエレベーター設置が「今頃？」と呆れている住民が多いのではないのでしょうか。②特別支援学校を卒業し成人になっていく子を持つ保護者の不安も多く聞きます。特に肢体不自由に関しては入所できる施設がもっと増えてほしいです。
- 国連からも障害児教育のことなどで勧告がされている。
- 障害者が社会に出た時の整備をしっかりしてほしい。専門的な知識のある人材を育てる、環境を整える等。社会人だけでなく、学生ボランティアなどにも参加してもらい、多様な人材を育ててほしい。福祉分野の給与面の拡大も希望する。

Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

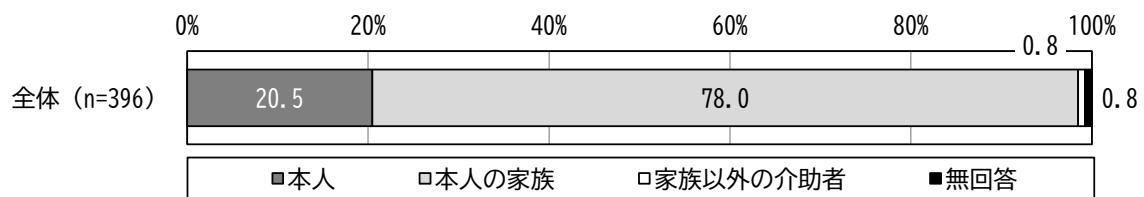
Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

【本人票】

お答えいただく方について

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つ)

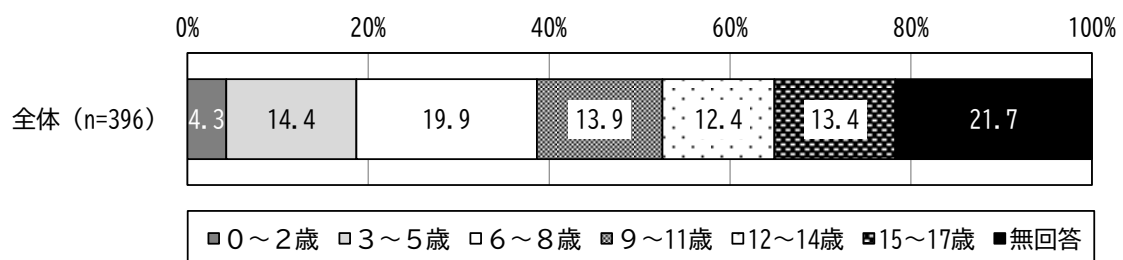
回答者については、「本人の家族」が78.0%と最も多く、次いで、「本人」が20.5%、「家族以外の介助者」が0.8%となっています。



1 あなた※ご自身のことについて ※「あなた」とは、調査票が届いた人のことをいいます。

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和7年11月1日現在)

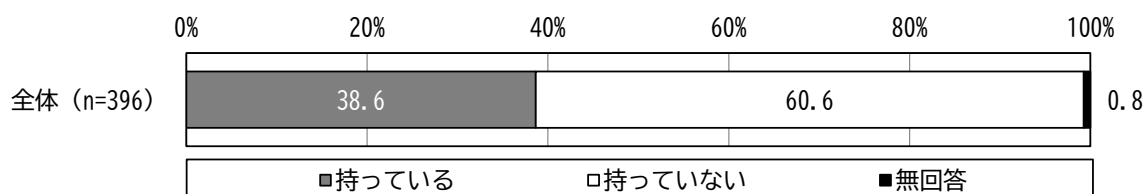
年齢については、「6～8歳」が19.9%と最も多く、次いで、「3～5歳」が14.4%、「9～11歳」が13.9%となっています。



2 あなたの障害の状況について

問3 あなたは、障害者手帳を持っていますか。(○は1つ)

障害者手帳の有無については、「持っている」が 38.6%に対し、「持っていない」が 60.6%となっています。

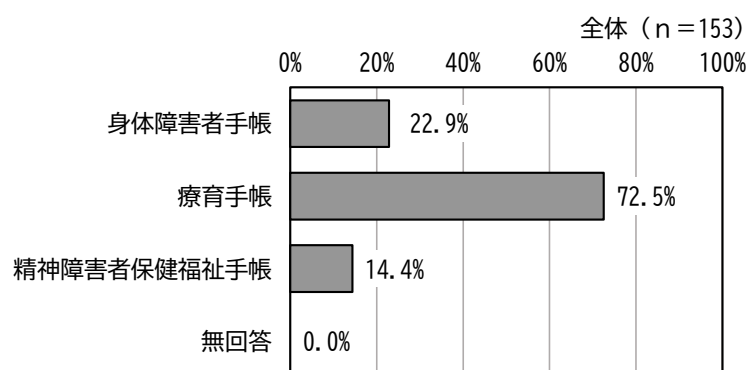


【問3で「障害者手帳」を持っていると回答した方のみ】

問3-1 あなたがお持ちの障害者手帳の種類と障害の程度をお答えください。(あてはまる障害者手帳と障害の程度に○を付けてください。)

○障害者手帳の種類

障害者手帳の種類については、「療育手帳」が 72.5%と最も多く、次いで、「身体障害者手帳」が 22.9%、「精神障害者保健福祉手帳」が 14.4%となっています。

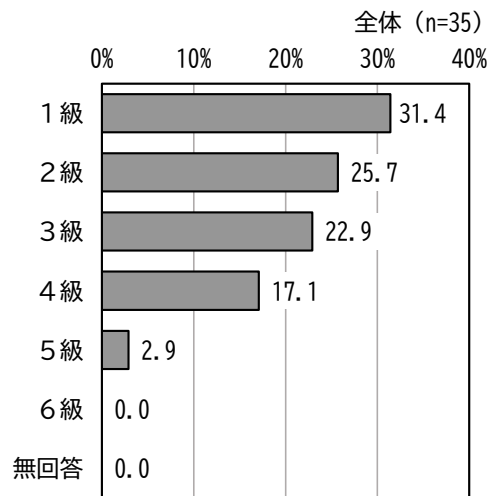


項目	度数	比率
身体障害者手帳	35	22.9%
療育手帳	111	72.5%
精神障害者保健福祉手帳	22	14.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	153	
非該当	243	
合計	396	

Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

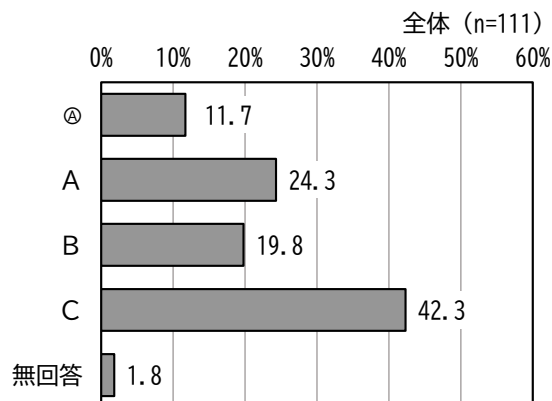
○身体障害者手帳所持者の等級内訳

障害の程度については、「1級」が31.4%と最も多く、次いで、「2級」が25.7%、「3級」が22.9%となっています。



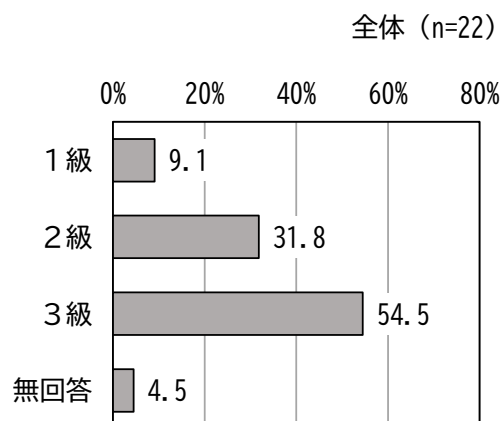
○療育手帳所持者の等級内訳

障害の程度については、「C」が42.3%と最も多く、次いで、「A」が24.3%、「B」が19.8%となっています。



○精神障害者保健福祉手帳所持者の等級内訳

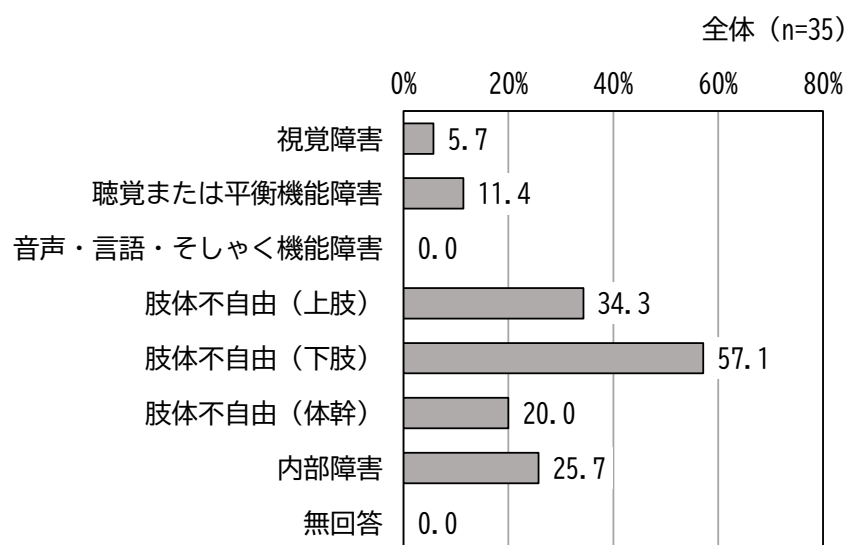
障害の程度については、「3級」が54.5%と最も多く、次いで、「2級」が31.8%、「1級」が9.1%となっています。



【問3-1で「身体障害者手帳」を持っていると回答した方のみ】

問3-2 障害の種別をお答えください。(〇はいくつでも)

障害の種別については、「肢体不自由（下肢）」が57.1%と最も多く、次いで、「肢体不自由（上肢）」が34.3%、「内部障害」が25.7%となっています。

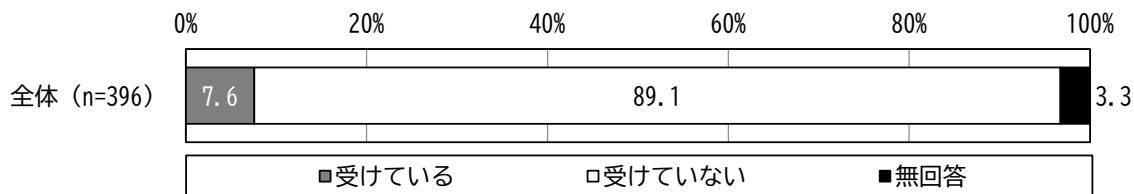


Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

問4 あなたは、難病（指定難病）※の認定を受けていますか。（○は1つ）

難病（指定難病）認定を受けているかについては、「受けている」が7.6%に対し、「受けていない」が89.1%となっています。

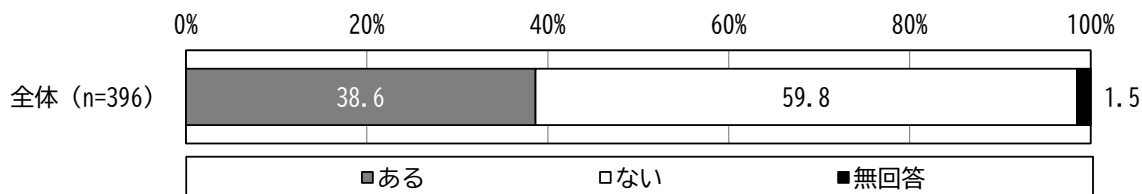
※難病（指定難病）とは、筋委縮性側索硬化症（ALS）やパーキンソン病などの治療法が確立していない疾病その他の特殊な疾病をいいます。



問5 あなたは、発達障害※であると診断をされたことがありますか。（○は1つ）

発達障害であると診断をされたことがあるかについては、「ある」が38.6%に対し、「ない」が59.8%となっています。

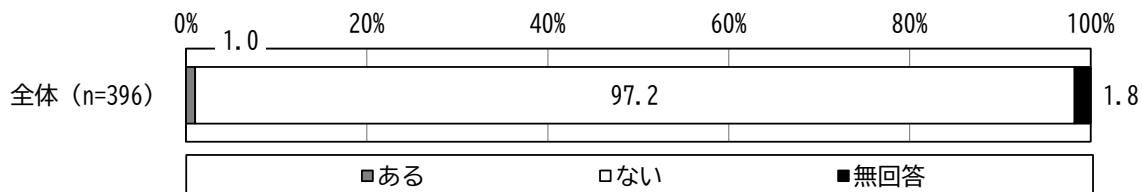
※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。



問6 あなたは、高次脳機能障害※であると診断をされたことがありますか。（○は1つ）

高次脳機能障害であると診断をされたことがあるかについては、「ある」が1.0%に対し、「ない」が97.2%となっています。

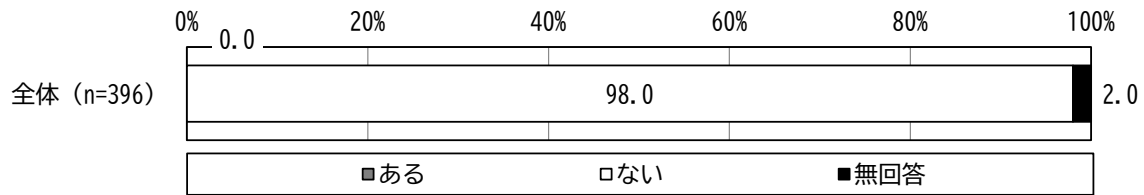
※高次脳機能障害とは、交通事故や脳血管疾患などの病気で脳に損傷を受けた後遺症として、記憶力や注意力の低下などの症状が現れ、日常生活や社会生活において、支障をきたす障害で、外見からは分かりにくく、自覚できない場合もあるため、「見えない障害」とも言われています。



問7 あなたは、遷延性意識障害※の状態にありますか。(○は1つ)

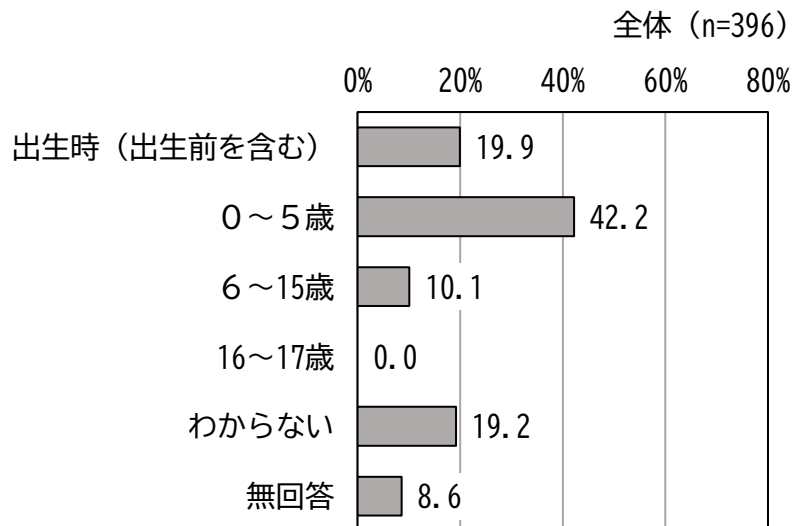
遷延性意識障害の状態にあるかについては、「ない」が98.0%となっています。

※遷延性意識障害とは、交通事故や脳血管疾患等により、脳に損傷を受けた後、自らの意思と能力では、食事・排泄・会話等ができない状態が3か月以上続き、生活全般に介助を必要とする重複生活行動障害です。



問8 あなたが現在の障害の状態になったのはいつごろですか。(○は1つ)

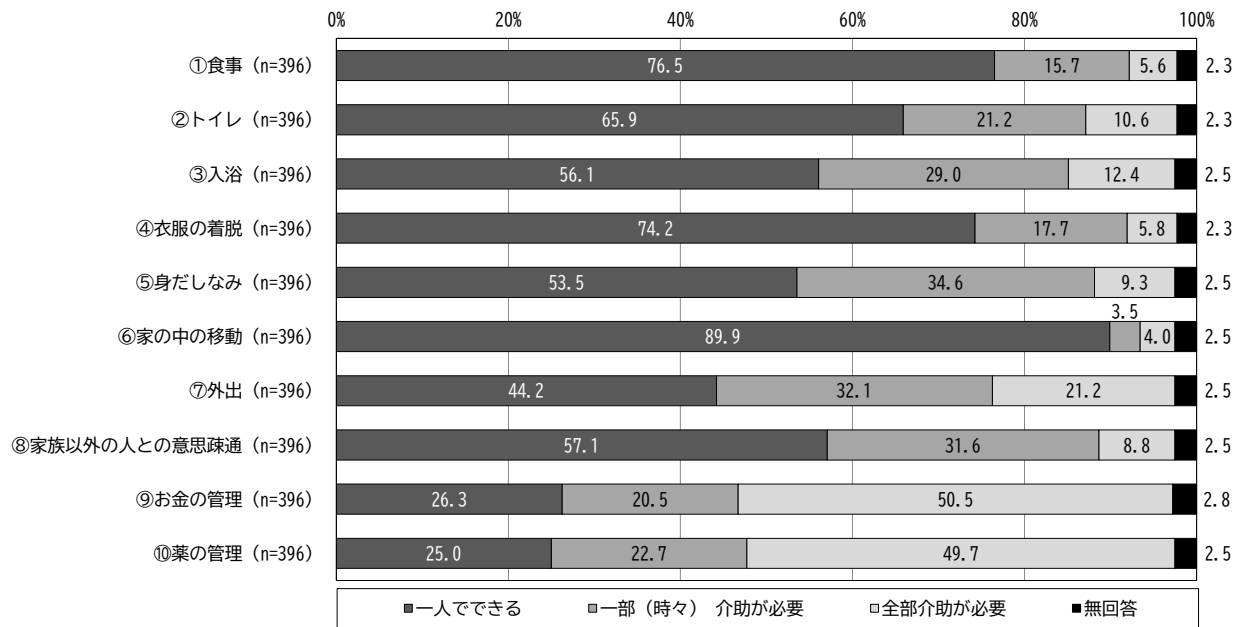
現在の障害の状態になった時期については、「0～5歳」が42.2%と最も多く、次いで、「出生時（出生前を含む）」が19.9%、「わからない」が19.2%となっています。



3 あなたの介助について

問9 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩についてそれぞれ○は1つ)

日常生活について、「一部介助が必要」と「全部介助が必要」を合わせた『介助が必要』では、「⑩薬の管理」が72.4%と最も多く、次いで、「⑨お金の管理」が71.0%、「⑦外出」が53.3%となっています。



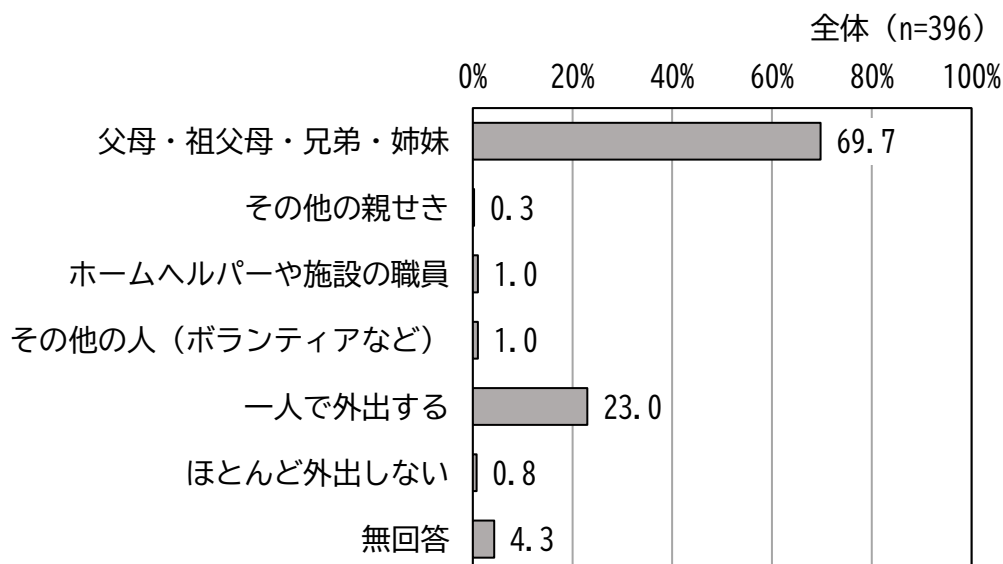
○『介助が必要(「一部介助が必要」+「全部介助が必要」)』

	全体
①食事	21.3
②トイレ	31.8
③入浴	41.4
④衣服の着脱	23.5
⑤身だしなみ	43.9
⑥家の中の移動	7.5
⑦外出	53.3
⑧家族以外の人との意思疎通	40.4
⑨お金の管理	71.0
⑩薬の管理	72.4

4 日中活動について

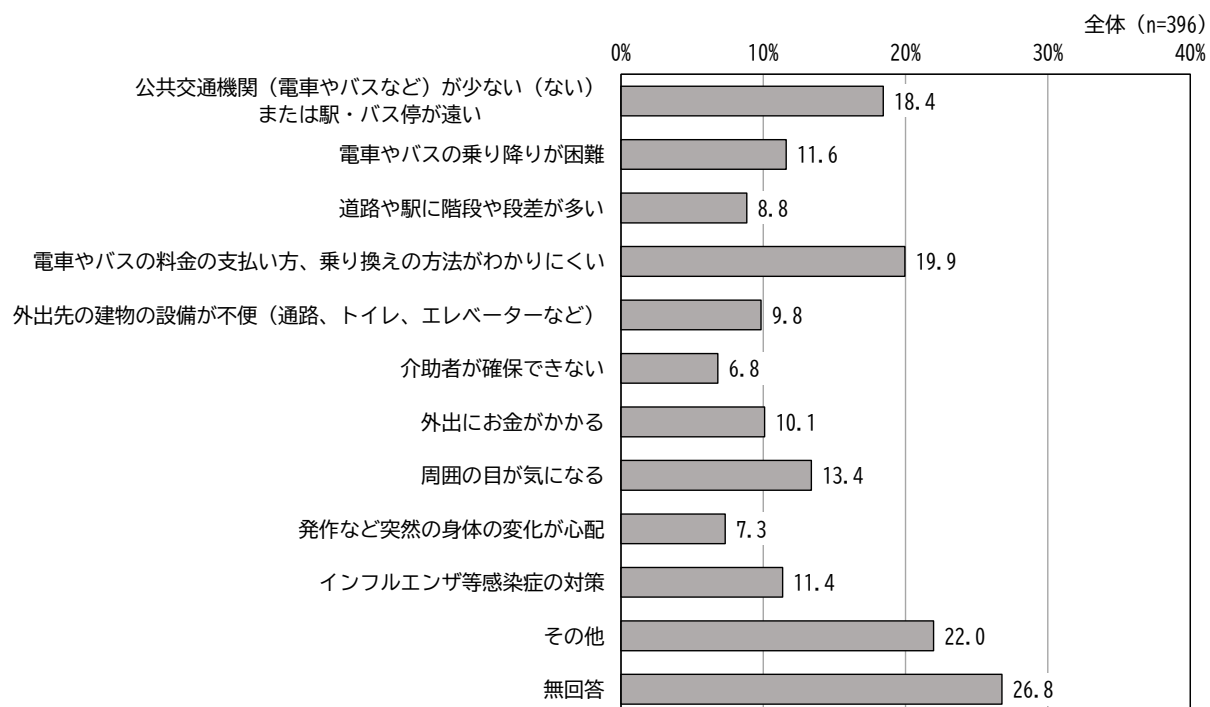
問 10 あなたが、外出する際の主な同伴者はどなたですか。(○は1つ)

外出する際の主な同伴者については、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が 69.7%と最も多く、次いで、「一人で外出する」が 23.0%、「ホームヘルパーや施設の職員」、「その他の人（ボランティアなど）」がともに 1.0%となっています。



問 11 あなたが外出する際、困ることは何ですか。(○はいくつでも)

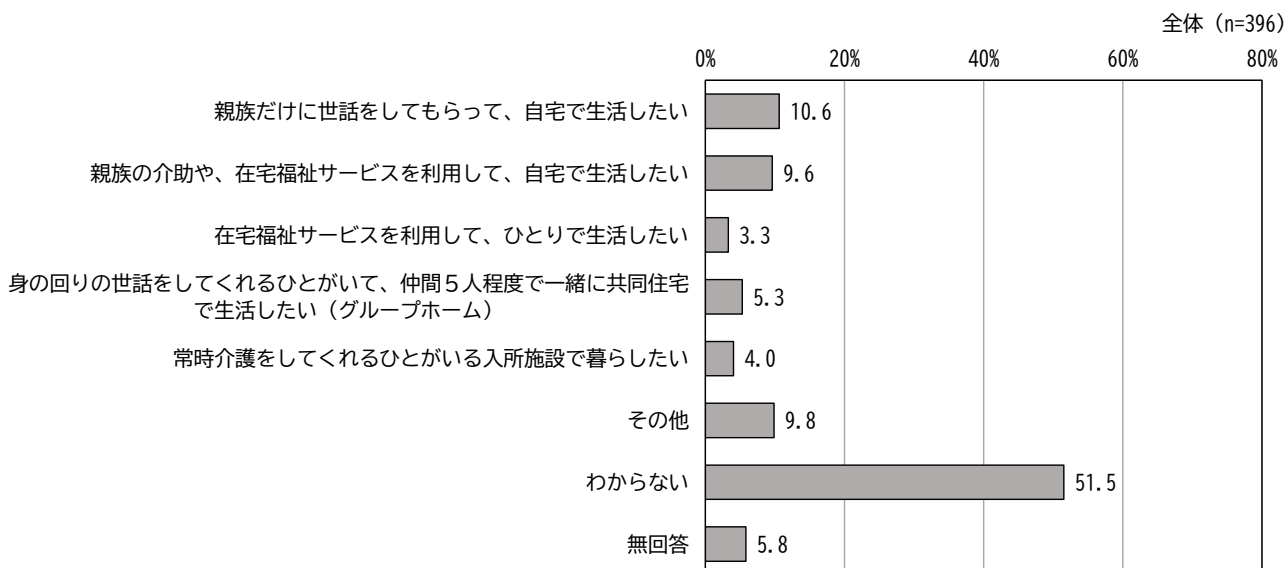
外出する際困ることについては、「電車やバスの料金の支払い方、乗り換えの方法がわかりにくい」が 19.9%と最も多く、次いで、「公共交通機関（電車やバスなど）が少ない（ない）または駅・バス停が遠い」が 18.4%となっています。また、「その他」が 22.0%となっています。



5 生活全般・社会参加について

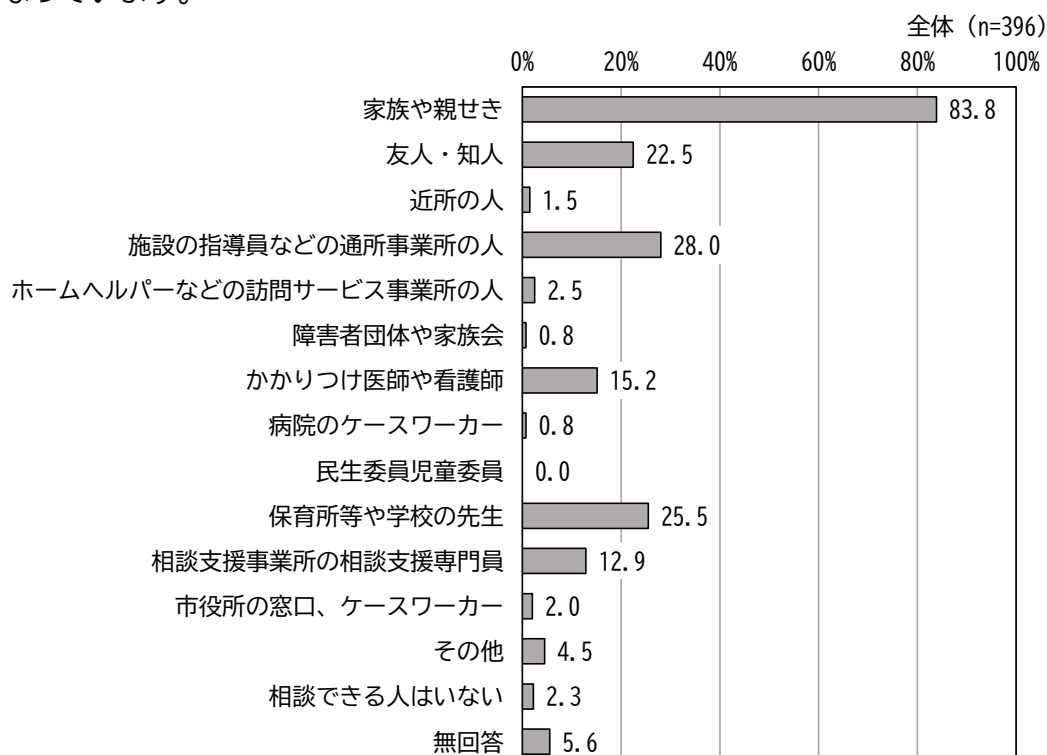
問 12 あなたは、将来どのように暮らしたいですか。(○は1つ)

将来どのように暮らしたいかについては、「わからない」が51.5%と最も多く、次いで、「親族だけに世話をしてもらって、自宅で生活したい」が10.6%、「親族の介助や、在宅福祉サービスを利用して、自宅で生活したい」が9.6%となっています。



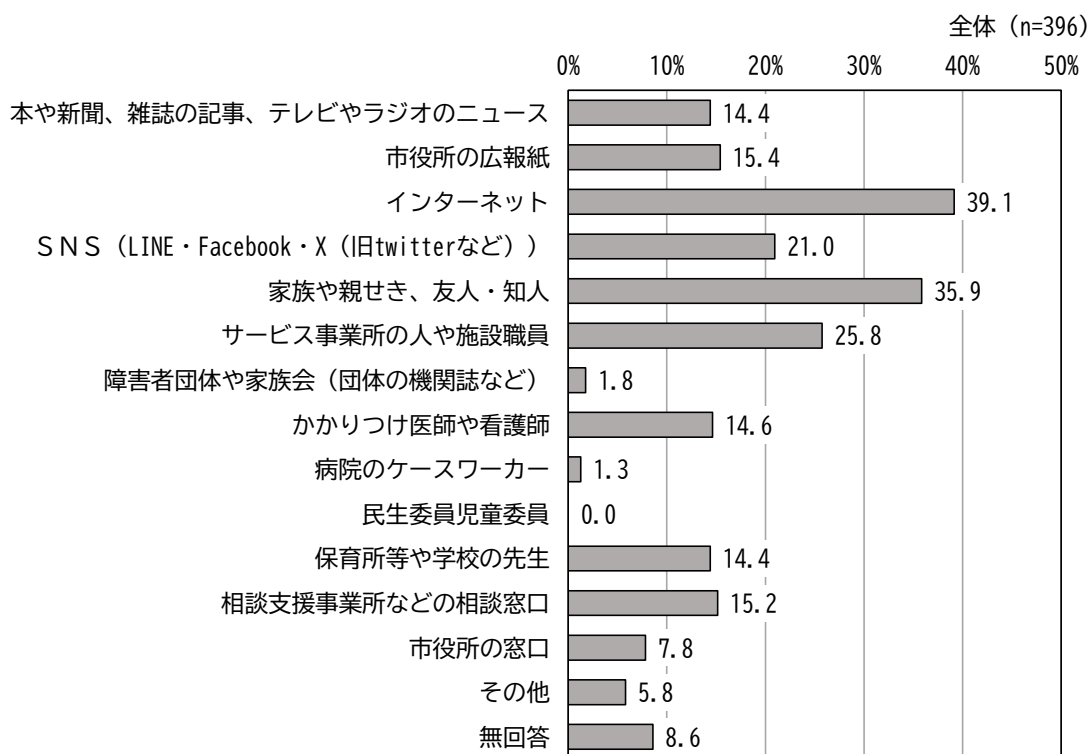
問 13 あなたは、普段、悩みごとや困ったことがあるとき、どなたに相談していますか。(○はいくつでも)

悩みごとや困ったことがあるときの相談相手については、「家族や親せき」が83.8%と最も多く、次いで、「施設の指導員などの通所事業所の人」が28.0%、「保育所等や学校の先生」が25.5%となっています。



問 14 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報をどこから知ることが多いですか。(〇は
いくつでも)

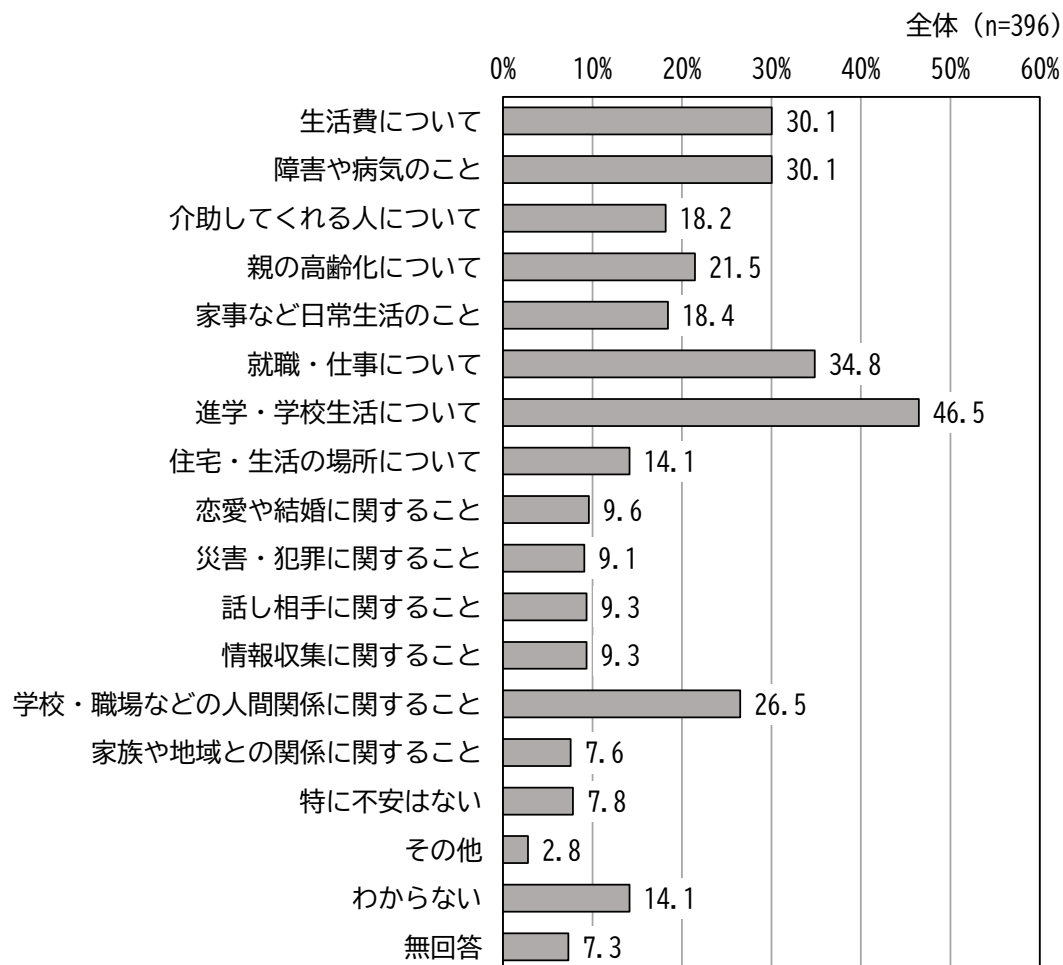
障害のことや福祉サービスなどに関する情報の入手手段については、「インターネット」が39.1%と最も多く、次いで、「家族や親せき、友人・知人」が35.9%、「サービス事業所の人や施設職員」が25.8%となっています。



Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

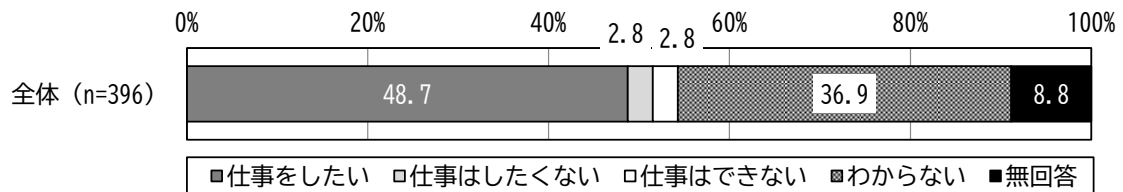
問 15 あなたは、現在や今後の生活で不安に思っていることはありますか。(〇はいくつでも)

現在や今後の生活で不安に思っていることについては、「進学・学校生活について」が 46.5% と最も多く、次いで、「就職・仕事について」が 34.8%、「生活費について」、「障害や病気のこと」がともに 30.1%となっています。



問 16 あなたは、仕事についてどう思いますか。(○は1つ)

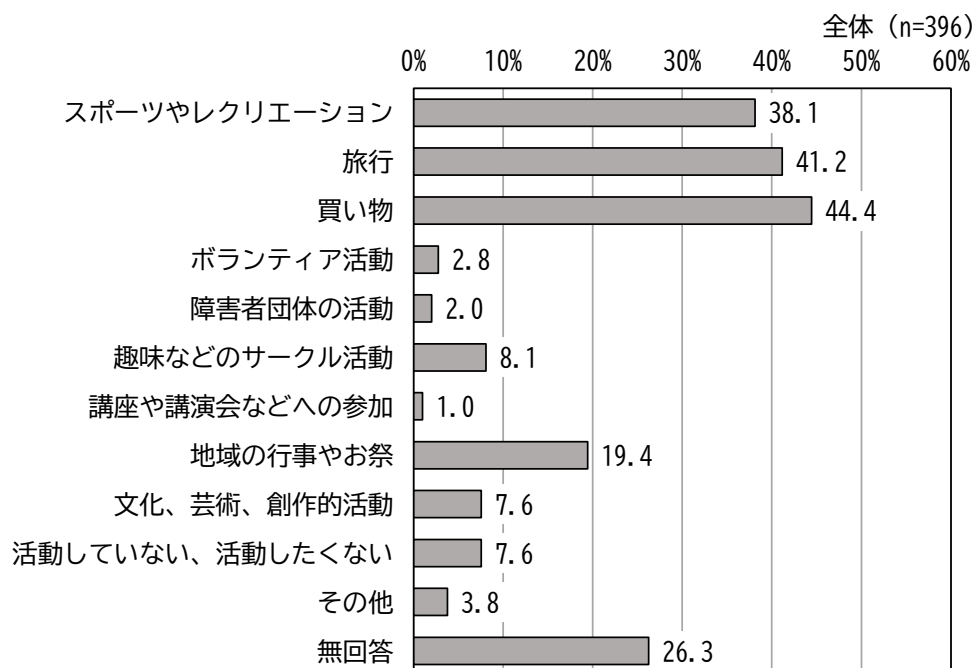
仕事については、「仕事をしたい」が48.7%と最も多く、次いで、「わからない」が36.9%、「仕事はしたくない」、「仕事はできない」がともに2.8%となっています。



問 17 あなたの現在行っている活動、また、今後したい活動は何ですか。(それぞれ○はいくつでも)

○現在行っている活動

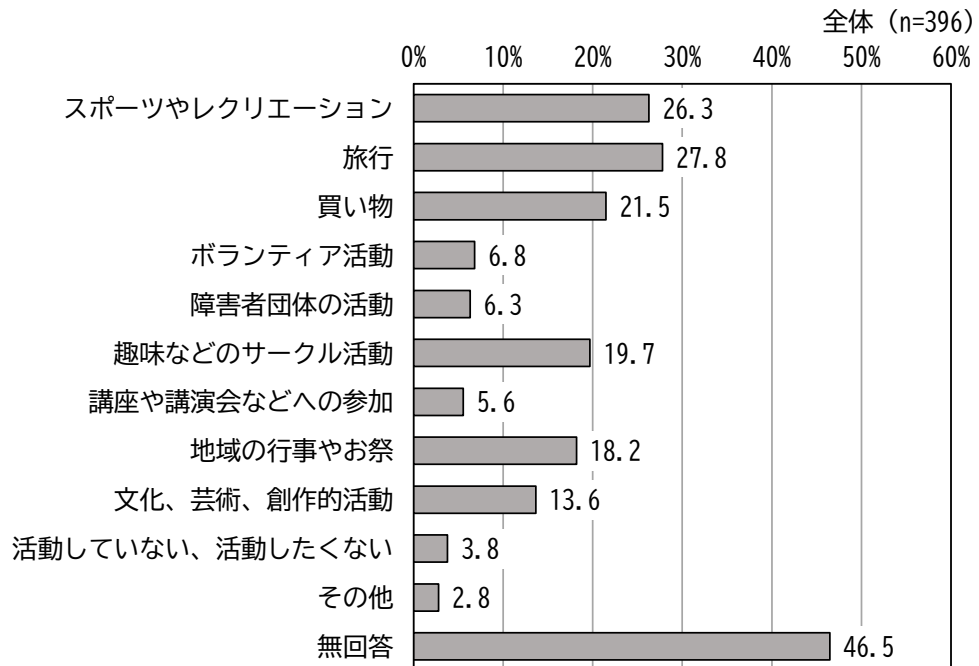
現在行っている活動については、「買い物」が44.4%と最も多く、次いで、「旅行」が41.2%、「スポーツやレクリエーション」が38.1%となっています。



Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

○今後したい活動

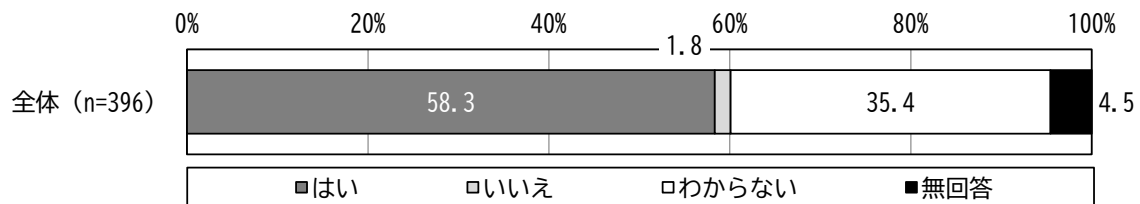
今後したい活動については、「旅行」が27.8%と最も多く、次いで、「スポーツやレクリエーション」が26.3%、「買い物」が21.5%となっています。



問 18 あなたは、今後も朝霞市に暮らし続けたいですか。(○は1つ)

今後も朝霞市に暮らし続けたいかについては、「はい」が58.3%に対し、「いいえ」が1.8%となっています。

また「わからない」が35.4%となっています。



6 障害福祉サービス等の利用について

問 19 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。（項目ごとに1～4のうち、1つに○を付けてください）

○全体 n=396

障害のある児童へのサービスでは、利用状況、利用意向ともに「④放課後等デイサービス」が最も多く、次いで「①児童発達支援」、「⑧障害児相談支援」となっています。また「④放課後等デイサービス」の利用意向が6割を超えて高くなっています。

障害福祉サービスでは、利用状況、利用意向ともに「⑭計画相談支援」が最も多く、次いで「⑪短期入所（ショートステイ）」となっています。利用状況と利用意向で大きな差はありませんでした。

地域生活支援事業では、利用状況、利用意向ともに「⑯相談支援事業（一般的な相談）」が最も多く、次いで利用状況では「⑳日常生活用具給付事業」、「㉑移動支援事業」となっています。利用意向では、「㉑移動支援事業」、「㉒日中一時支援事業」となっています。利用状況と利用意向の差で「⑯相談支援事業（一般的な相談）」が15.4ポイント利用意向が増えております。

○障害のある児童へのサービス・障害福祉サービス・地域生活支援事業の現在の利用状況

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用しているが、今後は利用しない」の割合）

障害のある児童へのサービス			障害福祉サービス			地域生活支援事業		
No	項目	%	No	項目	%	No	項目	%
1	④放課後等デイサービス	43.9	1	⑭計画相談支援	31.3	1	⑯相談支援事業（一般的な相談）	12.4
2	①児童発達支援	43.2	2	⑪短期入所（ショートステイ）	2.1	2	⑳日常生活用具給付事業	3.3
3	⑧障害児相談支援	20.7	3	⑨居宅介護（ホームヘルプ）	1.0	3	㉑移動支援事業	1.8
4	⑤保育所等訪問支援	19.4	3	⑬行動援護	1.0	4	⑮障害者理解促進研修・啓発事業	0.5
5	③医療型児童発達支援	1.0	5	⑫同行援護	0.6	4	㉒日中一時支援事業	0.5

※上位5位を抜粋

○障害のある児童へのサービス・障害福祉サービス・地域生活支援事業の今後の利用意向

（「現在利用しており、今後も利用したい」＋「現在利用していないが、3年以内には利用したい」の割合）

障害のある児童へのサービス			障害福祉サービス			地域生活支援事業		
No	項目	%	No	項目	%	No	項目	%
1	④放課後等デイサービス	61.6	1	⑭計画相談支援	37.6	1	⑯相談支援事業（一般的な相談）	27.8
2	①児童発達支援	42.2	2	⑪短期入所（ショートステイ）	9.9	2	㉑移動支援事業	10.8
3	⑧障害児相談支援	30.0	3	⑬行動援護	7.8	3	㉒日中一時支援事業	9.8
4	⑤保育所等訪問支援	25.0	4	⑫同行援護	4.6	4	⑳日常生活用具給付事業	9.6
5	③医療型児童発達支援	5.5	5	⑨居宅介護（ホームヘルプ）	4.5	5	⑮障害者理解促進研修・啓発事業	8.3

※上位5位を抜粋

Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

○全体 現在の利用状況及び今後の利用意向

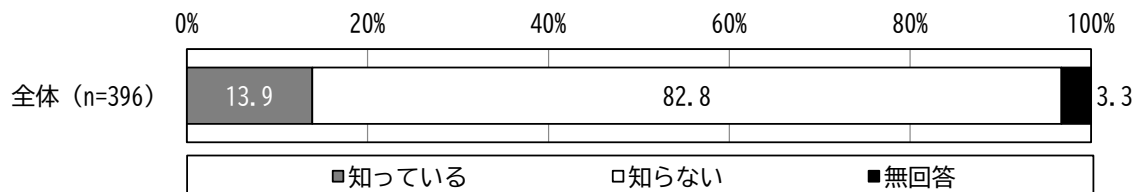
項目（構成比）	現在利用しており、今後も利用したい	現在利用しているが、今後は利用しない	現在利用していないが、3年以内には利用したい	現在利用しておらず、今後も利用しない	無回答
障害のある児童へのサービス					
①児童発達支援	40.2	3.0	2.0	40.9	13.9
②居宅訪問型児童発達支援	0.3	0.3	3.0	68.7	27.8
③医療型児童発達支援	1.0	0.0	4.5	67.4	27.0
④放課後等デイサービス	42.4	1.5	19.2	26.5	10.4
⑤保育所等訪問支援	17.4	2.0	7.6	50.8	22.2
⑥福祉型障害児入所施設	0.8	0.0	4.0	67.9	27.3
⑦医療型障害児入所施設	0.5	0.0	2.0	69.7	27.8
⑧障害児相談支援	20.2	0.5	9.8	45.2	24.2
障害福祉サービス					
⑨居宅介護（ホームヘルプ）	1.0	0.0	3.5	67.7	27.8
⑩重度訪問介護	0.5	0.0	2.0	70.2	27.3
⑪短期入所（ショートステイ）	1.8	0.3	8.1	64.6	25.3
⑫同行援護	0.3	0.3	4.3	68.7	26.5
⑬行動援護	1.0	0.0	6.8	65.9	26.3
⑭計画相談支援	30.3	1.0	7.3	40.4	21.0
地域生活支援事業					
⑮障害者理解促進研修・啓発事業	0.5	0.0	7.8	65.9	25.8
⑯相談支援事業（一般的な相談）	12.1	0.3	15.7	51.3	20.7
⑰成年後見制度利用支援事業	0.0	0.0	7.8	66.7	25.5
⑱手話通訳者等派遣事業	0.0	0.0	0.3	73.2	26.5
⑲要約筆記者派遣事業	0.0	0.0	0.5	72.7	26.8
⑳日常生活用具給付事業	3.3	0.0	6.3	64.6	25.8
㉑移動支援事業	1.5	0.3	9.3	63.6	25.3
㉒地域活動支援センター事業	0.0	0.0	7.3	66.2	26.5
㉓日中一時支援事業	0.5	0.0	9.3	64.4	25.8

7 権利擁護について

問 20 あなたは、「障害者虐待防止センター」をご存じですか。(○は1つ)

「障害者虐待防止センター」の認知度については、「知っている」が13.9%に対し、「知らない」が82.8%となっています。

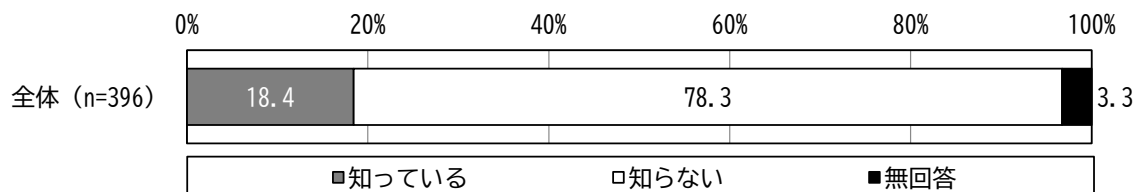
※朝霞市では、障害福祉課内に障害者虐待防止センターを設置し、障害のある人への虐待についての相談、通報等を受けており、関係機関との連携により解決に努めています。



問 21 あなたは、「障害者差別解消法※」をご存じですか。(○は1つ)

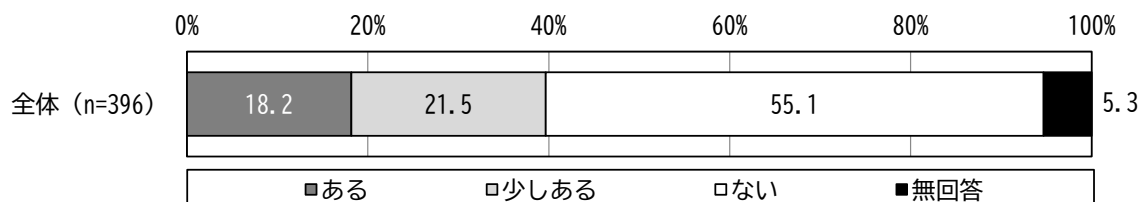
「障害者差別解消法」の認知度については、「知っている」が18.4%に対し、「知らない」が78.3%となっています。

※障害者差別解消法は、国や市区町村などの行政機関や、会社やお店などの民間事業者における「障害を理由とする差別」を解消するために制定された法律です。障害のあるなしにかかわらず、すべての人がお互いの人格と個性を尊重し合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しています。



問 22 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。(○は1つ)

障害があることで差別や嫌な思いをする(した)ことがあるかについては、「ある(18.2%)」、「少しある(21.5%)」を合わせた『ある(計)』が39.7%に対し、「ない」が55.1%となっています。

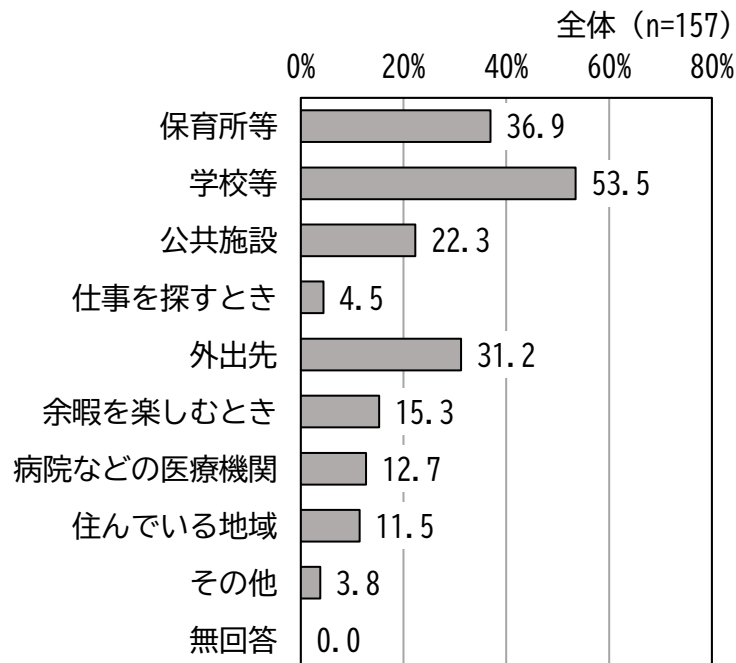


Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

【問 22 で「ある」または「少しある」と回答した方のみ】

問 22－1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(○はいくつでも)

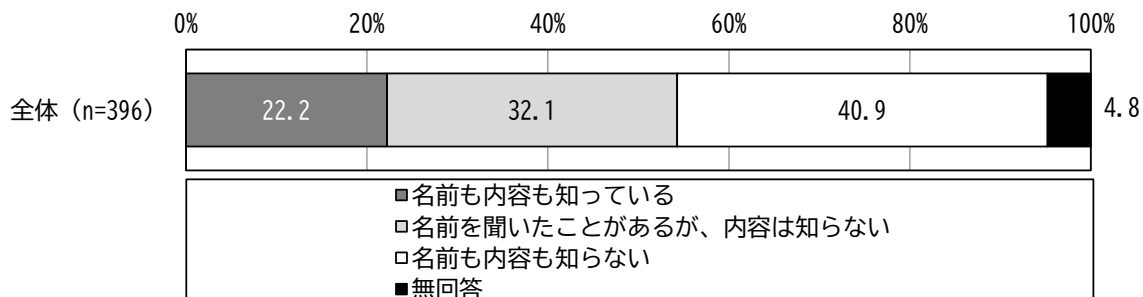
差別や嫌な思いをした場所については、「学校等」が 53.5%と最も多く、次いで、「保育所等」が 36.9%、「外出先」が 31.2%となっています。



問 23 あなたは、「成年後見制度※」をご存じですか。(○は1つ)

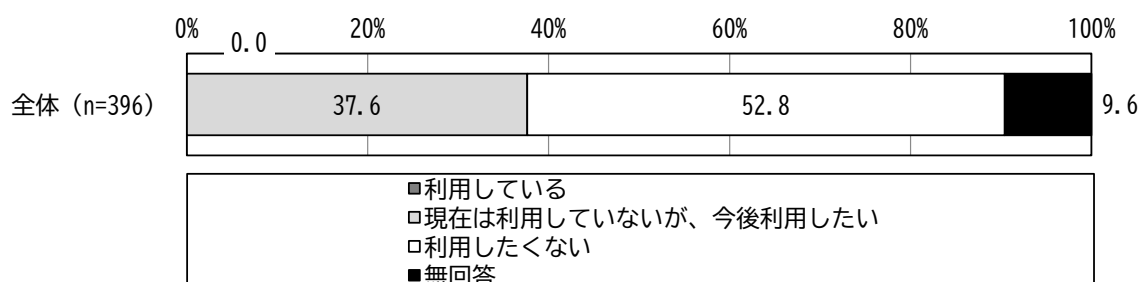
「成年後見制度」の認知度については、「名前も内容も知らない」が 40.9%と最も多く、次いで、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 32.1%、「名前も内容も知っている」が 22.2%となっています。

※成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方々を保護し、生活や財産管理などについて支援するための制度です。



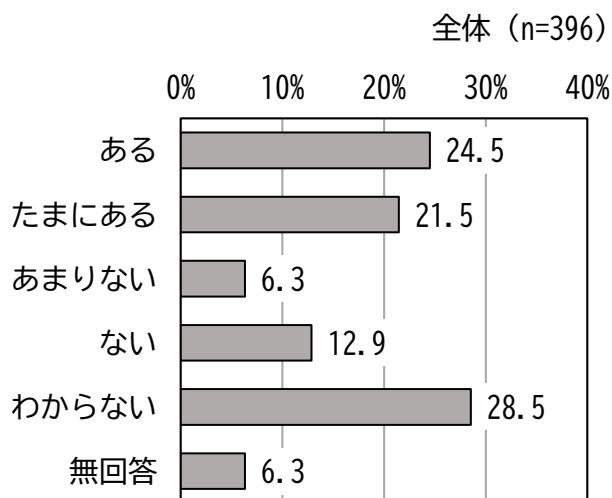
問 24 「成年後見制度」の利用について（○は1つ）

「成年後見制度」の利用については、「利用したくない」が52.8%と最も多く、次いで、「現在は利用していないが、今後利用したい」が37.6%となっています。



問 25 あなたは、自らの意思が反映された生活を送ることができるように、物事を決めるための手伝いが必要だと感じることはありますか。（○は1つ）

自らの意思が反映された生活を送ることができるように、物事を決めるための手伝いが必要だと感じることはあるかについては、「ある(24.5%)」、「たまにある(21.5%)」を合わせた『ある(計)』が46.0%に対し、「あまりない(6.3%)」、「ない(12.9%)」を合わせた『ない(計)』が19.2%となっています。また、「わからない」が28.5%となっています。

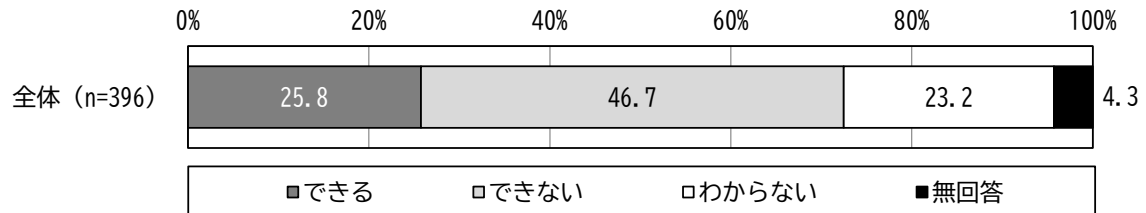


8 災害時の避難等について

問 26 あなたは、地震や水害等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つ)

地震や水害等の災害時に一人で避難できるかについては、「できる」が 25.8%に対し、「できない」が 46.7%となっています。

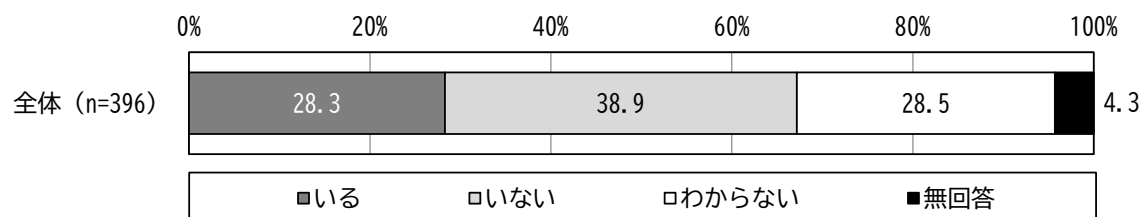
また「わからない」が 23.2%となっています。



問 27 家族が不在の場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。(○は1つ)

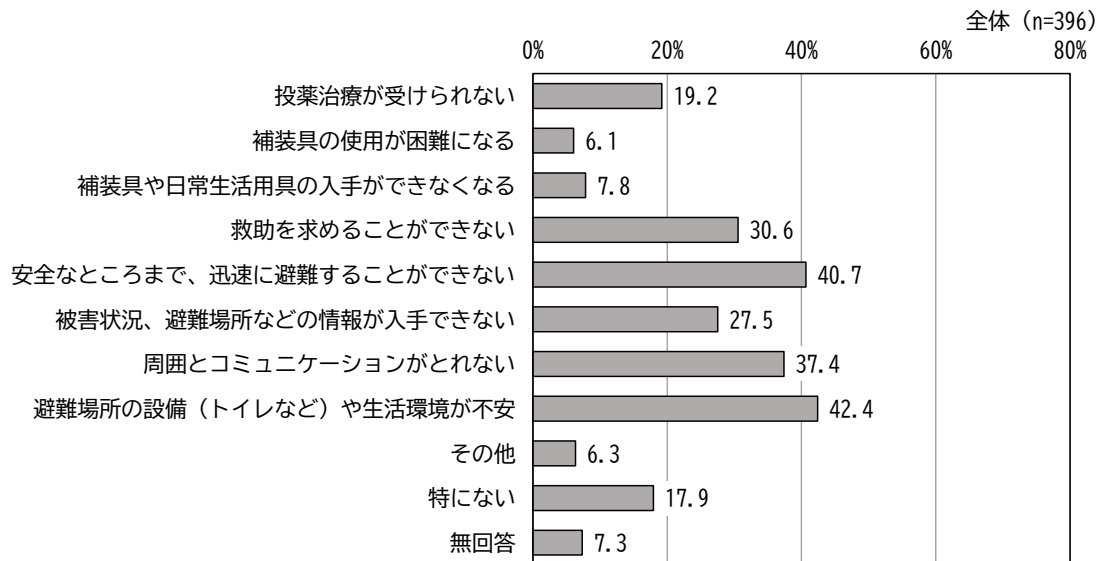
家族が不在の場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいるかについては、「いる」が 28.3%に対し、「いない」が 38.9%となっています。

また「わからない」が 28.5%となっています。



問 28 地震や水害等の災害時に困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

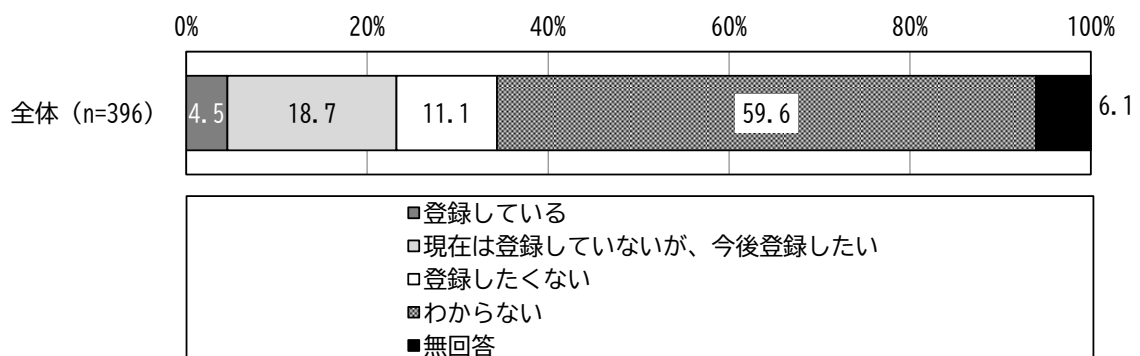
地震や水害等の災害時に困ることについては、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が 42.4%と最も多く、次いで、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が 40.7%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が 37.4%となっています。



問 29 市が実施する避難行動要支援者台帳登録制度※について (〇は1つ)

市が実施する避難行動要支援者台帳登録制度については、「わからない」が 59.6%と最も多く、次いで、「現在は登録していないが、今後登録したい」が 18.7%、「登録したくない」が 11.1%となっています。

※避難行動要支援者台帳とは、災害時に避難をする際、在宅で支援を必要とする方（避難行動要支援者）のうち、登録を届出された方のみが記載されるもので、避難支援や安否確認のため、避難支援者に提供し活用されるものです。



9 朝霞市のまちづくりについて

問 30 障害のある人の住みやすいまちづくりについて、①から⑭のそれぞれについて、「満足度」と「今後の重要性」の両方にお答えください。（番号に○）

○全体 n = 396

満足度 「満足」

No	項目	%
1	⑭保育所等での障害児療育の推進	8.6
2	②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	6.3
3	⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	6.3
4	①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	6.1
4	⑦障害のある人のための教育の充実	6.1

満足度 「不満」

No	項目	%
1	⑦障害のある人のための教育の充実	25.5
2	⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	24.2
3	⑭保育所等での障害児療育の推進	23.2
4	⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	22.7
5	⑧働く場の確保	22.2

今後の重要性 「重要」

No	項目	%
1	⑧働く場の確保	67.7
2	⑦障害のある人のための教育の充実	66.2
3	⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	65.9
4	⑫障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	65.7
5	⑭保育所等での障害児療育の推進	65.4

Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

○全体 満足度 n = 396

項目（構成比）	満足	普通	不満	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	6.1	66.4	18.7	8.8	100.0
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	6.3	67.4	16.9	9.3	100.0
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	4.8	73.0	12.6	9.6	100.0
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	1.8	73.2	14.6	10.4	100.0
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	2.0	71.7	15.4	10.9	100.0
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	2.5	70.7	16.2	10.6	100.0
⑦障害のある人のための教育の充実	6.1	59.6	25.5	8.8	100.0
⑧働く場の確保	2.8	65.7	22.2	9.3	100.0
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	6.3	68.4	14.4	10.9	100.0
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	3.5	70.7	14.9	10.9	100.0
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	4.5	61.4	24.2	9.8	100.0
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	2.5	67.7	18.7	11.1	100.0
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	3.3	68.4	16.9	11.4	100.0
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	2.3	70.2	15.9	11.6	100.0
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	3.0	63.4	22.0	11.6	100.0
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	3.3	62.1	22.7	11.9	100.0
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	3.8	63.1	21.0	12.1	100.0
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	2.0	73.2	12.4	12.4	100.0
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	1.8	73.7	13.4	11.1	100.0
⑳保育所等での障害児療育の推進	8.6	58.6	23.2	9.6	100.0
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	4.0	65.2	19.7	11.1	100.0
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	3.3	68.4	15.9	12.4	100.0
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	3.3	68.9	15.7	12.1	100.0
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	2.0	72.7	12.9	12.4	100.0

○全体 今後の重要性 n = 396

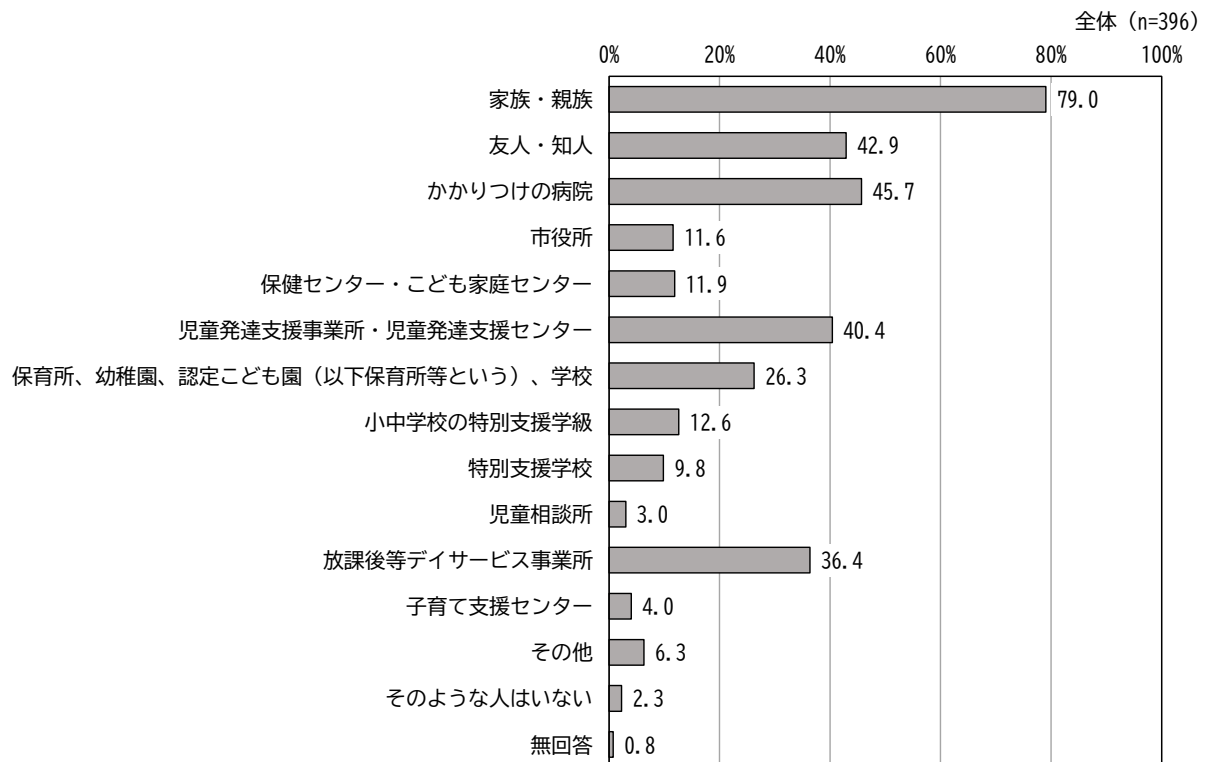
項目（構成比）	重要	どちらでもない	重要ではない	無回答	合計
①障害のある人への理解を進めるための教育や広報活動の充実	62.4	26.8	1.8	9.1	100.0
②地域で社会福祉活動を推進するための拠点となる施設の整備	56.6	32.3	2.3	8.8	100.0
③福祉・保健・医療の連携による在宅サービスの充実	57.8	31.1	1.8	9.3	100.0
④重度の障害のある人のための入所施設の整備	52.8	36.1	1.8	9.3	100.0
⑤グループホームなど地域での生活の場の整備	51.5	36.4	1.5	10.6	100.0
⑥リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の整備	57.8	30.3	2.0	9.8	100.0
⑦障害のある人のための教育の充実	66.2	23.2	1.8	8.8	100.0
⑧働く場の確保	67.7	22.2	1.0	9.1	100.0
⑨参加しやすい余暇活動の援助や施設の整備	50.0	38.1	1.8	10.1	100.0
⑩障害のある人となない人が交流する場の充実	39.9	44.4	4.5	11.1	100.0
⑪障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備	60.4	28.3	1.5	9.8	100.0
⑫障害のある人のための住まいの確保・供給	54.3	33.3	1.8	10.6	100.0
⑬災害時における避難誘導体制の確立と訓練の実施	58.6	31.1	1.0	9.3	100.0
⑭悪質商法などの消費者トラブルから障害のある人を守るための相談や支援の充実	55.8	33.1	1.0	10.1	100.0
⑮福祉分野の専門的な人材の確保・養成	65.9	23.5	1.0	9.6	100.0
⑯福祉サービスの利用手続の電子化・スピード化	53.8	33.1	2.0	11.1	100.0
⑰障害者福祉に関する相談窓口の一本化や相談機能の充実	62.1	27.3	0.8	9.8	100.0
⑱ボランティアの育成とネットワーク化	40.2	46.7	2.3	10.9	100.0
⑲障害のある人に対する差別解消及び虐待防止の取組	55.6	33.8	0.8	9.8	100.0
⑳保育所等での障害児療育の推進	65.4	24.7	1.3	8.6	100.0
㉑障害の種類・程度に応じた手段を選択できる環境	65.7	23.5	1.0	9.8	100.0
㉒生活している地域にかかわらず等しく情報を得ることができる	54.3	33.3	2.3	10.1	100.0
㉓障害のあるなしにかかわらず、同じ情報を同じタイミングで取得できる	54.5	33.8	1.5	10.1	100.0
㉔高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用	46.7	39.4	2.5	11.4	100.0

【保護者票】

1 相談について

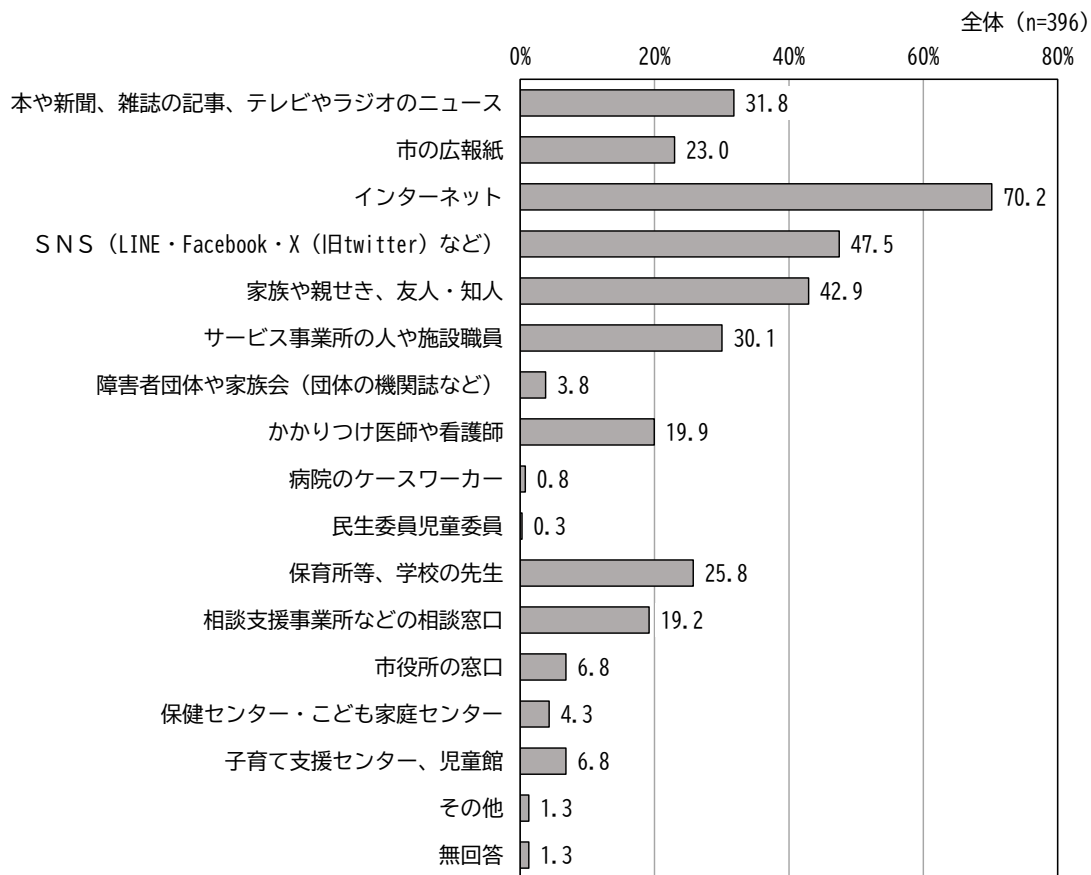
問1 お子さんの子育てをする上で、不安になったとき、誰に（どこに）相談しますか。（〇はいくつでも）

お子さんの子育てをする上で、不安になったとき、誰に（どこに）相談しているかについては、「家族・親族」が79.0%と最も多く、次いで、「かかりつけの病院」が45.7%、「友人・知人」が42.9%となっています。



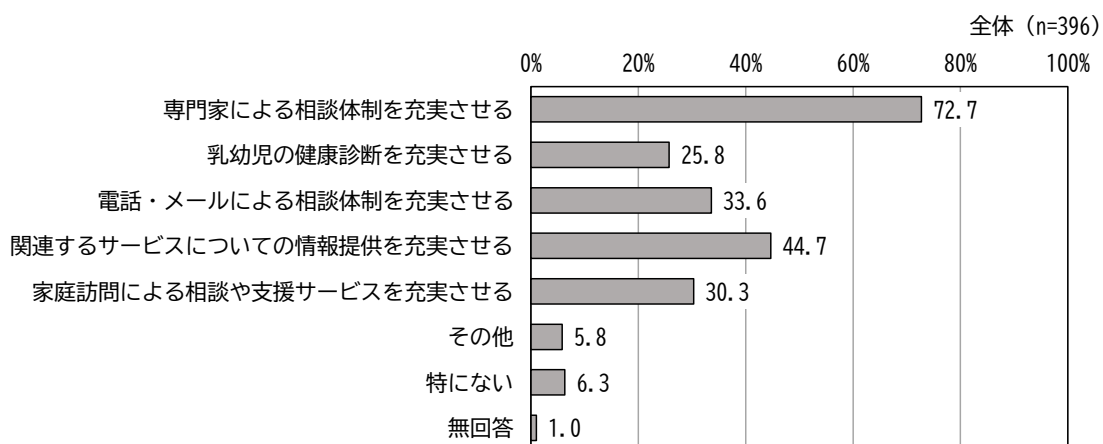
問2 子育てに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

子育てに関する情報を、どこから知ることが多いかについては、「インターネット」が70.2%と最も多く、次いで、「SNS (LINE・Facebook・X (旧twitter) など)」が47.5%、「家族や親せき、友人・知人」が42.9%となっています。



問3 子育てをする上で、不安になったとき、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

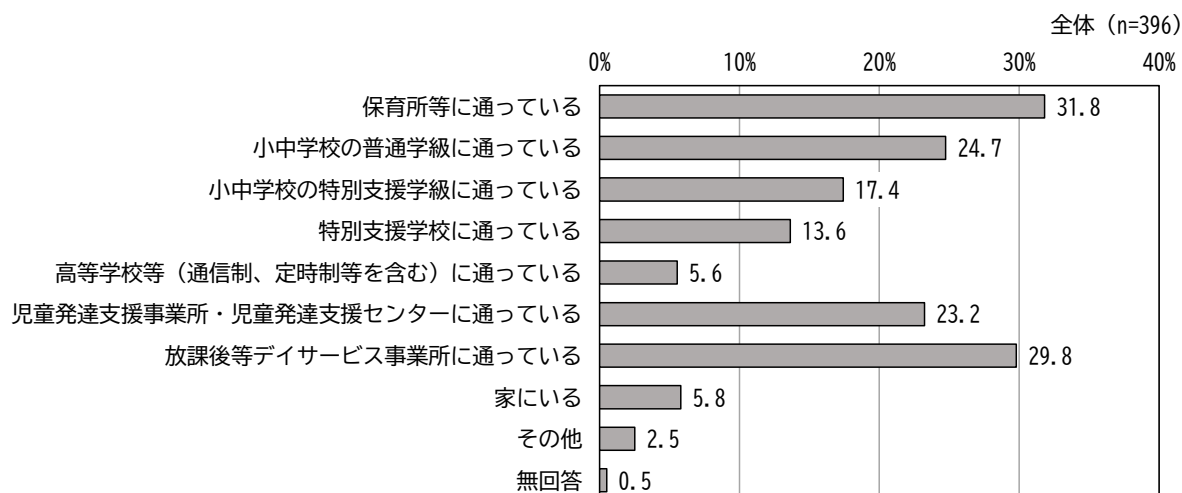
子育てをする上で、不安になったとき、早期に適切な支援を受けるために必要なことについては、「専門家による相談体制を充実させる」が72.7%と最も多く、次いで、「関連するサービスについての情報提供を充実させる」が44.7%、「電話・メールによる相談体制を充実させる」が33.6%となっています。



2 お子さんの日中活動・教育について

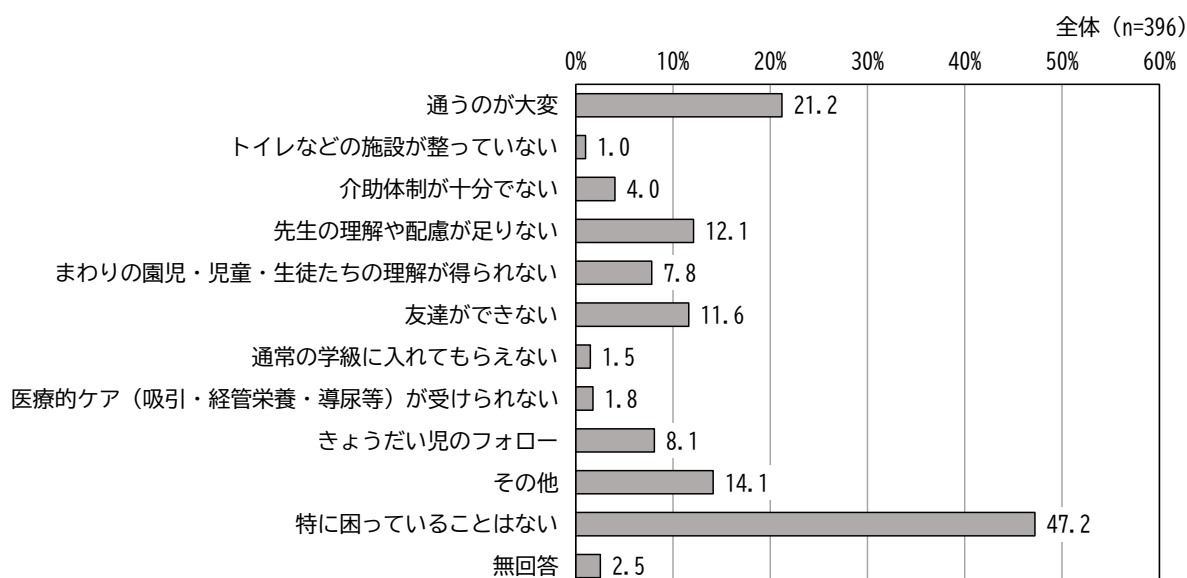
問4 お子さんは、平日の日中、どのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

お子さんの、平日の日中の過ごし方については、「保育所等に通っている」が31.8%と最も多く、次いで、「放課後等デイサービス事業所に通っている」が29.8%、「小中学校の普通学級に通っている」が24.7%となっています。



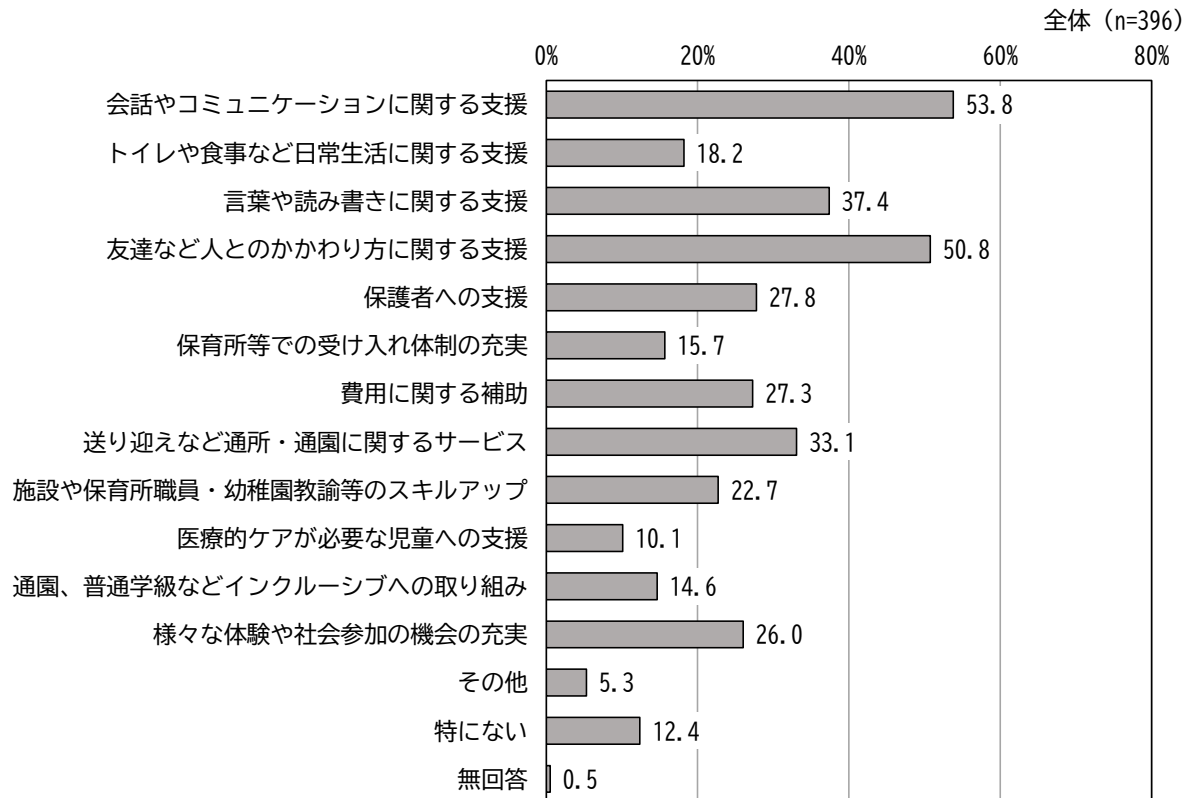
問5 保育所等、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、学校などに通っていて困ることはありますか。(〇はいくつでも)

保育所等、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、学校などに通っていて困ることについては、「特に困っていることはない」が47.2%と最も多く、次いで、「通うのが大変」が21.2%、「先生の理解や配慮が足りない」が12.1%となっています。



問6 お子さんが受けている支援等について、充実させるべきだと思う点がありますか。(〇はいくつでも)

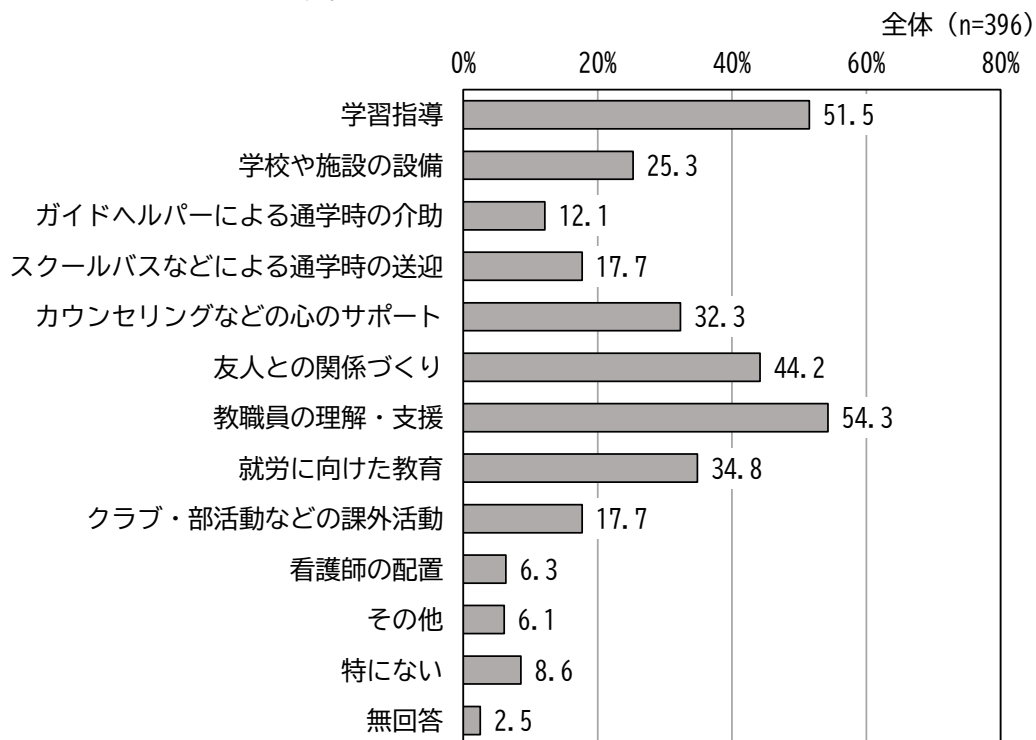
お子さんが受けている支援等について、充実させるべきだと思う点については、「会話やコミュニケーションに関する支援」が53.8%と最も多く、次いで、「友達など人とのかかわり方に関する支援」が50.8%、「言葉や読み書きに関する支援」が37.4%となっています。



Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

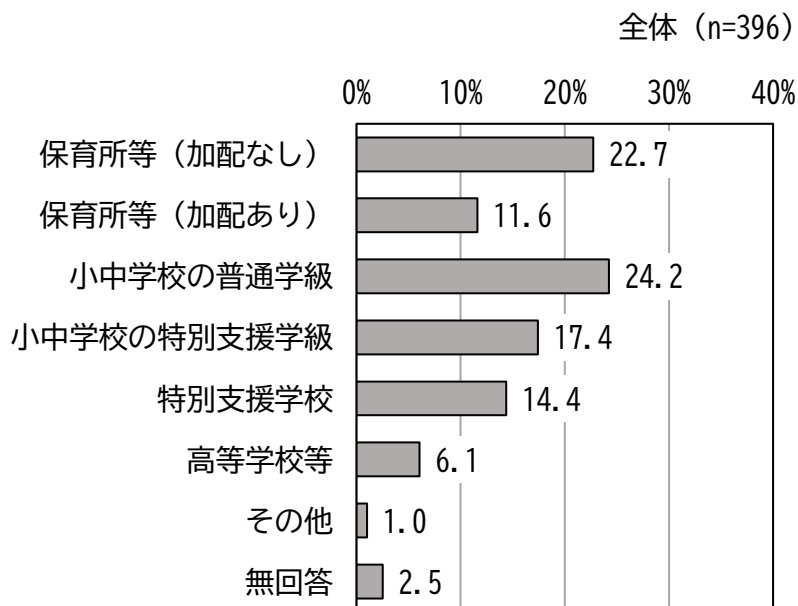
問7 お子さんが受けている教育や、学校生活について、充実させるべきと思う点がありますか。なお、お子さんが就学前の場合は、就学後を想定してお答えください。(〇はいくつでも)

お子さんが受けている教育や、学校生活について、充実させるべきと思う点については、「教職員の理解・支援」が 54.3%と最も多く、次いで、「学習指導」が 51.5%、「友人との関係づくり」が 44.2%となっています。



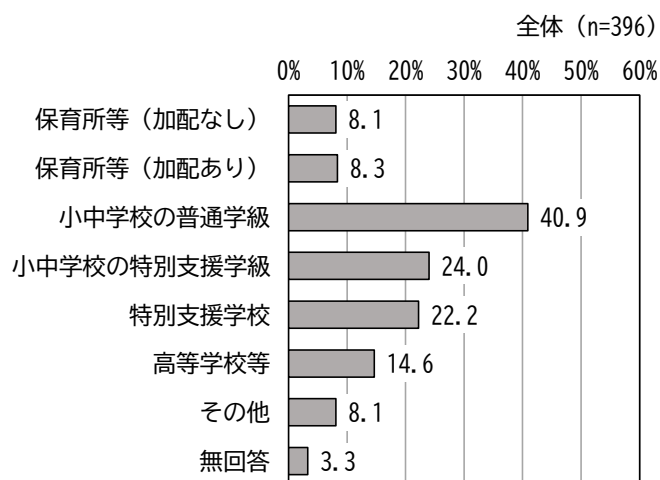
問8 現在の就園・就学状況について、利用しているものを教えてください。(〇は1つ)

現在の就園・就学状況について、利用しているものについては、「小中学校の普通学級」が 24.2%と最も多く、次いで、「保育所等（加配なし）」が 22.7%、「小中学校の特別支援学級」が 17.4%となっています。



問9 今後の就園・就学について、利用を考えているものを教えてください。(〇はいくつでも)

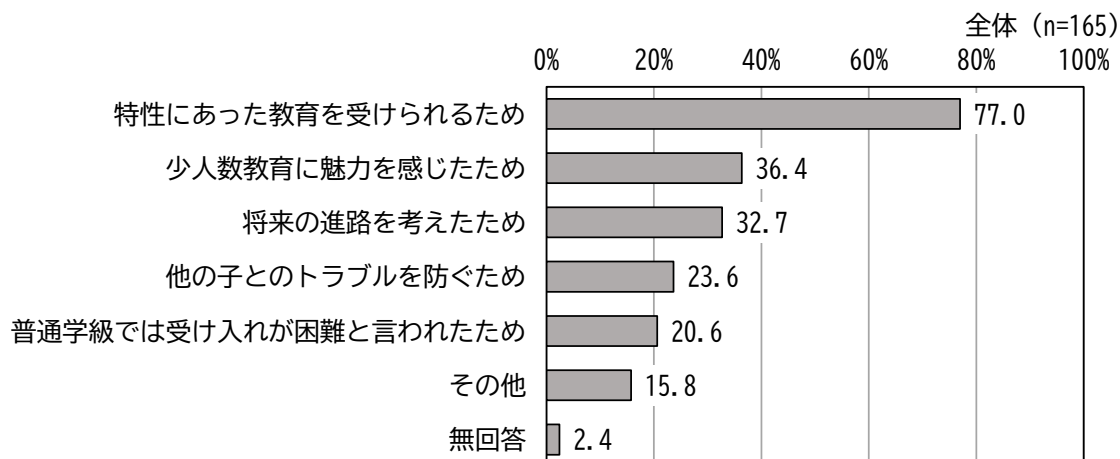
今後の就園・就学について、利用を考えているものについては、「小中学校の普通学級」が40.9%と最も多く、次いで、「小中学校の特別支援学級」が24.0%、「特別支援学校」が22.2%となっています。



【問9で「小中学校の特別支援学級」「特別支援学校」と回答した方のみ】

問9-1 「小中学校の特別支援学級」「特別支援学校」を選択した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

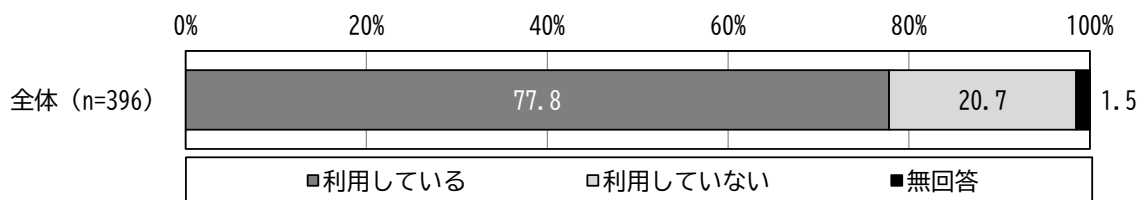
「小中学校の特別支援学級」「特別支援学校」を選択した理由については、「特性にあった教育を受けられるため」が77.0%と最も多く、次いで、「少人数教育に魅力を感じたため」が36.4%、「将来の進路を考えたため」が32.7%となっています。



Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

問 10 児童発達支援や放課後等デイサービスを利用していますか。(○は1つ)

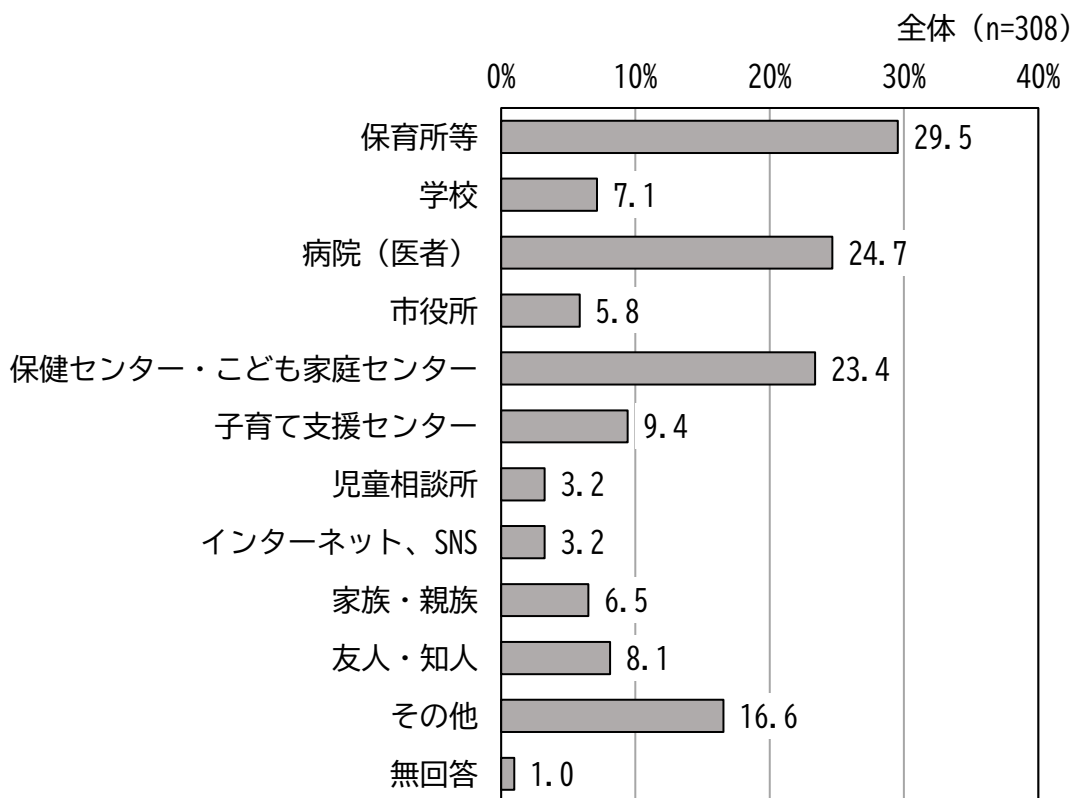
児童発達支援や放課後等デイサービスの利用については、「利用している」が 77.8%に対し、「利用していない」が 20.7%となっています。



【問 10 で「利用している」と回答した方のみ】

問 10-1 療育をすすめられたところはどこですか。(○はいくつでも)

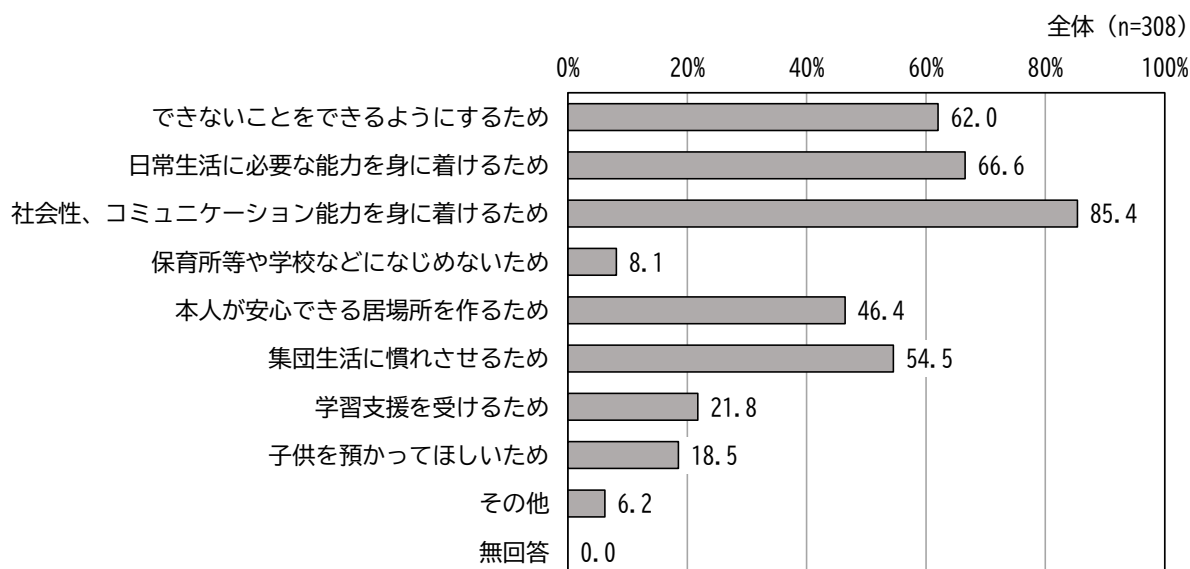
療育をすすめられたところについては、「保育所等」が 29.5%と最も多く、次いで、「病院 (医者)」が 24.7%、「保健センター・こども家庭センター」が 23.4%となっています。



【問 10 で「利用している」と回答した方のみ】

問 10-2 利用している目的は何ですか。(○はいくつでも)

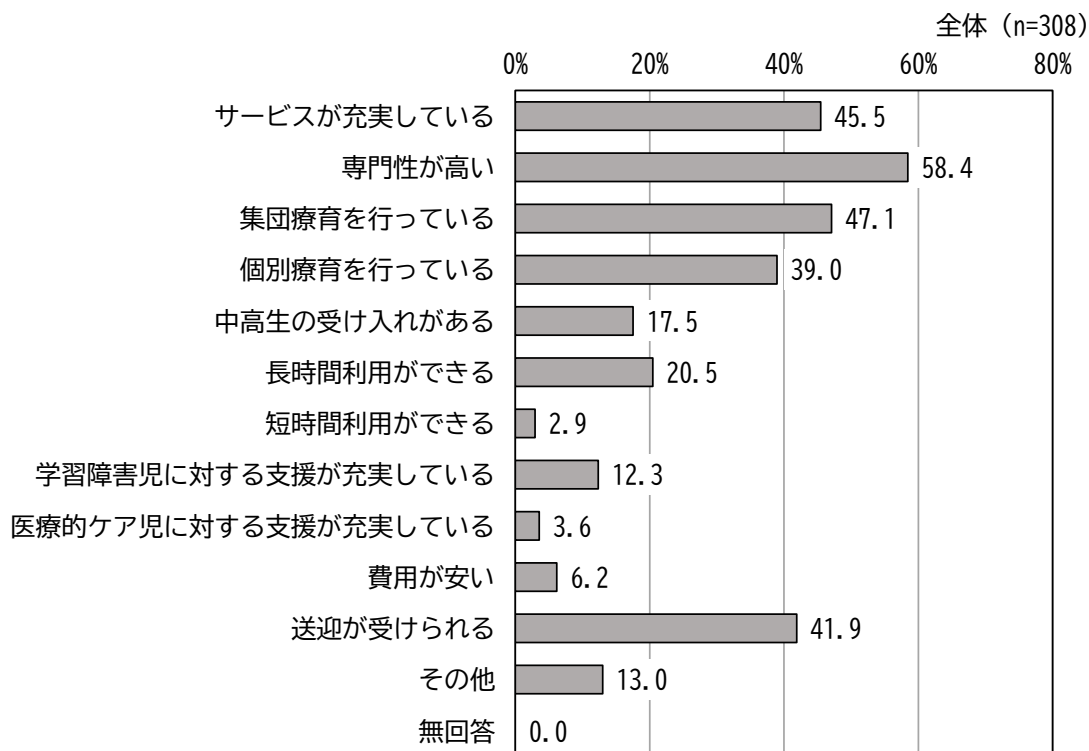
利用している目的については、「社会性、コミュニケーション能力を身に着けるため」が 85.4%と最も多く、次いで、「日常生活に必要な能力を身に着けるため」が 66.6%、「できないことをできるようにするため」が 62.0%となっています。



【問 10 で「利用している」と回答した方のみ】

問 10-3 施設を選ぶ際に重視する点を何ですか。(○はいくつでも)

施設を選ぶ際に重視する点については、「専門性が高い」が 58.4%と最も多く、次いで、「集団療育を行っている」が 47.1%、「サービスが充実している」が 45.5%となっています。



Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

【問 10 で「利用している」と回答した方のみ】

問 10—4 利用した結果、ご家庭や保育所等、学校などでどう生かされていますか。ご自由にお書きください。

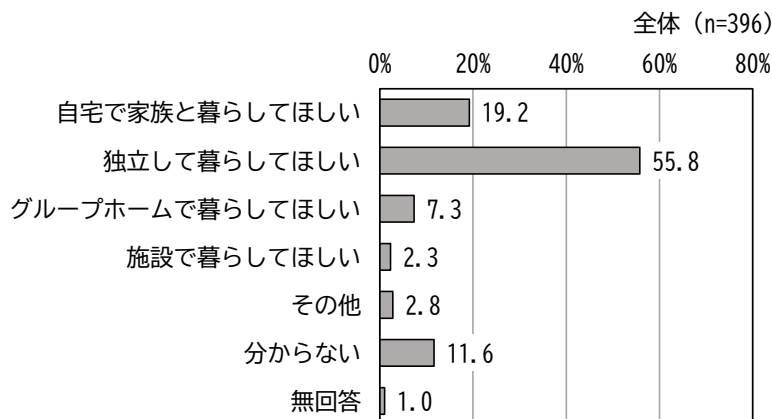
児童発達支援や放課後等デイサービスの利用した結果、家庭や保育所、学校等でどう生かされているかでは、228 人の方より 312 件のご意見をいただきました。同様の意見を整理し、12 項目に分類したところ、「言葉の面での変化が見られたり、コミュニケーションが上手になった」が 88 件で最も多く、次いで「家族に変化があった（家族の負担や困り事が減った、情報共有できる、家での取り組み方が分かった等）」が 54 件、「日常生活（食事・生活リズム・身の回りのこと等）が改善された」が 30 件となっています。

No	分類名	件数
1	言葉の面での変化が見られたり、コミュニケーションが上手になった	88
2	家族に変化があった（家族の負担や困り事が減った、情報共有できる、家での取り組み方が分かった等）	54
3	日常生活（食事・生活リズム・身の回りのこと等）が改善された	30
4	自身がついた・前向きになった	29
5	集団生活に慣れてきた	25
6	精神的に落ち着いた	20
7	学校生活が改善された	16
8	社会性が身についた	13
9	学習能力があがった	11
10	わからない	6
11	ない・あまりない	9
12	その他	11
合計		312

3 お子さんの将来について

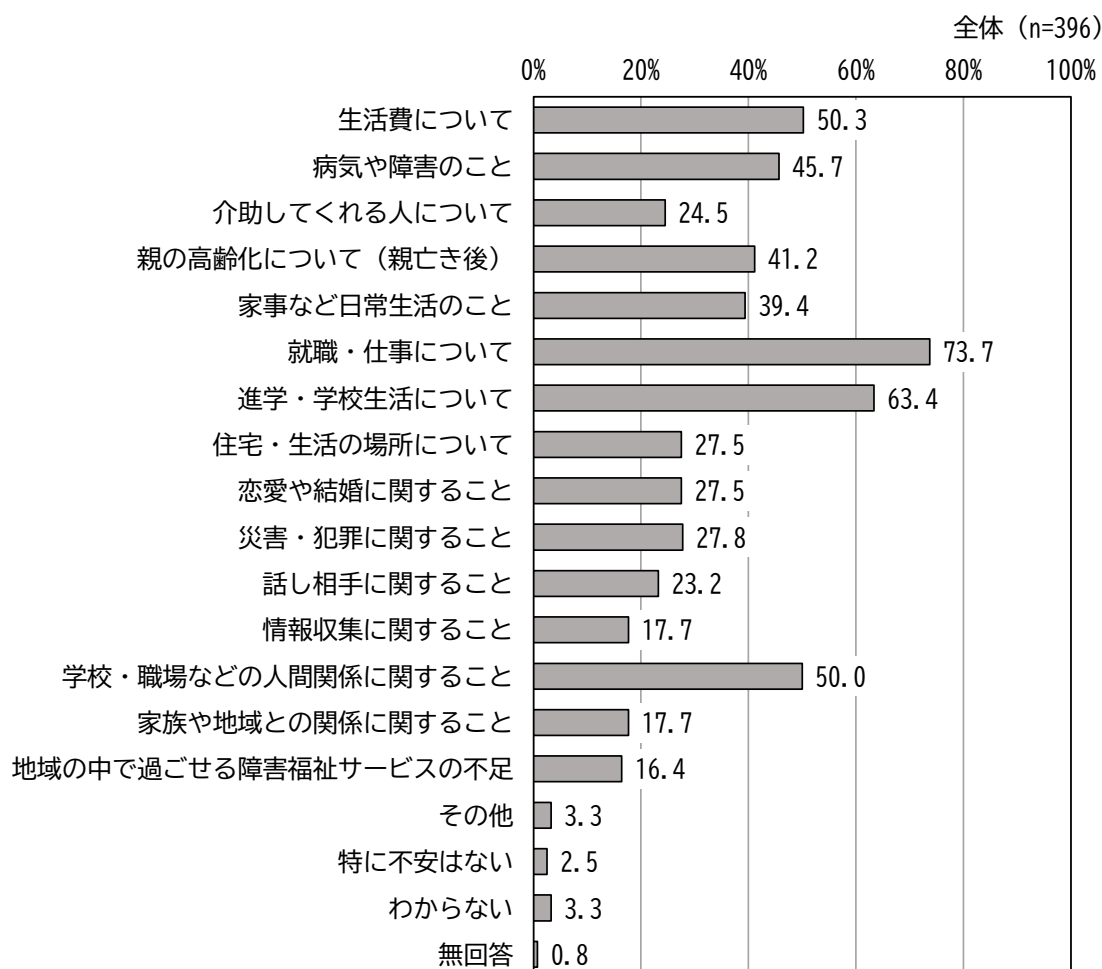
問11 お子さんには、将来どのように暮らしてほしいですか。(〇は1つ)

お子さんには、将来どのように暮らしてほしいかについては、「独立して暮らしてほしい」が55.8%と最も多く、次いで、「自宅で家族と暮らしてほしい」が19.2%、「分からない」が11.6%となっています。



問12 お子さんの将来を考えて、不安に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

お子さんの将来を考えて、不安に思うことについては、「就職・仕事について」が73.7%と最も多く、次いで、「進学・学校生活について」が63.4%、「生活費について」が50.3%となっています。



Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

質問は以上となります。最後に、障害福祉サービスやご自分の生活上のこと、その他朝霞市の障害福祉施策全般について、何かご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

アンケート調査の最後に、自由記述欄を設け、124人の方より171件の貴重なご意見をいただきました。

結果報告書では、同様のご意見を整理し、14項目に分類しました。

No	分類名	件数
1	障害者施設の充実・設備・定員増などに関することについて	26
2	障害福祉サービスについて	27
3	教育、進路等について	25
4	経済的な内容について	8
5	情報提供について	9
6	相談支援体制について	11
7	障害理解、交流について	10
8	道路、施設のバリアフリー、交通機関の充実について	9
9	市役所の手続き等に関することについて	12
10	「親亡き後」や「老老介護」、病気・医療に関することについて	8
11	アンケートについて	9
12	就労について	8
13	今後の不安について	8
14	その他	1
合計		171

○自由記述の内容（抜粋）

【1 障害者施設の充実・設備・定員増などに関することについて】

- 朝霞市はとても福祉サービスが充実している街だと思いますが、療育に関して、他市や都内から朝霞市内の療育に希望者が集まり朝霞市民が市内にある療育を受けられない声もよく聞きます。保育園などと同じように、朝霞市内にある療育先は市民を優先にするなどの配慮があると嬉しいです。
- 朝霞市のグループホームは専門性もない、知識もない職員で溢れかえっている現状をもう少し重く受け止めてほしい。子どもの将来が不安。
- 親が障害児に接する対応を学ぶ場所や障害児の親の交流の場所が増えるとありがたいです。
- 現在、主に集団の放課後等デイサービスを利用させていただいております。本来でしたら、個別療育も希望しているのですが、空きが無く、来年4月以降も空きが無い状況だが待機希望を継続しますか？と施設からもお手紙をいただきました。発達障害児が増えている現在、放デイは増えていますが、個別はおいついていない印象を受けます。また、集団の放デイを学童がわりに利用しているような保護者様もみうけられます。本来支援を必要としている子が、きちんと通所できるよう、チェック体制も必要なのかな？と感じます。

【2 障害福祉サービスについて】

- 特別支援教育就学奨励費は、所得により支給されなくなってしまう。所得に関係なく、一定額は支給されるようになると良い。
- 児童発達支援を受けさせていただき、とても助かっています。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。
- 等級が下がりガソリン等の補助が受けられなくなっていました。しかし娘の学校への送迎で、多く車を利用する為下肢に障害がある場合は、等級に関わらず支援を受けられないかと思っております。
- 収入が多いため補助金の大半が受給停止となり、不満を感じる。

【3 教育、進路等について】

- 再来年小学校に進級するのですが、小学校によっては受けられないサポートがあり、受けられる違う小学校に親が連れて行かないと行かない事があるので、とても心配です。どの小学校でも同じサポートがあると、通学も含めて安心するので、お願いしたいです。
- 子供が小学生です。普通級在籍で通級に通っていますが、中学校の普通級は厳しいと思い、特別支援級を検討しています。しかし、朝霞市の中学は内申点がつかないと言われました。現在早期療育の推進で、発達特性のある可能性のある子が爆発的に増えています。学校でも、疑わしい子は、支援級や通級への打診をされます。それらは良いことだと思いますが、せっかく小学生で丁寧に育てても、中学で梯子を外されるのはいかながなものでしょうか。知的に遅れがなくても普通級で過ごすのが厳しく、不登校になる子も多いです。また、支援級を希望すると越境ができないのもおかしいと思います。同級生との関係や通いやすさ、その他の理由で、普通級の子は越境が珍しくないのに、支援級という理由で越境不可なのは改善してほしいです。
- 朝霞市では現在すべての小中学校に特別支援学級ができて、いろいろな配慮を受けながら学校生活が送れるようになってきました。しかし、中学卒業後の進路については、考えさせられることが多いです。特に、知的障害のお子さんは進路の選択肢がかなり狭くなります。例えば、2年前に所沢おおぞら特別支援学校新座柳瀬分校(高等部)ができましたが、募集定員は16名です。昨年はそこに25名の受験生がおり、9名不合格になりました。さいたま桜の職業科も、朝霞からは少し遠いです(通学に時間がかかります)。和光南特別支援学校はかなり手狭な環境ですし、知的障害の中でも一般就労を目指すお子さんにとっては、高等部(分校)や職業科を選択肢としたいところだと思います。発達障害や不登校のお子さん向けの通信制サポート校は増えてきた印象がありますが、知的障害のお子さんについては、進路の選択肢がかなり限られているのが現状です。さいたま市や富士見市や川越市など、市立の特別支援学校がありますが、朝霞市では市立の特別支援学校などを検討する余地はないのでしょうか？知的障害でも比較的軽いお子さんの、中学校支援級在籍からの進路について、もう少し穏やかに選択できるような選択肢が増えてもらえると嬉しいと思います。16分の25、9人不合格という狭き門を、知的障害のお子さんが乗り越えていかなければならない現実、親としては不安を感じている現状です。
- 学校では(小学校)、それぞれに障害の差がありどうしても重度の子に支援にいつてしまい、他の子達は手薄になってしまう。普通級でできる授業は参加させてほしい。交流の場がもっとあってもいいのではないのでしょうか。支援級の子供達も少しずつでも成長しているので、普通級への窓口をもっと広げてくれば、将来への道が一つではなく選択するものが増えるのではないかと。

Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

【4 経済的な内容について】

- 普通の人よりも、全てにおいてお金がかかるので、公共交通機関や駐車場の利用は割引ではなく、無料にしていただけるとありがたい。
- 放デイ、上限額 37,000 円では負担が大きすぎる。収入だけで上限額を決めず、家庭の状況、障害の重さその他考慮してほしい。4,600 円で使い放題のようなイメージで使っている方が多いが、こちらは金額が負担になり、回数を控えざるを得ない。行動援護、男性の支援者が特に少ないと聞いています。利用者も男性が多いと思いますので、増えてほしいです。
- 就職後の医療費の負担が心配です。薬や医療機器がなければ生活ができません。生涯にわたり、現在のサービスが受けられるようにしてほしいです。
- 一定の所得があるとサービス料や手当に制限が掛かり、本人の将来の備えや兄弟児に対してフォローが行き届かないのでとても困っている。

【5 情報提供について】

- 保育園に入れません。療育に関する情報が得づらいです。
- 発達障害は自力で調べないと支援まで辿り着けない現状を改善していただけるとありがたいです。同じ支援を受けている方と情報交換ができる場や機会があったら気持ちが楽になったかなと思います。
- インターネット上で他市を含めいろいろな情報が多く理解が難しい。生まれて間もない頃から不安は大きく、個別に制度や申請等について教えていただけるとありがたいです。（介護については何となく知識があるが、障害となると全くの無知のため）
- 相談支援事業所の相談員の専門性や質の向上を望みたい。単にサービス利用の希望を聞いてそれを計画書としてまとめるだけではなくて、利用者本人の状況からふさわしい支援を提案できるような人を増やしてほしい。数あるサービス事業所の中から自分で本人に合った所を探すのは困難であるし、そもそもそういった基準で選択してよいかも最初は全くわからなかったもので、相談員の方からもっと情報提供や提案があってほしかったとの思いがある。

【6 相談支援体制について】

- 対応をもっと丁寧にするべき。相談事業所がもっと増えてほしい。
- 療育手帳のことを聞きに窓口に行き、申請しようとした際、若い男性に面倒くさそうに受付をしてもらいました。説明を聞いてその日に受付は出来ない手続きだったのでしょうか。疑問に残りました。
- 特に大きな不満はありませんが、発達障害について専門性の高い方がおらず相談できない。実際にはいらっしゃるのかもしれませんがコンタクトを取れる機会がないです。気軽に質問できたり相談できたりする環境がほしいです。

【7 障害理解、交流について】

- 無知なままだ動くのではなく、しっかり理解して、あるもののルールに縛られて押しつけるような事がなくなってほしい。
- 障害があるかないかが白か黒かみたいな感じで、学校の過ごし方、市役所での対応、支援が受けられるかなど差が大きい。グレーな場合に対応できないので白か黒か選ばなければいけない事が多いと感じる。サービスの先生や支援員さんの質の差も大きく、あたりはずれがあり、いかに信頼できる人に見てもらえるかが重要だと思う。組織として支援知識の共有、教育体制など進めてほしい。
- 学校等先生の特性がある子たちへの理解対応。障害手帳もなく「疑い」で放課後等デイサービスを利用しています。発達検査を進めてくれたのは担任の先生でしたが、結果や病院で言われた事を伝えたがあまり理解してもらえず、検査前とかかわらず毎日怒られたり言葉足らずで息子に伝わっていないことが多かった。本人は怒られた事も忘れるので、親は学校での事を知らず普通に過ごしていると思っていたが、周りから「うちの子が息子君を心配している。大丈夫？」といういろいろな方から言われるようになった。普段から注意散漫な事もあり、ちょっとした事で1日何回も怒られている。同じ事をして息子だけ強く怒られたり、1人だけ別で注意を受けている等。団体活動に大きな問題はなく、周りと一緒に生活出来るが授業中1時間集中は難しく、途中筆箱・引き出しを触る等の行動がみられるというのは担任から報告を受けていたが、そのたびに注意を受けずと言われている。かわいそう、と周りの子ども達を感じ親に報告していたとか、またクラスの多くの子が発達についていろいろいわれていたようです。発達の遅れ（障害）・グレーゾーン・性格のみきわめは難しいかもしれませんが、何かあれば発達に問題を疑い厳しくしたり、親に伝えるのではなく、言葉・伝え方を変えてみるなど子どもとの接し方も学んで欲しいです。（一部の先生だと思いますが）小学校●年生の時の話です。
- 一個人ですが、特別支援学級に配属の先生方への指導をしていただきたいと思います。資格云々抜きにして、最新情報、また多角的な指導の方法など新しい先生から年配の先生まで幅広く学びの機会を増やしていただけるとより一層、障害のある子どもたちもより良い成長の学びを得られると思います。どうぞよろしくお願いします。

【8 道路、施設のバリアフリー、交通機関の充実について】

- 朝霞台駅にやっとエレベーターができたのでよかったです。凸凹した道や段差が意外と多いので、改善されると嬉しいです。
- 放課後等デイサービスの学校、自宅への送迎付きの事業所を早急に増やしてください。保護者が就労できなくなります。
- 今年の春からわくわくドームを利用を始めました。職員みなさんが温かく対応して下さりとても利用しやすいです。1階で着替えに更衣室を利用していますがもう一部屋、家族ルームのような着替えとシャワーの部屋があるといいなと思います。今は女性の部屋に子供（男子）と一緒になので。もう少し大きくなった時、はたして一人でできるかな。多目的ルームのようにトイレや部屋などあるといいなと感じます。

Ⅲ. 障害児及び保護者調査結果

【9 市役所の手続き等に関することについて】

- 障害の度合いによってサービスを受けられるのは良いが、手続きの1本化が望ましい。
- 特別児童扶養手当の手続きの迅速化。(市役所から児童相談所への連絡に時間がかかる) 通所受給者証の有効期限の延長。もしくは更新の簡素化。
- 1歳半検診、3歳児健診で少しでも不安な点があった場合にすぐに療育に繋がられるようにしてほしい。様子見をしている時間がもったいないです。
- サービスを受けるに当たり、書類を電子化して頂けると少し負担が減るかなと思います。

【10 「親亡き後」や「老老介護」、病気・医療に関することについて】

- 親の介護と子どもの介護を同時に担うタイミングが来ることを不安に感じています。施設入所は難しい場合が多いので、自宅で家族と同居しながら独立した生活を送りつつ(親が自宅で急死しても誰かが気づいてくれる)、親亡き後を見据えた生活訓練が自宅でできるような制度設計を望みます。
- 高齢出産のため親亡き後、子どもがどうになってしまうのか不安です。健常児の兄弟がいますが、彼は兄弟児として悩みを抱えているので彼には自分の人生を歩んでほしいと考えています。そのため、障害児者が安心して地域で生活するためのグループホームや通所施設が必要です。教員不足ですが、障害福祉サービスで働く人たちも不足しています。専門知識のある支援者が、長く働ける環境を作ってください。志を持って障害福祉業界で働いている人が、労働環境が悪いために心身を病んで退職しない職場にして下さい。また、支援者が学び続けられるよう環境を整えていただけますようお願い致します。
- 子どもの健康診断は、1年ごとくらいにしてほしい。(0-6才までは)理由:子どもの発達が目でわかる。何もないとこれで(今で)問題ないのかもわからない。
- いつも福祉のサービスを利用させていただきありがとうございます。子供たちがまだ小さいのですが、現在まで朝霞市に住んでいて気になった点は以下です。各種手続きをWEB上でできるようになったらありがたい。相談員の方が定員がいっぱいで見つかりづらい、発達を診てもらえる病院を増やして、予約が取りやすくなったら有り難い、宜しくお願い致します。

【11 アンケートについて】

- 宛名が本人ではなく、親でした。本人は6歳です。1人での外出などはもちろん付き添います。本人票の質問で、年齢を入力した時点で、質問内容がその年代に適したものになるといいと思います。
- このアンケートはとても回答しづらい内容でした。宛名の利用者は母親自身であるが、子どもの立場から回答するしかない内容でした。何を知りたいのか不明です。とにかく不満しかありません。普通でなければ生きづらい市でしかありません。
- そもそもこういったアンケートを送ってくるにあたって対象者がどういった相手なのか考えて送ってくるべき。難病指定を受けていて病院には通院しているが障害をもっている訳ではありません。難病指定を受けるともらえる助成金はいただいています。このような内容のアンケートを一律に送ってくるのは、どうかと思う。

【12 就労について】

- 就労先、B型就労事業所等の時間拡大を求めます。就労すると、通所時間が遅くなり、帰りが早くなる。尚且つ親の送迎が必須になってくる現状は親が働けなくなります。就労時間拡大や送迎の充実など改善を求めます。
- 生活介護とB型作業所の境界線上にいる障害者にあてはまる場所が「はあとぴあ」福祉作業所くらいしか挙げられない。この層にあてはまる障害者を活かせる場所を増やす必要があると思います。
- 受給証をお願いするのに大変困りました。どこも受け入れてもらえず親が書かなくてはいけない、そんな事がないようにもっと、簡単にしていただけたら、それか、もっと書いてもらえる施設をふやしていただきたいです。障害の人達も、社会でもっと、受け入れてもらえる そして、働く場をもっと増やしてもらいたいです。働きたくても、働く所がありません。
- 障害福祉も大事だが予算が限られている中で、誰からも同意が得られる形はほしいと思う、身近な所では、放課後デイか学童が利用できないので、親（母）が働きにくいのが困っている。

【13 今後の不安について】

- 未就学児のため手探りですが、今後の就学、就職の見通しが立てられず、不安が大きい（保護者の知識不足、子の伸びしろがわからないため）。この辺りが施策で対応してほしいところ。（アンケート内にも書いたが）放デイの（小学校）長期休暇中預かり時間が短く、仕事を続ける目途がたっていない。これは、近々にどうにかならないかと思っている。
- 子供の成長を普通の成長とを感じるか、遅れているとを感じるか家族でも意見が分かれるので就学先を決めるのがとても難しいと感じます。就学選びによって子供の未来が変わってしまうので柔軟に就学先の横移動ができればよいと思います。
- 子供の障害はグレーゾーンに近いほど親は判断に困って悩みます。受け入れたくない親への配慮も必要かもしれませんが、支援が必要な子供を放っておくことは後で悲しいことになってしまいます。1人でも正しい支援につながれるよう、頑張してほしいと思います。

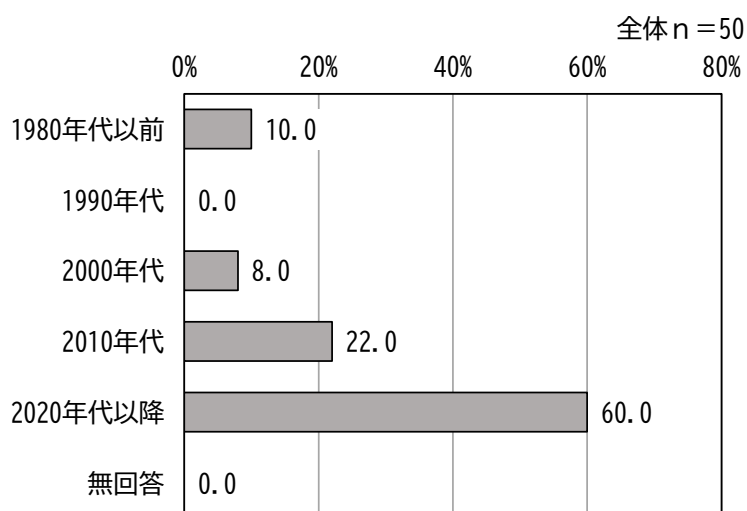
IV. 事業所調査結果

1 事業所の概要について

問1 令和7年11月1日現在の貴事業所についてご記入ください。

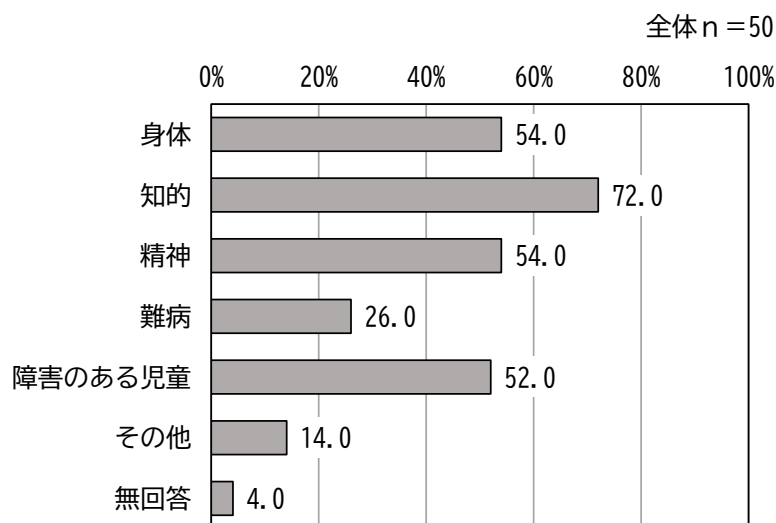
- ①事業所名
- ②事業所番号
- ③運営事業者
- ④設立年

創立年については、「2020年代以降」が60.0%と最も多く、次いで「2010年代」が22.0%、「2000年代」が8.0%となっています。



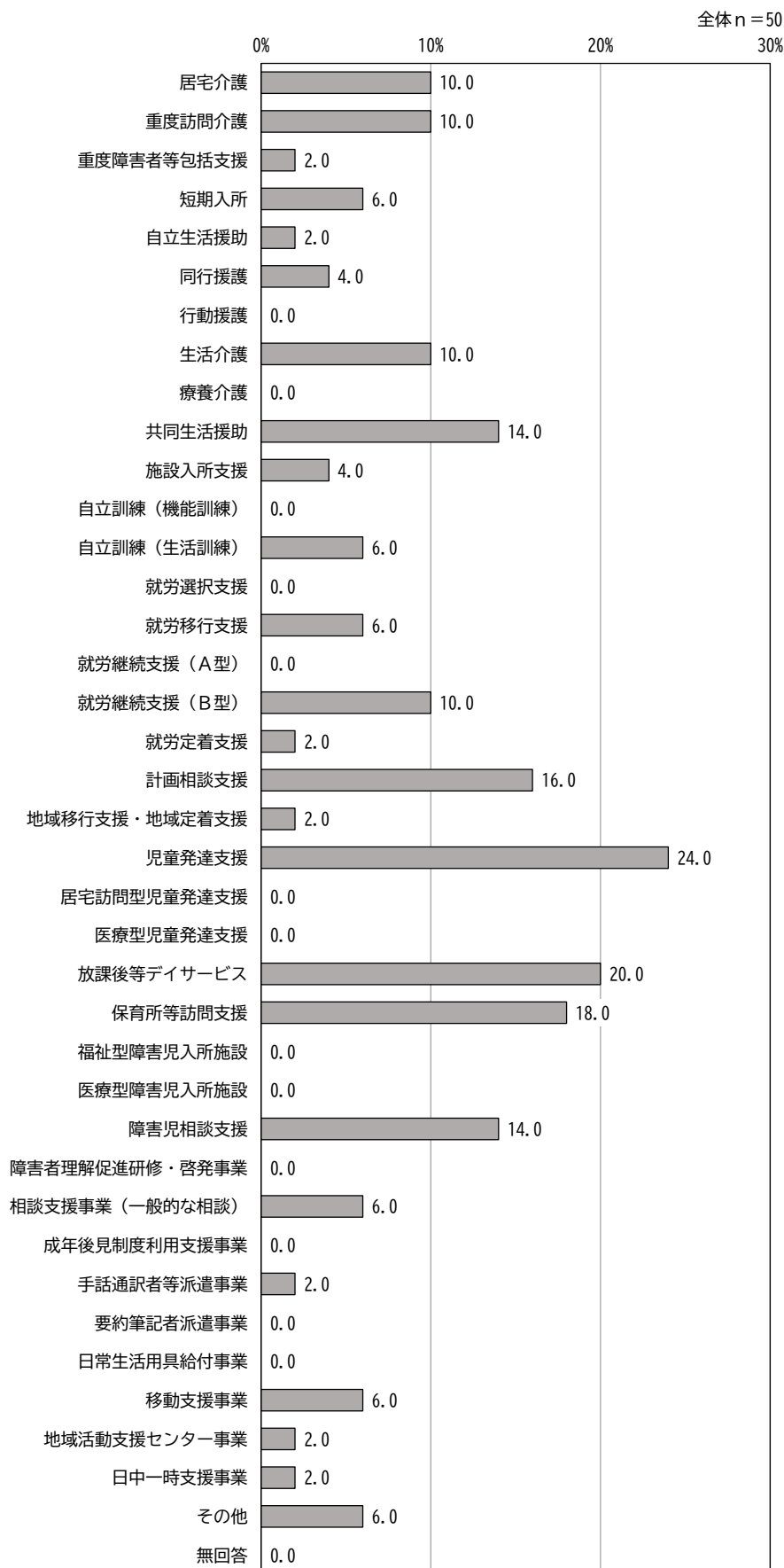
⑤対象の障害（〇はいくつでも）

対象の障害については、「知的」が72.0%と最も多く、次いで、「身体」、「精神」がともに54.0%となっています。



⑥提供しているサービス内容

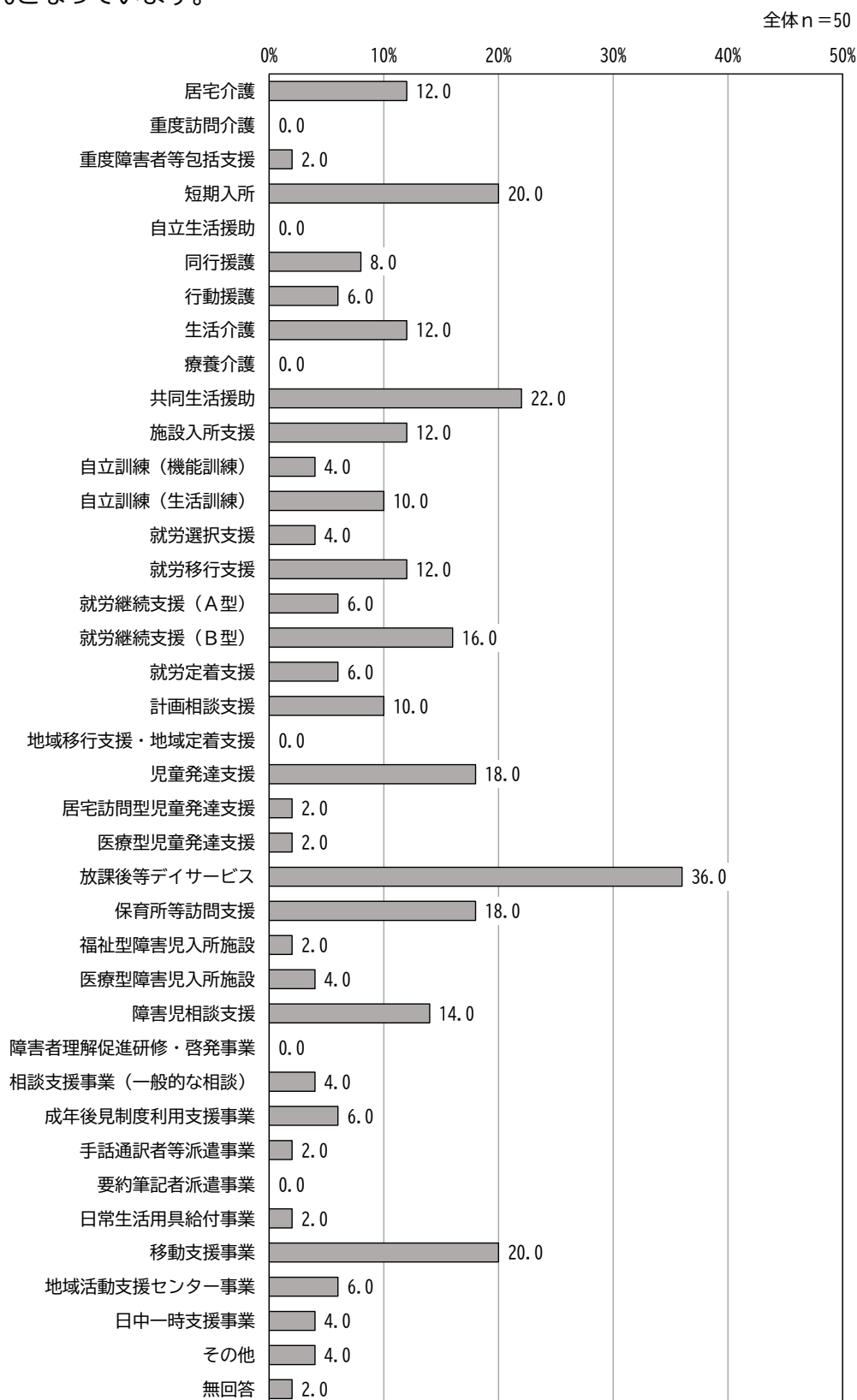
提供しているサービス内容については、「児童発達支援」が24.0%と最も多く、次いで、「放課後等デイサービス」が20.0%、「保育所等訪問支援」が18.0%となっています。



2 障害福祉サービス等の提供について

問2 利用者からは、どのようなサービスを望む声が多いですか。（〇はいくつでも）

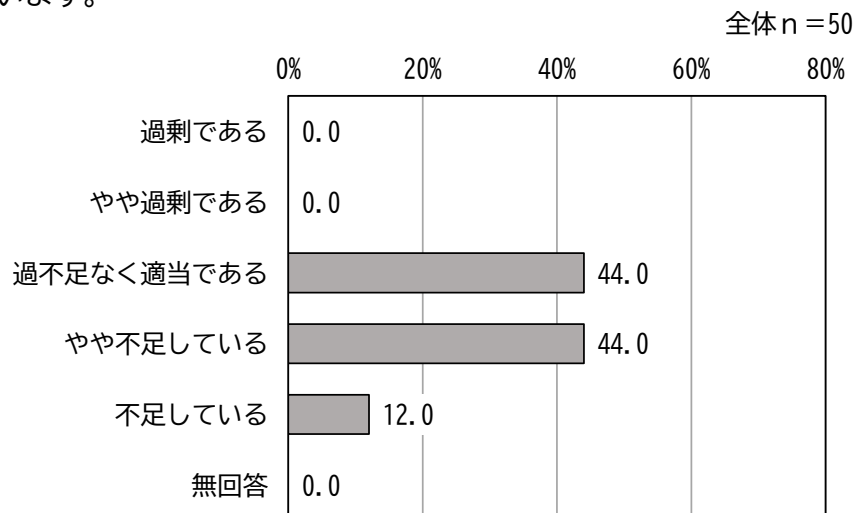
利用者からどのようなサービスを望む声が多いかについては、「放課後等デイサービス」が36.0%と最も多く、次いで、「共同生活援助」が22.0%、「短期入所」、「移動支援事業」がともに20.0%となっています。



3 事業所の運営について

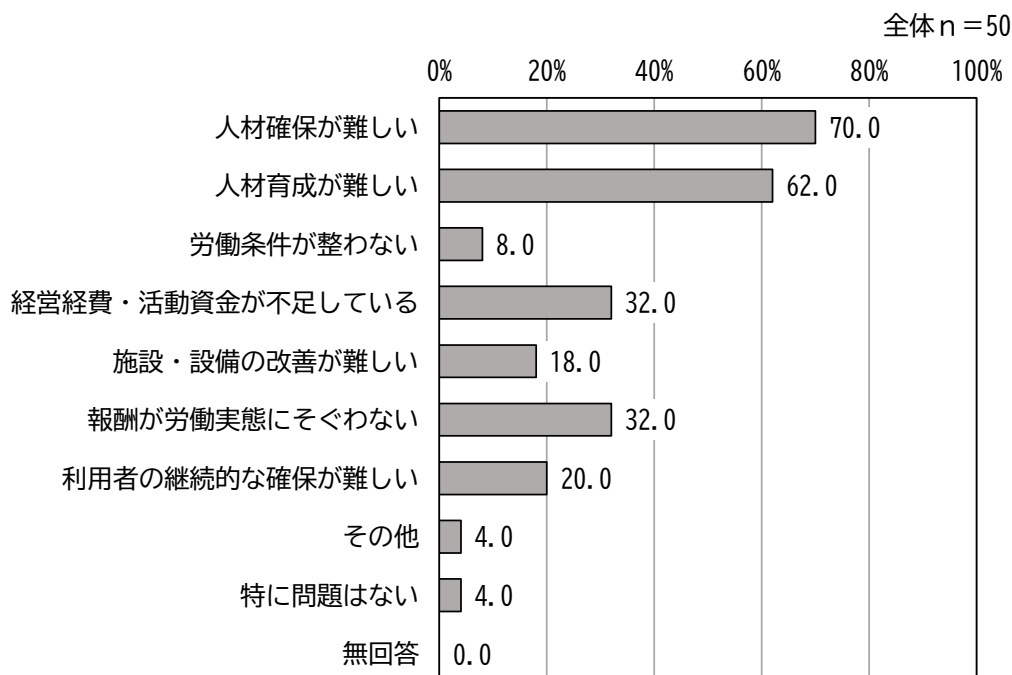
問3 現在のサービス提供体制において、従業員の配置状況はどのように感じていますか。(○は1つ)

現在の従業員の配置状況については、「やや不足している(44.0%)」、「不足している(12.0%)」を合わせた『不足している(計)』が56.0%となっています。また「過不足なく適当である」が44.0%となっています。



問4 貴事業所の運営に関する問題はどのようなことがありますか。(○はいくつでも)

貴事業所の運営に関する問題については、「人材確保が難しい」が70.0%と最も多く、次いで、「人材育成が難しい」が62.0%、「経営経費・活動資金が不足している」、「報酬が労働実態にそぐわない」がともに32.0%となっています。



IV. 事業所調査結果

【問4で「人材確保が難しい」と回答した方のみ】

問4-1 人材確保について、どのような課題がありますか。(〇はいくつでも)

人材確保の課題については、「一定の技術を持つ人材の確保が難しい」が23件と最も多く、次いで、「夜間や朝夕など人材の確保が難しい時間帯がある」が11件、「新規学卒者の確保が難しい」、「転職や退職が多く、人材の定着が難しい」がともに10件となっています。

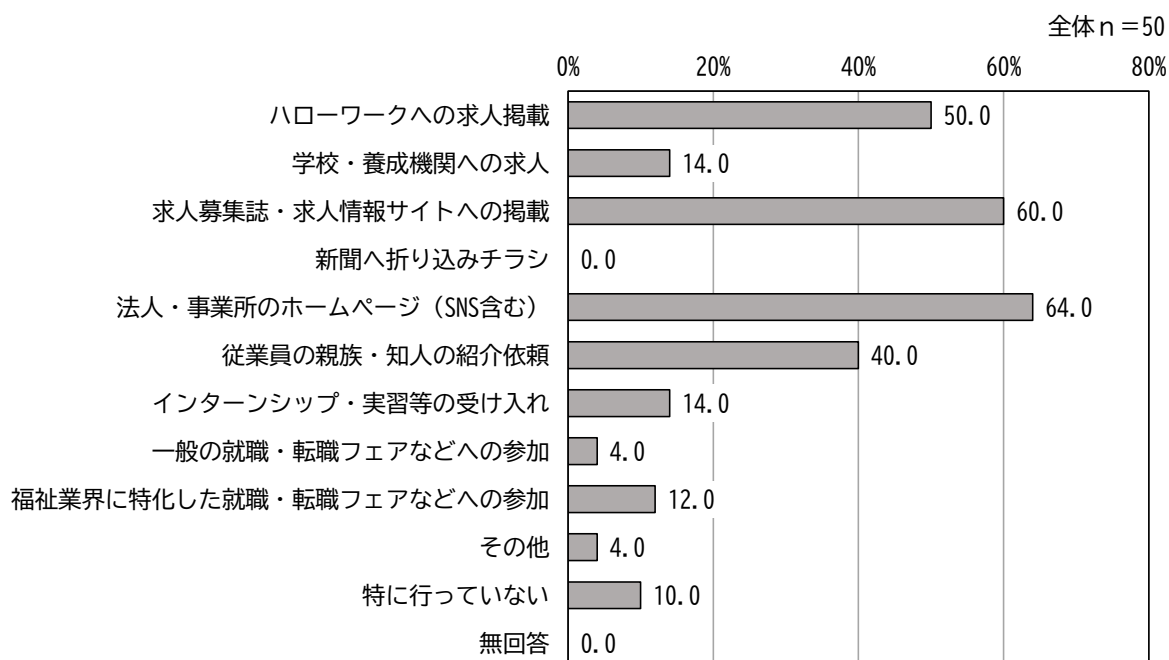
項目	度数	比率
新規学卒者の確保が難しい	10	28.6%
一定の技術を持つ人材の確保が難しい	23	65.7%
夜間や朝夕など人材の確保が難しい時間帯がある	11	31.4%
特定の職種の確保が難しい	9	25.7%
転職や退職が多く、人材の定着が難しい	10	28.6%
その他	2	5.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	35	
非該当	15	
合計	50	

※件数が少数のためグラフを省略します。

問5 人材確保のため、何か取組はしていますか。また、取組を行っている場合、最も効果があったと感じる取組をお答えください。(〇はいくつでも)

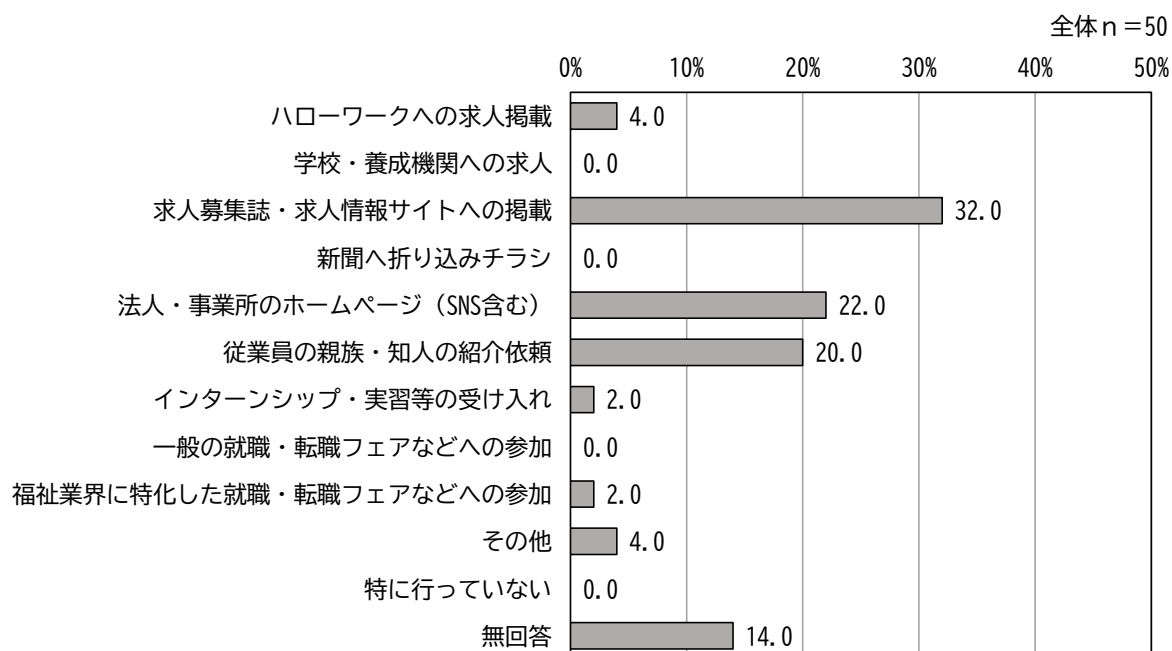
〇行っている取組

人材確保のための取組、また、取組を行っている場合、最も効果があったと感じる取組については、「法人・事業所のホームページ（SNS含む）」が64.0%と最も多く、次いで、「求人募集誌・求人情報サイトへの掲載」が60.0%、「ハローワークへの求人掲載」が50.0%となっています。



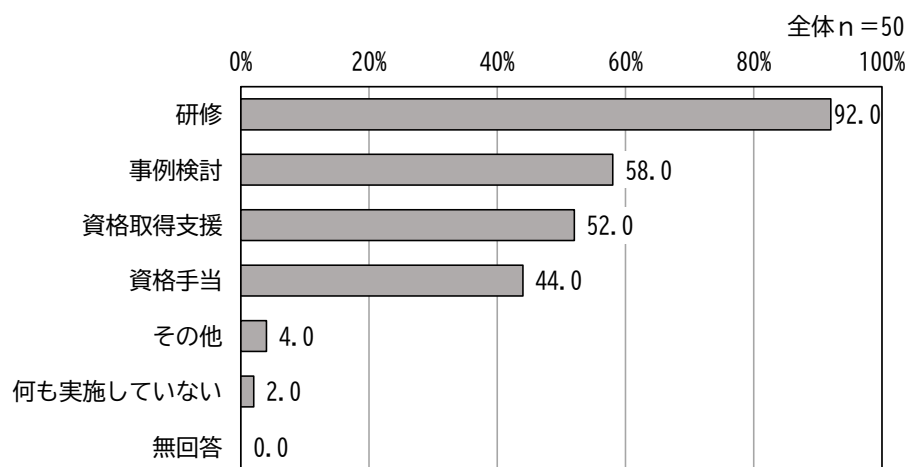
○最も効果があったと感じる取組

最も効果があったと感じる取組については、「求人募集誌・求人情報サイトへの掲載」が32.0%と最も多く、次いで、「法人・事業所のホームページ（SNS含む）」が22.0%、「従業員の親族・知人の紹介依頼」が20.0%となっています。



問6 人材育成について、人材の質の向上や処遇の改善のために取り組んでいることがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

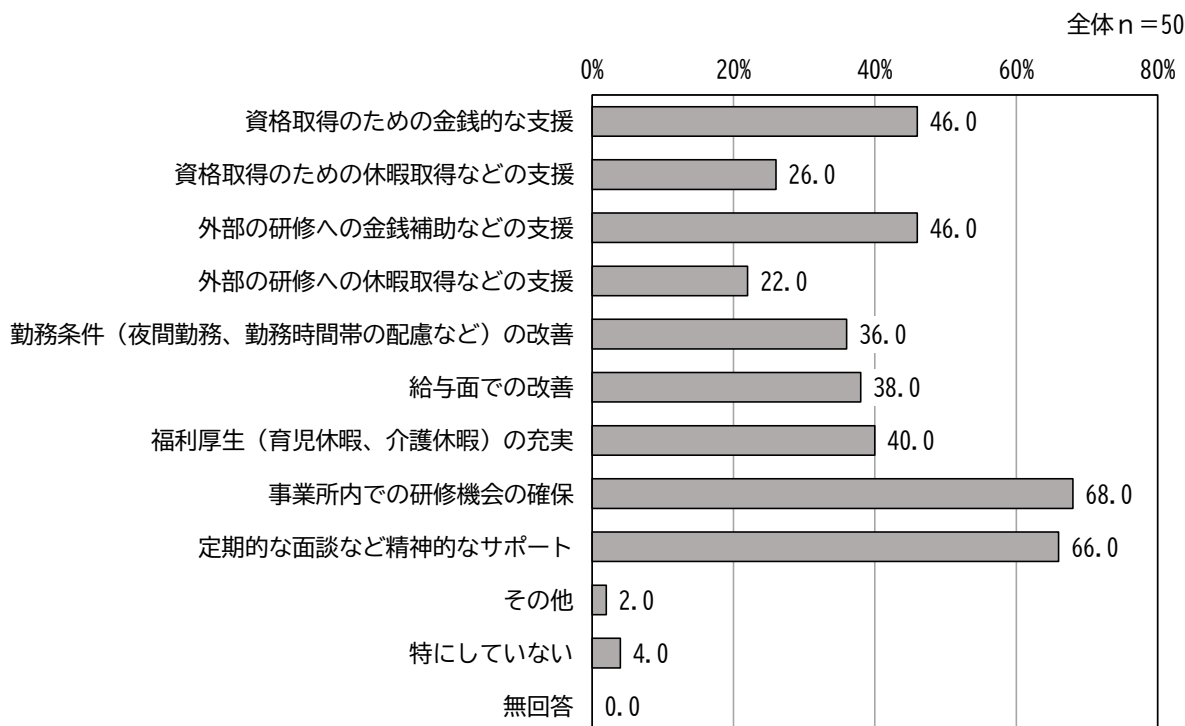
人材育成について、人材の質の向上や処遇の改善のために取り組んでいることについては、「研修」が92.0%と最も多く、次いで、「事例検討」が58.0%、「資格取得支援」が52.0%となっています。



IV. 事業所調査結果

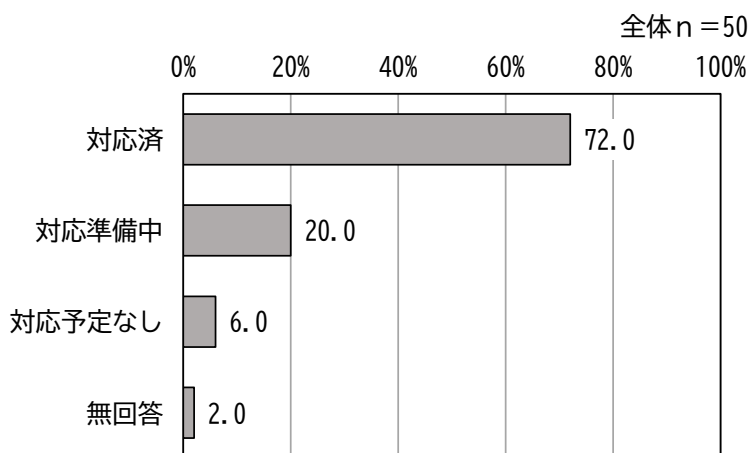
問7 職場定着のための取組はどのように行っていますか。(〇はいくつでも)

職場定着のための取組については、「事業所内での研修機会の確保」が 68.0%と最も多く、次いで、「定期的な面談など精神的なサポート」が 66.0%、「資格取得のための金銭的な支援」、「外部の研修への金銭補助などの支援」がともに 46.0%となっています。



問8 個人情報を含んだデータの取扱いについて、業務マニュアルの作成や、情報漏えい時の連絡体制の整備などの対応はできていますか。(〇は1つ)

個人情報を含んだデータの取扱いについて、業務マニュアルの作成や、情報漏えい時の連絡体制の整備などの対応はできているかについては、「対応済」が 72.0%と最も多く、次いで、「対応準備中」が 20.0%、「対応予定なし」が 6.0%となっています。



問9 サービスを提供する際、以下の機関との連携状況はいかがですか。(それぞれ〇は1つ)

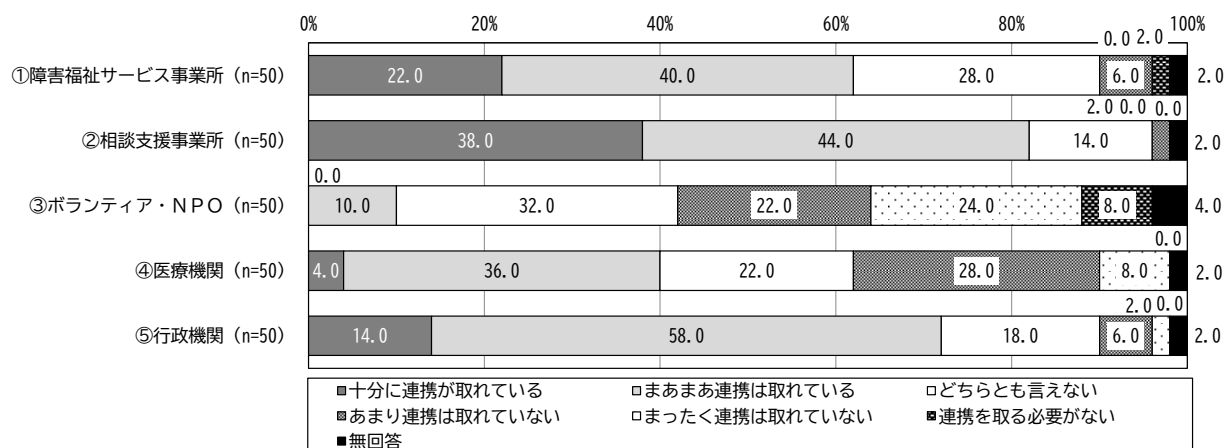
サービスを提供する際の機関との連携状況について、「①障害福祉サービス事業所」では、『まあまあ連携は取れている』が 40.0%と最も多く、次いで、『どちらとも言えない』が 28.0%、『十分に連携が取れている』が 22.0%となっています。

「②相談支援事業所」では、『まあまあ連携は取れている』が 44.0%と最も多く、次いで、『十分に連携が取れている』が 38.0%、『どちらとも言えない』が 14.0%となっています。

「③ボランティア・NPO」では、『どちらとも言えない』が 32.0%と最も多く、次いで、『まったく連携は取れていない』が 24.0%、『あまり連携は取れていない』が 22.0%となっています。

「④医療機関」では、『まあまあ連携は取れている』が 36.0%と最も多く、次いで、『あまり連携は取れていない』が 28.0%、『どちらとも言えない』が 22.0%となっています。

「⑤行政機関」では、『まあまあ連携は取れている』が 58.0%と最も多く、次いで、『どちらとも言えない』が 18.0%、『十分に連携が取れている』が 14.0%となっています。



IV. 事業所調査結果

問 10 年間に実施する市民対象のイベント、講習会、講演会などあれば記載してください。(例) ○月
見学会

- 10月、ふれあいマルシェ（朝霞市障害者ふれあいセンターの祭り）
- 11月、はあとぴあふれあい祭り。
- 3月見学会。
- 5・6・10・11・12・1・2月に園庭開放。1月に見学体験会。
- 5月～11月実施。子育て応援イベント。
- 8月、障害者の就労について。3月、権利擁護について（親亡き後・成年後見制度）。
- 8月彩夏祭、11月おやちあい村、12月イルミネーション。
- 8月障害者の就労について。3月権利擁護について（親亡き後、成年後見制度）。
- なかよしぱあく講座（育児講座を土曜日に実施し、父も参加できるようにしている）。
- 元気キッズフェス。
- 手話講習会・朝霞市日本手話言語条例講演会・手話体験会・要約筆記体験会。
- 随時、見学。夏、夏祭り
- 毎年、11月頃に地域連携推進会議を開催している。
- 利用者・利用者の知り合いが対象のイベントは、年2～3回程度。

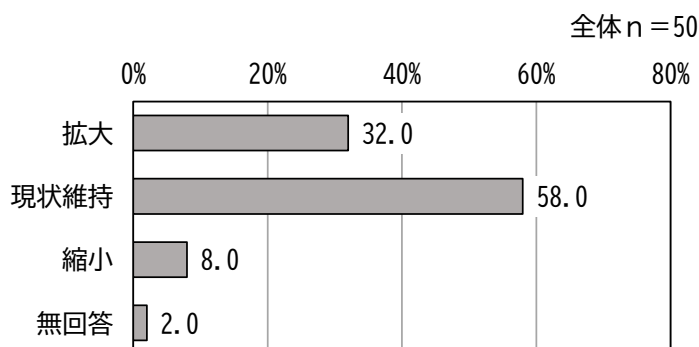
問 11 朝霞市で開設した理由を教えてください。

○抜粋

- 朝霞市の指定管理事業のため。
- 朝霞市近隣のため。
- 物件があったから。
- 法人の拠点が朝霞市。
- 利用希望者に朝霞市民が多かった。当時希望する施設がなかったから。
- 市からの委託業務。
- 開設当時、精神障害者の通所施設が朝霞駅周辺に少なかったため。
- 協力者が多く居住していたため。

問 12 今後の事業方針を教えてください。(○は1つ)

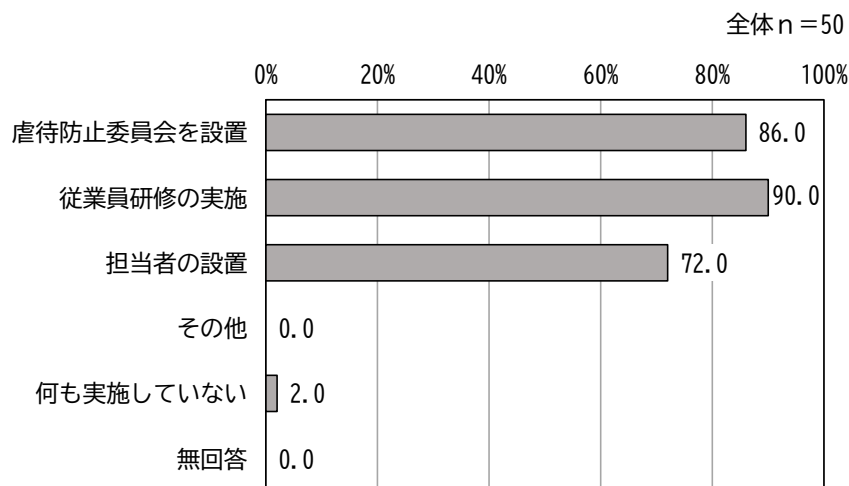
今後の事業方針については、「現状維持」が58.0%と最も多く、次いで、「拡大」が32.0%、「縮小」が8.0%となっています。



4 虐待防止の取り組みについて

問 13 利用者の人権確保の体制についてお答えください。(〇はいくつでも)

利用者の人権確保の体制については、「従業員研修の実施」が 90.0%と最も多く、次いで、「虐待防止委員会を設置」が 86.0%、「担当者の設置」が 72.0%となっています。

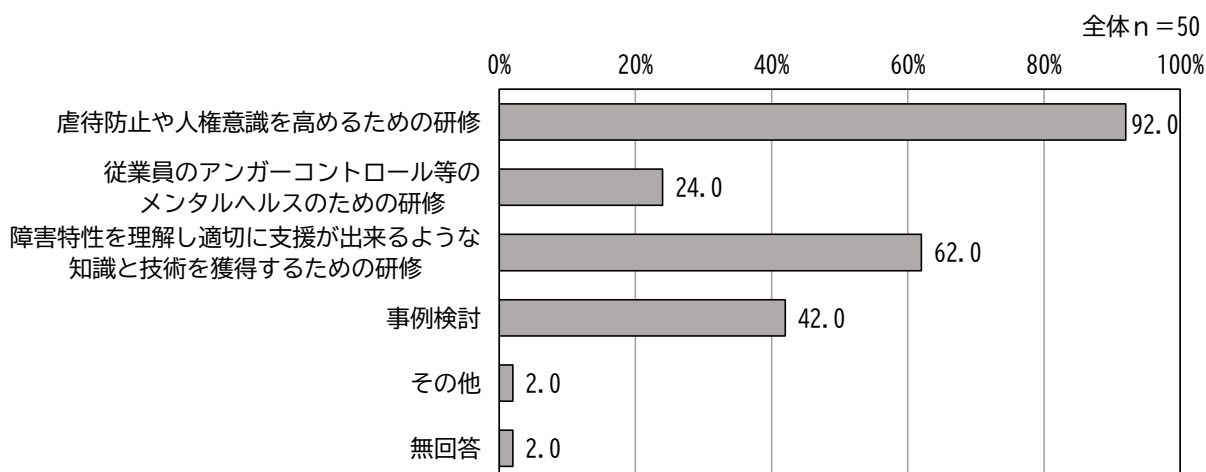


問 14 事業所内でのハラスメント防止のために取り組んでいることがあれば教えてください。

- ハラスメント防止に関する規程の作成、ハラスメント相談窓口の設置【法人】、研修受講
- 要綱、規程類の掲示。毎年1回以上の研修。ストレスチェック導入。
- マニュアルを作成し、窓口を設置している。
- 危険な発言をしそうな職員には目を光らせることと、研修を実施しています。
- 研修の受講、伝達研修の実施。
- 相談窓口の掲示。

問 15 事業所内の従業員への虐待防止研修の実施状況についてお聞きします。令和6年度に事業所内で従業員向けに実施した研修の内容は次のどれですか。(〇はいくつでも) ※法人単位で実施した場合は、事業所内の受講状況を入力してください。

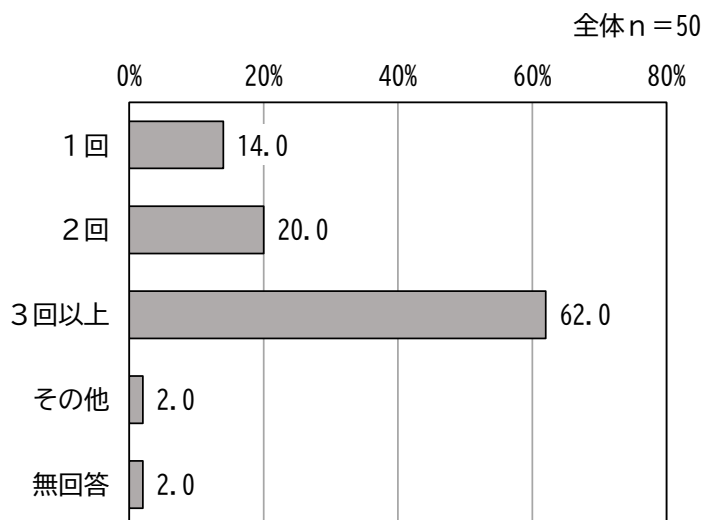
令和6年度に事業所内で従業員向けに実施した研修の内容については、「虐待防止や人権意識を高めるための研修」が 92.0%と最も多く、次いで、「障害特性を理解し適切に支援が出来るような知識と技術を獲得するための研修」が 62.0%、「事例検討」が 42.0%となっています。



IV. 事業所調査結果

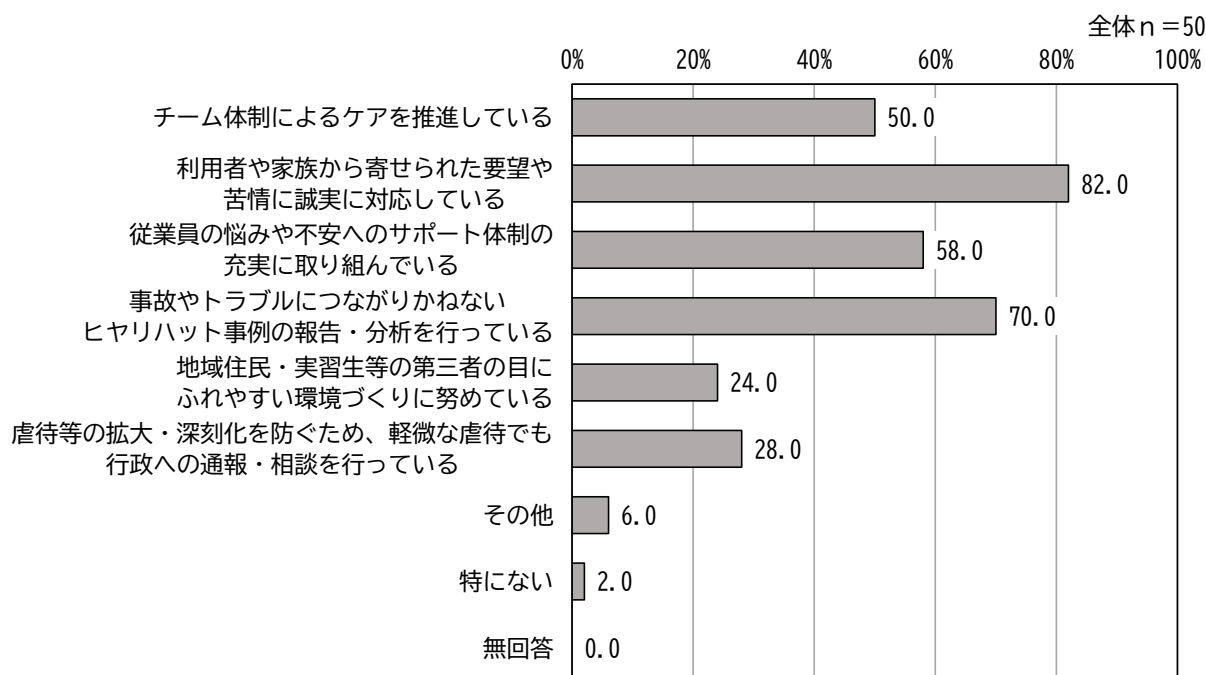
問 16 令和6年度の従業員全員（非常勤を含む）を対象とした研修の実施回数を教えてください。（○は1つ）

令和6年度の従業員全員（非常勤を含む）を対象とした研修の実施回数については、「3回以上」が62.0%と最も多く、次いで、「2回」が20.0%、「1回」が14.0%となっています。



問 17 従業員による利用者への虐待・ハラスメントの防止など、利用者の権利擁護について、取り組んでいることは何ですか。（○はいくつでも）

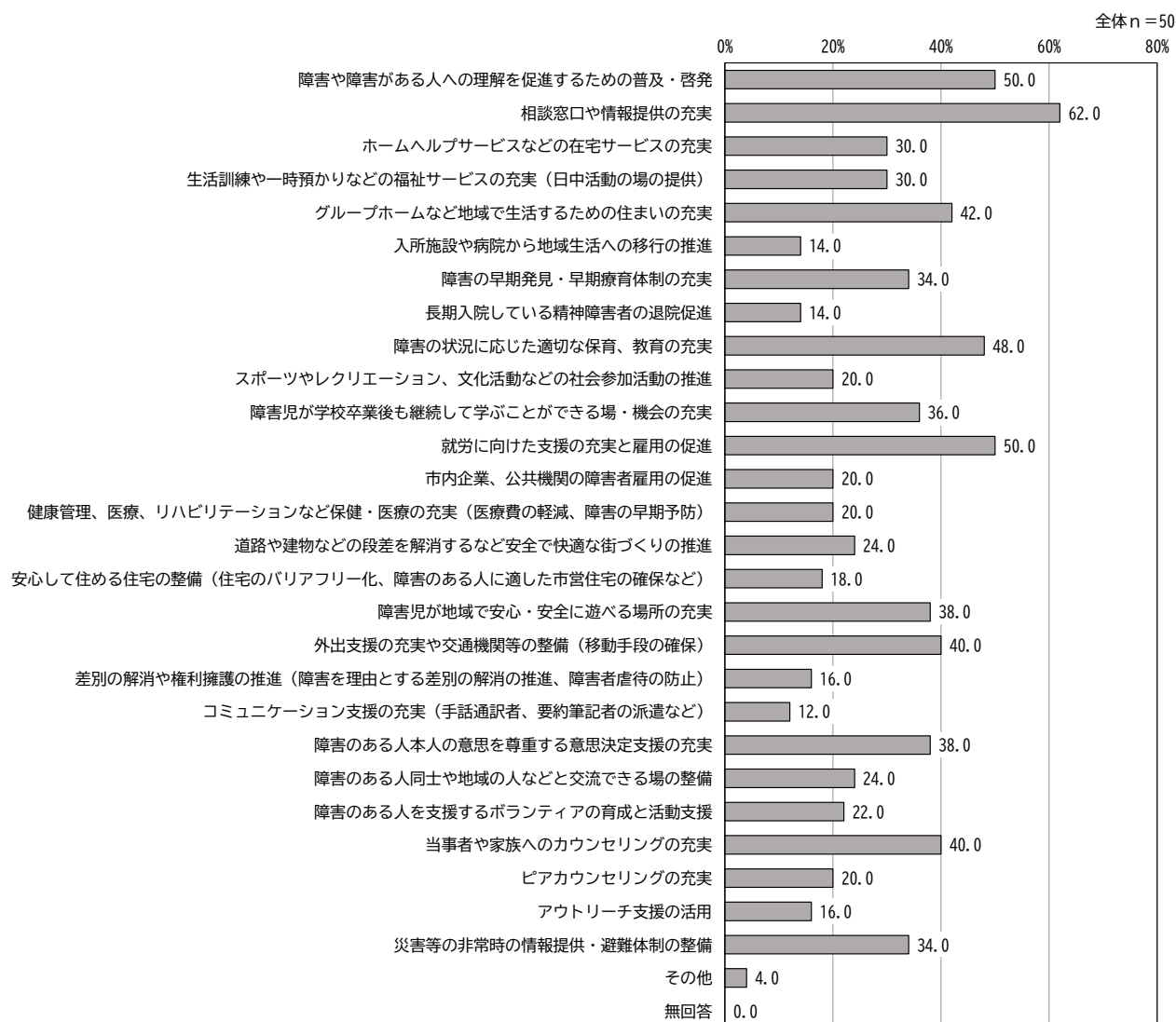
利用者の権利擁護について、取り組んでいることについては、「利用者や家族から寄せられた要望や苦情に誠実に対応している」が82.0%と最も多く、次いで、「事故やトラブルにつながりかねないヒヤリハット事例の報告・分析を行っている」が70.0%、「従業員の悩みや不安へのサポート体制の充実に取り組んでいる」が58.0%となっています。



5 障害のある人・障害のある児童への支援について

問 18 今後、障害福祉を充実させるために、朝霞市がどのようなことに力を入れていく必要があると思われますか。（〇はいくつでも）

今後、障害福祉を充実させるために、朝霞市がどのようなことに力を入れていく必要があるかについては、「相談窓口や情報提供の充実」が 62.0%と最も多く、次いで、「障害や障害がある人への理解を促進するための普及・啓発」、「就労に向けた支援の充実と雇用の促進」がともに 50.0%となっています。



問 19 問 18 で〇をつけたもののうち、実施してほしい具体策等があればご記入ください。

■相談支援体制の充実：委託相談支援事業所を増やす。病院と連携し、医療的ケア児の地域での受け入れの場（一時預かり、短期入所等）。障害児の短期入所。障害児に理解のある医療（遠くの病院まで行っている人が多い）。放課後等デイサービスの不足の解消。医療的ケアのある障害者に対しての協議の場。ヘルパー事業所に対しての研修の場（個別で動くことが多いため質の向上が難しいため）。

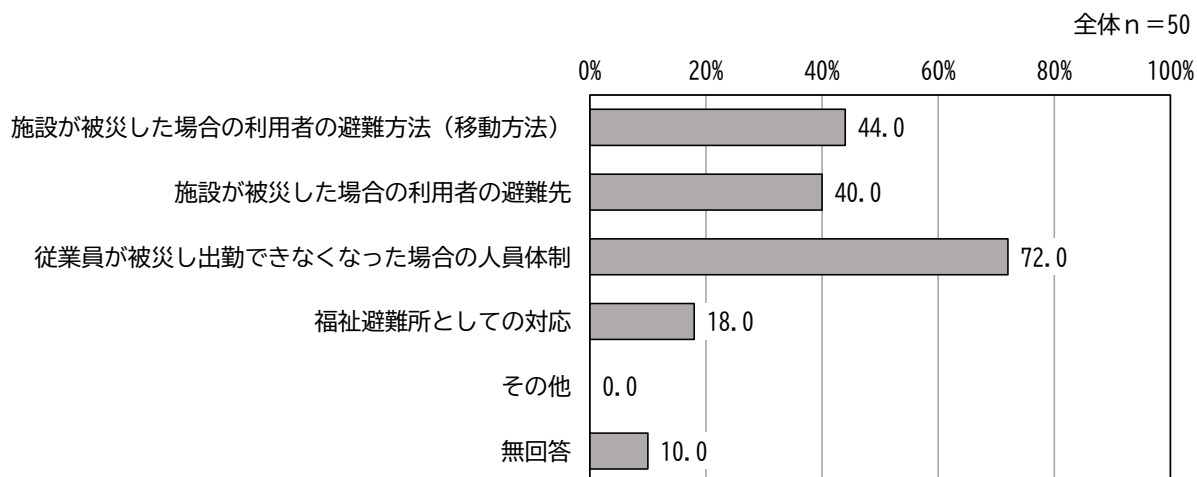
IV. 事業所調査結果

- 10. スポーツやレクリエーション。年に1回のスポーツ大会も縮小傾向にあり、参加しにくい現状に、参加者も少なくなっているように見えます。陶芸教室も、誰を対象にしているのか？と疑問になるような日時設定でした。1回を逃したら来年まで無いような大きなイベントとは別に、日常楽しめる活動を考えてほしい。以前社協でやっていた、月に1度のスポーツレクは、楽しく参加されている方たちがたくさんいましたが、それもなくなってしまいました。市や、市の直属が率先してレクリエーションの機会を作ってほしい。
- 移動支援事業の拡充。事業所が少ないこと、もしくは人材不足のためか、中々見つからない。
- 現場で支援する上で、思うことは幼少期から親と子への適切な保育・教育（親への子育てをする上での教育的支援、小学校中学校の期間に適切な思考形成を促進できる環境として専門家によるカウンセリング（依存トラウマ愛着など思考のゆがみの解消）が重要だと実感します。幼少期～小学校～中学校～高校と人格形成する上で家庭環境経験が大きくな影響が生じます。親への愛着、愛情不足、親自身は子供の障害に対する知識や対応ができず、人格形成される時期に適切な保育教育が難しく成長して直面する課題は、精神的社会的に側面にわたって複雑かつ深刻です。現場で利用者の親子関係を観察していると幼少期から外部機関の適切なカウンセリングがあれば、不安や自己肯定感の低さ対人関係の困難さなどは複雑化しなかったのではないかと考察します。また障害の多様化複雑さの原因は環境が大きく影響しているのではないかと現場に入り、利用者保護者と面談すると推測されます。親自身への子育てのストレスを軽減させ、相談を受け聞くだけではなく、幼少期から小学校中学校高校となる段階ごとに発展性を持たせ実践的かつ具体的に子供への接し方を助言したり、療育とは異なり親へのカウンセリング等サポート機関があればと思います。早い段階での支援介入が効果的だと考えます。世代間連鎖リスクもあり、専門的なカウンセリングを継続的に支援介入が行えるサービスが必要ではないでしょうか。
- 処遇を上げていただければ、自事業所でできることもありそうだな、と思いますが、強いて言うなら11と17に力を入れたい気持ちです。
- 障がい児・者が生活し慣れた地域での就労の機会が増えて安心して過ごせると良いと思います。
- 障害児が安全に遊べる場所。
- 障害特性からくる不登校の利用者さんも増えています。その方たちへのアウトリーチ的な支援があればと思います。
- 親亡き後を想定して、不安を募らせるご家族への支援。
- 相談窓口や情報提供の充実。
- 母子手帳交付時に、胎児期に何かあった時の問い合わせサポート先（公設、民間も含めて）を案内する。妊娠中に医療機関と家庭だけで考えるのではなく地域で家族をバックアップしていく仕組みづくり。（産まれる前から子育ては始まっています）相談員不足でセルフプランが多い幼児期に、その家庭の状況やお子さんの様子を見立てながら、必要なところに繋いでいく利用者支援事業（当センターが子育て支援センターの業務の範疇を超えて行っています）保育課と障害福祉課、保健センターの連携でこの現状をきちんと把握し、事業化してほしい。

6 災害時の対応について

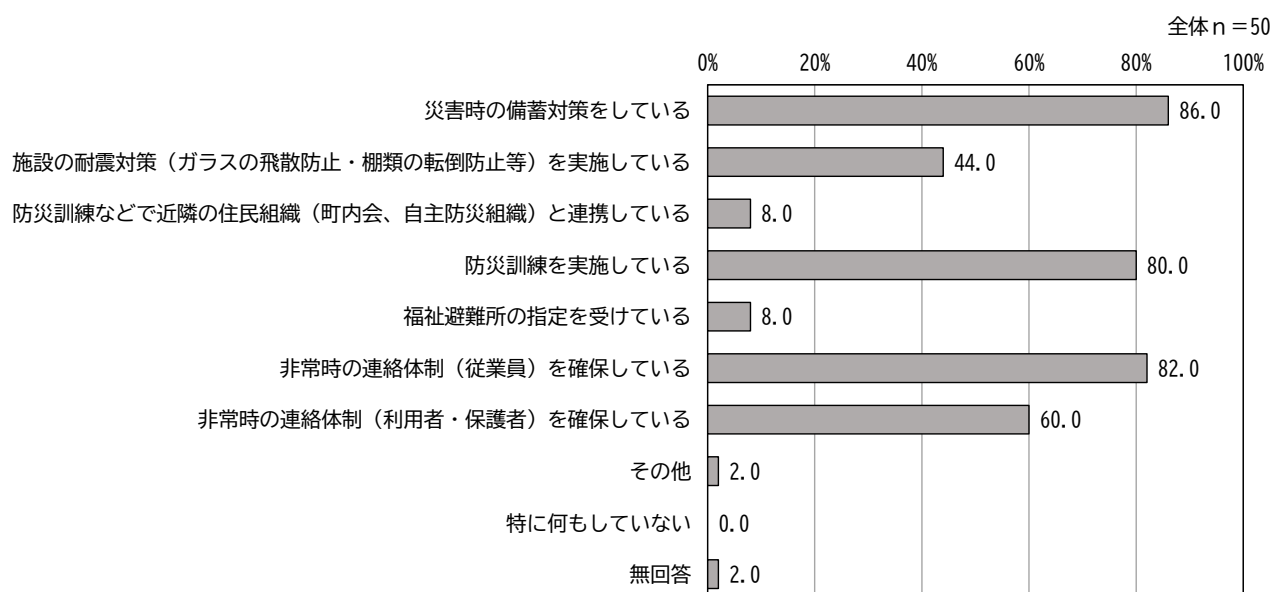
問 20 災害時の対応で心配なことはありますか。(○はいくつでも)

災害時の対応で心配なことについては、「従業員が被災し出勤できなくなった場合の人員体制」が 72.0%と最も多く、次いで、「施設が被災した場合の利用者の避難方法（移動方法）」が 44.0%、「施設が被災した場合の利用者の避難先」が 40.0%となっています。



問 21 災害時の対策として実施・計画しているものを記入して下さい。(○はいくつでも)

災害時の対策として実施・計画しているものについては、「災害時の備蓄対策をしている」が 86.0%と最も多く、次いで、「非常時の連絡体制（従業員）を確保している」が 82.0%、「防災訓練を実施している」が 80.0%となっています。



IV. 事業所調査結果

朝霞市の障害福祉施策について、ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

- 生活サポート・移動支援事業について、需要の多さに対応できる事業所の少なさを痛感しています。特に車両での送迎は当事業所でも対応しきれておりません。障害のある方々の選択の優先順位として介護給付等があり、対応できないものを生活サポート事業で補うということになります。が、車両を使用しての送迎の場合、一般のタクシーを利用するにはハードルが高く、介護タクシーでは高額になってしまうなどの問題があり、補助金により低額で利用できる生活サポートを希望されるのだと思われます。そのため利用希望はとて多く、近隣の登録事業所はどこも新規は受けられない状況です。利用される方にはメリットのある制度でも、対応する事業所にとっては苦しいところです。これだけの需要があるにもかかわらず、撤退する事業所もある現状を把握し、安定して事業を継続できる手立てはないか考えてほしい。障害を持って生まれてきたお子さんがいる家庭に、どんな福祉サービスがあり、ケースによって受けられる補助金はなにかなど、自ら進んで情報を得ることができない家庭もあります。先輩保護者から情報をいただけることもありますが、まだそのような関係性が作れていない保護者にとって、こちらから聞かないと教えてくれない、知った時には請求期限が過ぎていて対応できないといわれた保護者にとって市役所の窓口は、「親切じゃない場所」になってしまいます。出生時から保健センター等で把握できている家庭にはせめて、早い段階で情報提供をしてほしい。
- 朝霞市として、障害福祉、障害のある子を育てる家庭に対して、どのようなビジョンがあるのかが全くわかりません。特に障害のあるお子さんに関しては、そのお子さん(家庭)にとって適正な福祉サービスは何かをきちんと伝えることができていないままサービスに繋がっているケースも多いです。お子さんが大変だからサービスを増やす、という単純な考えではなく、何が大変にさせているのかの背景も整理していかないとお子さんはずっと大変なまま大きくなるケースもあります。子育て支援センターで乳児期から見ていると、お子さんの発達の悩み、子育ての困難さを吐露する一番身近な場所であると感じます。福祉サービスに繋がる前を支えるケースも多いです。関係機関に繋いでいますが、縦割り行政でうまくいかないケースが多いです。虐待は未然に防いでいる数は数値として上がりません。必死に瀬戸際で未然に防いでいる現場の声を聞いて、何が必要なのか考えていただきたいです。
- 朝霞市の障害福祉施策について、地域自立支援協議会での議論が、実際の市の施策や予算措置に十分に反映されていないと感じています。近隣の志木市では、自立支援協議会が地域の課題を吸い上げ、それを行政が具体的な施策としてスピーディーに実行に移すサイクルが機能していると聞いています。志木市のように「協議会」と「行政(施策)」が車の両輪として一体化していなければ、現場の課題はいつまでも改善されません。現在の朝霞市は、協議会が開催されているものの、そこで出された意見が施策決定の場に届いていない、あるいは連携が形式的になっている印象を受けます。今後は、協議会からの提言を市の障害福祉計画へ直結させる仕組みを強化し、実効性のある体制づくりをお願い致します。
- 特別支援学校を卒業後、就労先から早い時間に帰って来てしまい、家庭と就労先しか居場所がない子が多い。放デイのような夕方、預かったり、余暇活動ができる支援があると良い。就労を続けられなかったり短縮せざるをえない親御さんがいる。
- 幼児期から就労に至るまで、切れ目のない支援を実施していくために、縦の繋がりも大事にできたら良いと思います。

V. 団体調査結果

1 団体の概要について

問1 令和7年11月1日現在の貴団体についてご記入ください。

①事業所名

②設立年

設立年については、「1990年代」が3件と最も多く、次いで「2000年代」、「2010年以降」がそれぞれ2件となっています。

項目	度数	構成比
1990年代以前	3	37.5%
2000年代	2	25.0%
2010年以降	2	25.0%
無回答	1	12.5%
合計	8	100.0%

※件数が少数のためグラフ省略（以下同様）

③対象の障害

対象の障害については、「身体」、「精神」がそれぞれ4件と最も多く、次いで、「障害のある児童」が3件となっています。

項目	度数	比率
身体	4	50.0%
知的	2	25.0%
精神	4	50.0%
難病	1	12.5%
障害のある児童	3	37.5%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	8	

④会員数の状況

No	男性会員	女性会員	全体
1	5	17	22
2	1	9	10
3	7	21	28
4	27	18	45
5	4	6	10
6	11	12	23
7	1	10	11
8	3	4	7

2 団体の活動について

問2 貴団体の活動目的は何ですか。(〇はいくつでも)

活動目的については、「障害者理解」、「情報交換」がともに7件と最も多く、次いで、「自立生活」、「社会参加」がともに5件となっています。

項目	度数	比率
自立生活	5	62.5%
社会参加	5	62.5%
障害者理解	7	87.5%
情報交換	7	87.5%
文化活動	1	12.5%
その他	1	12.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	8	

問3 活動するうえで困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

活動するうえで困っていることについては、「団体の運営に携わる人材の確保」が8件と最も多く、次いで、「後継者問題」が6件、「ネットワークづくり」が4件となっています。

項目	度数	比率
事業の企画	0	0.0%
運営方法	0	0.0%
活動場所の確保	1	12.5%
会員の意識	3	37.5%
後継者問題	6	75.0%
社会の理解不足	1	12.5%
ネットワークづくり	4	50.0%
財政問題	2	25.0%
団体の運営に携わる人材の確保	8	100.0%
その他	0	0.0%
特になし	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	8	

V. 団体調査結果

問4 具体的な活動内容を教えてください。

- 毎月第二火曜日、「北海道べてるの家」とリモートで繋がり、講師向谷地宜明先生を迎えて当事者研究をして、その後、茶話会をしている。家族の相談も受けている。年に1～2回、向谷地宜明先生を向え、講演会や懇親会をしている。月に1回、当事者が、ピアサポートと一緒に自助グループを作って会合をしたり、町のイベントに参加したり、朗読会をしたりカラオケをしている。
- 朝霞市障害者自立支援協議会への参加。市内保育園の医療的ケア児受入ガイドラインの意見書作成。県議会（会派）への医療的ケア児支援の政策要望。
- 高次脳機能障害地域相談会。青空会（家族会）での交流、情報交換。
- 障害者の社会参加促進のため、社会見学として旅行を実施し、会員同士の交流で情報交換、季節ごとの行事の実施。施設見学の実施。
- 引きこもり支援。地域活動支援センター事業。ホームページの情報発信。ピアサポーター促進事業。相談支援事業所事業。
- 会員同士の情報交換・交流。講演会、新年会、レクなどの企画。手話指導（小学校、講習会など）
- 福祉サービス事業：生活介護事業所なかよしふえ、移動支援、生活サポート事業なかよしぴらす。子育て支援事業：朝霞市子育て支援センターおもちゃ図書館なかよしぱあく。子育て支援事業なかよしてらす。
- 会員同士の親睦会、生活の困りごと相談

問5 過去1年間で会員数の増減はありましたか。（○は1つ）

過去1年間で会員数の増減については、「増えた」、「やや増えた」を合わせた『増えた』が4件に対し、「やや減った」、「かなり減った」を合わせた『減った』が3件となっています。また、「かわらない」が1件となっています。

項目	度数	構成比
増えた	1	12.5%
やや増えた	3	37.5%
かわらない	1	12.5%
やや減った	2	25.0%
かなり減った	1	12.5%
無回答	0	0.0%
合計	8	100.0%

問6 会員を増やすために行っている取り組みがあれば教えてください。

- 講演会を広報したり、イベントに参加したり、新年会、忘年会をしている。朗読会も今年は開催して良かった。
- 相談会の新規参加者に、青空会を説明し、理解してもらう。
- 障害児者のいらっしゃる方へ行事を行う際に声かけをして誘っています。
- 事業活動中に法人の活動紹介。現理事との個人的紹介。

- 法人内それぞれの事業所では、利用会員さんは年々増えています。NP0の社員（正社員）や理事等に関わって下さる方々を増やす（入れ替わっていただける）ためにも、外とのつながりを増やしていける機会を大事にしています。

問7 貴団体が活動していくうえで市に望むことはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

活動していくうえで市に望むことについては、「活動上必要な情報の提供」が7件と最も多く、次いで、「団体や活動についてのPR」が6件、「会員募集の支援」、「経済的支援」、「他団体とのネットワーク化」、「団体運営上の助言」がそれぞれ4件となっています。

項目	度数	比率
団体や活動についてのPR	6	75.0%
活動上必要な情報の提供	7	87.5%
活動場所の提供	3	37.5%
会員募集の支援	4	50.0%
リーダーの養成支援	3	37.5%
経済的支援	4	50.0%
他団体とのネットワーク化	4	50.0%
団体運営上の助言	3	37.5%
設備・備品の充実	1	12.5%
成果の発表の場の提供	0	0.0%
その他	2	25.0%
特にない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	8	

問8 朝霞市で活動しようと思った理由を教えてください。

- 精神障害者に対しての地域での生活が出来るようにして行くための活動をしようと思ったため。
- 平成28年当時、市内に医療的ケア児の受入可能な保育園が見当たらなかったから。
- 他市の活動に参加したときに、情報を得る場がないと思った。
- 任意団体時は、市には障害児者のための福祉的な行く場所がなかったから、4市守る会で一緒に交流しつつ行ける場所を確保してきました。
- 当初理事は全員朝霞市民で、朝霞市内での保健福祉活動に携わっていたため。
- 「全日本ろうあ連盟」の下部組織として、市町村の自治体の中に協会を作る必要があったため設立された。
- 法人化する以前より、障がいのある子どもたちの活動の場として、サークル活動を始めたのが、朝霞市内在住の保護者によるものだったため、そこから活動（事業として）広げていった。
- 同じ障害を持つ人同士で、会を作ることにより、日常の困りごとや、行政への相談をすることで、日常生活の向上をめざし、社会参加するため。

V. 団体調査結果

問9 会員からは、どのようなサービスを望む声が多いですか。（〇はいくつでも）

会員からは、どのようなサービスを望む声が多いかについては、「日常生活用具給付事業」が4件と最も多く、次いで「共同生活援助」、「計画相談支援」、「相談支援事業（一般的な相談）」、「移動支援事業」、「地域活動支援センター事業」がそれぞれ3件と最も多くなっています

項目	度数	比率
居宅介護	2	25.0%
重度訪問介護	0	0.0%
重度障害者等包括支援	1	12.5%
短期入所	1	12.5%
自立生活援助	2	25.0%
同行援護	2	25.0%
行動援護	2	25.0%
生活介護	1	12.5%
療養介護	0	0.0%
共同生活援助	3	37.5%
施設入所支援	1	12.5%
自立訓練（機能訓練）	1	12.5%
自立訓練（生活訓練）	2	25.0%
就労選択支援	1	12.5%
就労移行支援	1	12.5%
就労継続支援（A型）	1	12.5%
就労継続支援（B型）	1	12.5%
就労定着支援	1	12.5%
計画相談支援	3	37.5%
地域移行支援・地域定着支援	1	12.5%
児童発達支援	1	12.5%
居宅訪問型児童発達支援	0	0.0%
医療型児童発達支援	0	0.0%
放課後等デイサービス	1	12.5%
保育所等訪問支援	0	0.0%
福祉型障害児入所施設	0	0.0%
医療型障害児入所施設	0	0.0%
障害児相談支援	0	0.0%
障害者理解促進研修・啓発事業	1	12.5%
相談支援事業（一般的な相談）	3	37.5%
成年後見制度利用支援事業	1	12.5%
手話通訳者等派遣事業	1	12.5%
要約筆記者派遣事業	1	12.5%
日常生活用具給付事業	4	50.0%
移動支援事業	3	37.5%
地域活動支援センター事業	3	37.5%
日中一時支援事業	2	25.0%
その他	2	25.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	8	

問 10 これから団体として力を入れていきたい活動があれば、具体的にお書きください。

- 医療、他団体等とのネットワークを作り、出来ることを出来るように助け合って地域での生活が回る様な形を作って行きたい。
- 幼稚園における医療的ケア児の受入状況把握を目的とした園長会ヒアリング。
- 高次脳機能障害の理解促進。会員の交流の場の提供。
- 障害児者は社会参加する機会が少ないので、楽しめる行事を提供して社会参加促進につとめたい。(研修旅行、季節の行事)
- 現在の活動の充実と民間業として、引きこもり対策に力を入れたい。
- 令和8年度から予定されている「ろう通訳フィーダー」派遣事業の実績を重ねていく。
- 子育て支援：できる事には限りがあるが、医療ケアが必要なお子さんと保護者さんが安心して来館できる場所であること。一時預かり。生活サポート事業：車両での送迎の他、一時預かり。
- 会員の増加。

3 地域活動について

問 11 普段活動される中で、会員や参加者からどのような日常の困りごと、地域の問題を聞かれますか。具体的にお書きください。

- 親子分離が上手に行く様なシステム作り。退院した後のシステム作り。地域で生活出来るシステム作り。
- 特別支援学校における保護者付き添いの解除目途が立たず、毎日の登校が難しいこと。人工呼吸器を装着する子どもの保育園受入が進まないこと。
- 多種多様な症状があるため、自分の障害をうまく説明できないため、理解してもらうのが難しい。
- 障害者を抱えている方は、他の方との交流がないので、全体会というものを実施し、食事をしながら日頃の困りごとを話し合い、気晴らしをしてもらっています。高齢化が進み、認知症になってお金の管理をしてほしいという人もいます。亡くなる方も多くなり、葬儀の手順等の不安が寄せられています。
- 入院患者（精神障害者）からの退院支援、グループホーム、日中活動場所。
- 行政主催の行事に手話通訳が付いてないこともある。例：防災フェア（危機管理系担当）で手話通訳がついていなかった。筆談で対応しますとのことだが、ろう者が住みやすい社会にしていけるためにも、手話通訳をつけることを今後検討してほしいと伝えた。
- 日常の移動手段、付き添い者の不足。週末の過ごし方、余暇活動を充実させたい。障がいのあるお子さん（特性の強いお子さん）と日常遊びに行ける場所。
- 視覚障害者に関する行政サービスがよく分からない。単独歩行者の安全な移動に関する相談。障害者手帳を取得したばかりの人に対する情報提供がほしい。

4 障害のある人・障害のある児童への支援について

問 12 今後、障害福祉を充実させるために、朝霞市がどのようなことに力を入れていく必要があると思われるか。（〇はいくつでも）

今後、障害福祉を充実させるために、朝霞市が力を入れていく必要があると思うことについては、「障害や障害がある人への理解を促進するための普及・啓発」、「相談窓口や情報提供の充実」、「障害児が地域で安心・安全に遊べる場所の充実」、「外出支援の充実や交通機関等の整備（移動手段の確保）」、「障害のある人を支援するボランティアの育成と活動支援」、「災害等の非常時の情報提供・避難体制の整備」がそれぞれ6件と最も多くなっています。

項目	度数	比率
障害や障害がある人への理解を促進するための普及・啓発	6	75.0%
相談窓口や情報提供の充実	6	75.0%
ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実	4	50.0%
生活訓練や一時預かりなどの福祉サービスの充実（日中活動の場の提供）	4	50.0%
グループホームなど地域で生活するための住まいの充実	5	62.5%
入所施設や病院から地域生活への移行の推進	3	37.5%
障害の早期発見・早期療育体制の充実	5	62.5%
長期入院している精神障害者の退院促進	2	25.0%
障害の状況に応じた適切な保育、教育の充実	5	62.5%
スポーツやレクリエーション、文化活動などの社会参加活動の推進	4	50.0%
障害児が学校卒業後も継続して学ぶことができる場・機会の充実	4	50.0%
就労に向けた支援の充実と雇用の促進	5	62.5%
市内企業、公共機関の障害者雇用の促進	4	50.0%
健康管理、医療、リハビリテーションなど保健・医療の充実（医療費の軽減、障害の早期予防）	5	62.5%
道路や建物などの段差を解消するなど安全で快適な街づくりの推進	4	50.0%
安心して住める住宅の整備（住宅のバリアフリー化、障害のある人に適した市営住宅の確保など）	5	62.5%
障害児が地域で安心・安全に遊べる場所の充実	6	75.0%
外出支援の充実や交通機関等の整備（移動手段の確保）	6	75.0%
差別の解消や権利擁護の推進（障害を理由とする差別の解消の推進、障害者虐待の防止）	5	62.5%
コミュニケーション支援の充実（手話通訳者、要約筆記者の派遣など）	4	50.0%
障害のある人本人の意思を尊重する意思決定支援の充実	5	62.5%
障害のある人同士や地域の人などと交流できる場の整備	5	62.5%
障害のある人を支援するボランティアの育成と活動支援	6	75.0%
当事者や家族へのカウンセリングの充実	5	62.5%
ピアカウンセリングの充実	4	50.0%
アウトリーチ支援の活用	4	50.0%
災害等の非常時の情報提供・避難体制の整備	6	75.0%
その他	1	12.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	8	

問 13 問 12 で○をつけたもののうち、実施してほしい具体策等があればご記入ください。

- 最低賃金又は以上で働ける場所を作してほしい。
- 朝霞市ホームページ上での情報公開。2021 年に実施した医療的ケアに係る調査（障害福祉課実施）の公開。市内保育園、幼稚園、小学校の医療的ケア児受入状況の公開。
- 選択肢 24「当事者や家族へのカウンセリングの充実」で、医療行政の知識を持った方の派遣。
- ほとんどの項目が充実できたら素晴らしいですが、選択肢「生活訓練や一時預かりなどの福祉サービスの充実（日中活動の場の提供）」、「グループホームなど地域で生活するための住まいの充実」、「道路や建物などの段差を解消するなど安全で快適な街づくりの推進」、「安心して住める住宅の整備（住宅のバリアフリー化、障害のある人に適した市営住宅の確保など）」、「差別の解消や権利擁護の推進（障害を理由とする差別の解消の推進、障害者虐待の防止）」、「障害のある人本人の意思を尊重する意思決定支援の充実」、「障害のある人を支援するボランティアの育成と活動支援」、「災害等の非常時の情報提供・避難体制の整備」を優先してほしいです。
- 精神障害者の地域移行を実践するサービス提供機関の充実。
- 新生児スクリーニング検査（病院で新生児に聴覚障害があるかどうかの簡易的な検査）の補助を行い、そこで早期発見された聴覚障害児の支援を行政として一本化して、福祉、療育、保健などと連携して支援する体制づくり。ロールモデルとして、ろう者の成人が保護者と会ってカウンセリングなど支援する。アメリカではそのようなモデルがある。
- ⑤グループホームは市内にも少しずつ出来てきてはいるが。身体障害の方が、受け入れてもらえないケースも多い。地域のグループホームでケアを受けながら暮らせる環境を望まれる方が多いので、作って欲しい。⑨育成枠で保育園に入る場合、加配職員が決まらず、何ヶ月も待たされる場合もある。早い段階で配置できないか。⑩レクレーションや文化活動は、年に1回とかではなく、日常の活動として、できることを考えてほしい。

朝霞市の障害福祉施策について、ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。
--

- 収集するアンケートの内容が、福祉計画のどの部分に反映したのか、調査～策定までの流れがわかるような建付けにしてほしい。福祉計画を読む人に、内容が伝わる見せ方にしてほしいです。
- 老人ホームがあるので、障害者が安心して休める市営の住宅ができると良いです。インフルエンザへの補助があると良いです。
- 福祉サービスを充実させていくことは、利用される方々にとってはとても有り難い事ではあるが、それを担っている民間の事業所は、事業を維持することも、拡大して行くこともとても大変な事。市からの補助金で利用される方の負担が減ることから利用を希望される方は増えていくが、実際の支援の労力、経費等と報酬が見合わず、事業所としては苦勞が多い。生活サポート事業に関しては、県の施策であるので市としてそれを支える手立てを考えてほしい。計画相談事業に関して。幼少期から児発-放課後デイとつながっていくことが多いため、支援学校卒業後の生活に不安を持たれる方が多い。間近になって、卒業後の通所後や週末の預かり場所を探される方もいます。相談員さんは、将来を見据えた上での現在の生活の立て方を助言してほしい。今、大変だからと、使えるサービスを次々提供することが、相談員の役目ではないと感じている。相談員さんが、数年単位で替わられるので、その都度ゼロからの説明や理解してもらうことも大変です。相談員さんの育成に力を入れてもらいたい。

VI. ヒアリング調査結果

VI. ヒアリング調査結果

年齢 満年齢を教えてください。

ヒアリング回答者の年齢は、「0～9歳」、「50～59歳」がそれぞれ6件と最も多く、次いで「10～19歳」の5件、「30～39歳」の4件となっています。

項目	度数	比率
0～9歳	6	20.0%
10～19歳	5	16.7%
20～29歳	3	10.0%
30～39歳	4	13.3%
40～49歳	2	6.7%
50～59歳	6	20.0%
60～69歳	3	10.0%
70～79歳	1	3.3%
回答者数	30	100.0%

※件数が少数のためグラフ省略（以下同様）

問1 お持ちの障害者手帳の種類を教えてください。

手帳の種類は、「身体障害者手帳」が13件と最も多く、次いで「療育手帳」の12件となっています。

項目	度数	比率
身体障害者手帳	13	43.3%
療育手帳	12	40.0%
精神障害者保健福祉手帳	5	16.7%
持っていない	5	16.7%
回答なし	1	3.3%
回答者数	30	

※重複所持者は複数回答としてカウントしています。

問2 現在利用している障害福祉サービス等を教えてください。

- 日常生活用具。
- 放課後等デイサービス。
- 自立支援医療。
- 就労継続支援 B 型、短期入所。
- 就労継続支援 B 型、GH、居宅介護（通院介助）。
- 就労移行支援。
- 短期入所。
- 就労継続支援 A 型。
- 短期入所、共同生活援助。
- 児童発達支援（訪問リハビリ）。
- 居宅介護、生活介護。
- 短期入所。
- 補装具。
- 就労継続支援 A 型。
- 在宅手当、交通費補助。
- グループホーム。
- 自立支援医療。
- 居宅介護（入浴）、放課後等デイサービス、短期入所。
- 居宅介護、生活介護、短期入所。
- 放デイ、移動支援。
- 児童発達支援、短期入所。
- 居宅介護、短期入所。
- 自立訓練（生活訓練）。
- 児童発達支援。
- 生活介護、移動支援。
- 就労移行支援。

VI. ヒアリング調査結果

問3 障害福祉サービス等を利用する中で感じていることや、今後どのようにしていきたいかなどを教えてください。

- 常に車いすで移動しており、重度の障害があるが、等級等の制限で私は、障害福祉サービスの利用要件に当てはまりませんでした。もう少し使える範囲が広がれば、著しく重度であったり、難病の方とは異なるけれど、生活上、支援が必要という方やそのご家族の様々な負担や不安の軽減につながるのではないかと思います
- 入りづらい、大変という印象があったが、実際相談等していると、空いている事業所を紹介してくれたり、施設同士で連携をとっているのがわかりとても親切であると感じた。対象児がコミュニケーションをとるのが苦手だが、職員の方が話をささげずに聞いてくれるため本人の発散にもなっている。職員がフィードバック等を行ってくれたり、とりとめのない話から拾ってくれたりするので母子ともにストレスがない状態で支援を受けられている。今後中学に上がることもあり、より大変になると思われるが、相談できる相手がいるだけでとても気が楽。
- 有効活用できており、特に不満はない
- 就労継続支援B型：今の環境に満足している。70歳まで働きたい。●短期入所：職員の対応が厳しい時がある（怖い）。
- 就労継続支援B型：もっと仕事をしたい。職員が良い。●GH：職員の入れ替わりが多い
- 就労した時の疑似体験により、心の準備ができて良い。生活習慣を整えることができて良い
- マンツーマンで対応できるような生活介護があるといい。GHや施設入所を検討している。
- サービスを使用するとき、内容が鉄道模型作りで趣味だったこともあり、楽しく取り組めた。
- 穏やかに過ごせており、今後どのようにしていきたいかはまだ特に思いつかない。
- 訪問リハビリが不足しており、頻度少なくしかいられない。ショートステイの受け入れ先がない。母の出産に合わせて、ショートステイ等での預け先を探している。
- 自宅での生活を目指しており、日中の活動や見守りにサービスを利用したい。
- 地域での生活を続けていきたい。
- 手帳の等級を見直せること。年金申請について、最初の手帳交付の時に案内があれば損をしなかった。一時的にでも説明してくれる仕組みが欲しい
- サービス利用について困ったことはほぼない。コミュニケーションの際、周りの人に聴覚障害についての理解があった。
- 障害者の一人暮らしを支援するための人材派遣など障害者の自立生活支援事業を充実させてほしいです。
- グループホームは食事以外は自由に過ごすことができ居心地がいい。
- デイケアに行くことで外出の目的ができ、良いサイクルが生まれている。薬局は都度支払いが面倒。待合室での会話がうるさく感じる時がある。
- 18歳になったところで放課後等デイサービスがなくなることが不安。入浴介助の人手が足りない、ヘルパー不足。短期入所が1床しかないため、使いたいときに使えない。
- 移動支援をもっと使っていきたい。公民館での障害者レクリエーションがあるといい（体操とか）。
- 共働きのため、放デイだけだと時間の管理が難しい。他のサービスを組み合わせてやりくりしなければならない。放デイで遅い時間まで支援してもらえるとよい。また長期休みの開所時間も延ばしてほしい。
- 市をまたぐと利用できない児童発達支援事業所等があり不便に感じた。利用したい人が全員つか

える施設が増えたらうれしいです。

- 高血圧のため、血圧計での日々の測定が必要な状態。やせすぎると糖尿病のリスクも生じるため、体調管理を心掛けたい。
- ・短期入所事業所増えると嬉しい。なんでも相談できる窓口として気軽に障害福祉課に相談をしたい。
- 利用している施設が長期休みの時、利用時間が 9：30-15：30 で短い。仕事をしているため長い時間利用できるようになると嬉しい。(現在セルフプランで利用中)計画相談事業所は決まっているが、面談が2時間ほどかかるといわれ、なかなか時間が取れない。
- 自立訓練（生活訓練）を使うことで、外に出る回数が増え、人との関わりも増えた。
- 送迎ありだと助かる。幼稚園にお迎えに行き連れていくのが大変。枠をもう少し増やしてほしい。療育に通うことで発達が促されておりありがたい。
- 今の状況にとっても満足している。
- 現在通っている作業所は、楽しそうに行けている。学校の頃と比べ、イレギュラーなイベントなどが少ないため、安定していただける。
- 安定して生活していきたい。

問4 その他ご意見等がありますか。行政（市）に求めることや期待することなどがあれば教えてください。

- 障害があっても、地域で自分らしく生活する為に、出来る限り利用出来る範囲が 広がっていくと良いと思います。特に私は難病指定もされていない障害の為、受けられるサービスが限られているのが現状です。私が幼い頃、家族は「もっと受けられるサービスが増えたら良いな。」と思ったと、後に聞いたことがあります。この様に、受けたくても、要件によってサービスを受けられない方は少なくないと思うので、制度上、難しい面もあるかと思いますが、利用出来る行政サービスの選択肢が増えれば良いと思います。
- 事業所を増やしてほしい。送迎バス付きを増やしてほしい
- 自分と似たような境遇、状況の人とつながれるコミュニティなどの情報を発信してほしい。転入してきた者からすると市内の状況が分からない（病院の場所とか）ため、障害者でもわかりやすい情報が簡単に取得できるといい。
- 短期入所ではなく、GHに入所したい。自由に旅行や買い物に行きたい。
- 今がちょうどいいので、特に求めることはない。
- 重度の人が出かけられるような外出支援があるとよい。
- 出張所でできる福祉制度の内容が分からないため、分かりやすくしてほしい。仕事帰りに出張所に行き申請できることを把握したい。
- GH の数を充実させてほしい。情報の入手が困難。朝霞市からの発信が積極的であると助かる（今回入る GH は朝霞市の発信で知った）。入居料について、年金のみで補えるか心配。生活できるのか…。
- 施設（介護施設入居中）を退所し、家に帰りたい。
- 社会福祉協議会と連携してボランティアの人材育成や地域での協働を目指した働く場の提供支援に力を入れてほしいです。

VI. ヒアリング調査結果

- 介護が必要になった時に備えて、事前に相談したい。物価高に対する不安がある。18歳以降の通所（生活介護、就労）できるか不安。学校に比べると時間が短くなり、今まで通り仕事ができるか不安（保護者）。8：00～18：00で通所利用できるサービスが存在したらいいと思う。
- 障害レクとかに参加する際、保護者がトイレに行くときなど見守り支援をお願いできると社会参加しやすい。産業文化センターでの映画上映会で「101匹わんちゃん」をやっていたが、英語の字幕版だった。子供も参加するイベントのため、吹替の配慮が欲しかった。移動支援の事業所を増やしてほしい。
- 親の高齢化に伴い、今後のことが気になる。親なき後、GHや施設入所、成年後見制度など、どうしたらよいか相談先や説明会があるとよい。GHなどが増えて、将来的な行先の選択肢が広がるとうい。
- 朝霞市内に重心児の預かり可能な児童発達支援がないので増えたらうれしいです。
- 音声式血圧計を対象項目として入れてほしい。自分のように必要としている視覚障害のある方がいるはず。ぜひともお願いしたい。
- なんでも相談できる窓口として気軽に障害福祉課に相談をしたい。
- 手続きがネットで行えるなど、今より簡易的になると嬉しい。放デイを新規で利用する際に「受給者証の受け取りを待たずに、利用してよい」といわれ、早めに利用を開始できたのはよかった。（案内があって良かった。）
- 障害福祉サービス、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院）の必要申請をオンライン化してほしい。
- 問題ないので、今の状態を今後も続けてほしい。
- オンラインで申請できるものを増やしてほしい。
- 親に何かあったときの不安がある。少し医療的ケアが必要なため、GHの選択肢がほとんどない。施設入所したとしても、難病があり、定期的な通院が必要となるため、施設で対応してもらえるかわからない。成年後見制度など、お金の問題に関しては整備されてきているが、身体介護の問題がどうやったら解決できるかわからない。がんばる間は親ががんばるしかないのか。頼るところがない。制度は整備されても実際に使うのは難しい。

第8期朝霞市障害福祉計画等策定に係る アンケート・ヒアリング調査結果報告書

令和8年3月

朝霞市 福祉部 障害福祉課

〒351-8501 埼玉県朝霞市本町 1-1-1

TEL : 048-463-1599

FAX : 048-463-1025
